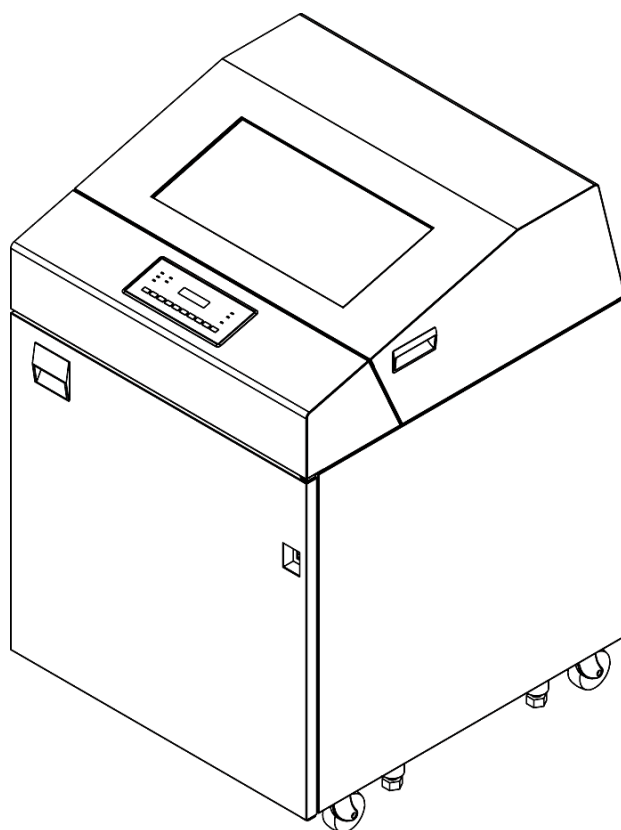


VSP3710B プリンタ装置 取扱説明書



安全な使用のために

このマニュアルの取り扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全にご使用いただくための重要な情報が記載されています。当製品をご使用になる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、このマニュアルに記載されている『安全上の注意事項』をよく読み、理解された上で当製品をご使用ください。また、このマニュアルは、当製品の使用中、いつでも参照できるように、大切に保管してください。

富士通は、お客さまの生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために、細心の注意を払っております。当製品を使用する際には、本マニュアルの説明に従ってください。

はじめに

VSP3710Bプリンタ装置は、グローバルサーバ、ビジネスサーバ (PRIMEPOWER、富士通S series、PRIMERGY6000) に加えWindowsアプリケーションから印刷することが可能なVSP (Virtual System Printer) のドットラインプリンタです。

本書は、本装置を使用するシステム設計者およびオペレータの手引きにすることを目的として解説したものです。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、本プリンタが十分に機能を発揮できますよう正しい取扱いをお願いいたします。

2015年6月

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NT、Windows Server は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

● 本文中の略語について

本文中では、Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0日本語版およびMicrosoft® Windows NT® Server operating system Version 4.0日本語版をWindows NT 4.0、Microsoft® Windows 2000 Professional 日本語版およびMicrosoft® Windows 2000 Server 日本語版をWindows 2000、Microsoft® Windows® XP Professional/Home Edition日本語版をWindows XP、Microsoft® Windows® Server 2003 Standard Edition/Enterprise Edition日本語版をServer 2003、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition日本語版をWindows XP x64、Microsoft® Windows Server™ 2003 Standard x64 Edition/Enterprise x64 Edition日本語版をServer 2003 x64、Microsoft® Windows Server™ 2003 Enterprise for Itanium-based Systems日本語版をServer 2003 IA64と表記しています。Windows NT 4.0とWindows 2000を同時に示す場合はWindows NT 4.0/2000、Server 2003 x64とWindows XP x64を同時に示す場合はServer 2003/XP x64と表記しています。

警告表示について

このマニュアルでは、お客さまの身体や財産に損害を与えないために以下の警告表示をしています。



「**▲警告**」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。



「**▲注意**」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の障害を負うようなことがあり得ることと、当該製品自体またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制競技会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

〔事業系の使用済製品の引取りとリサイクルについてのお願い〕

- ・この製品の所有者が事業主の場合には、使用済後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- ・弊社では 1998 年より、法人のお客様から排出される弊社製品を「富士通りサイクルシステム」（有料）にて回収、リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでいます。製品所有者が弊社に廃棄を依頼される場合には以下の Web サイトをご覧ください。
<http://eco.fujitsu.com/jp/>「富士通りサイクルシステム」

お 願 い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2007-2015

警告マークについて

このマニュアルでは、安全上の注意事項を記述した箇所に、警告表示とともにその内容を示す警告マークを配置して一目でわかるように配慮しています。

使用している警告マークの意味は以下のとおりです。内容をよく理解したうえで、お読みください。



感電する危険性について記述していることを示します。



高温による障害の危険性について記述していることを示します。



発火する危険性について記述していることを示します。



回転物によって起こる障害の危険性について記述していることを示します。



感電などの危険性があるために、分解することを禁止する記述を示します。



一般的な注意事項を記述していることを示します。

安全上の注意事項



- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。LANケーブルも同じです。
感電や火災のおそれがあります。
電源コードの上に物を載せたり、からみつけたり、足を引っかけたりしないように注意してください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電のおそれがあります。



- 万一機器から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら、すぐに電源スイッチを切断したうえで、担当保守員に連絡してください。
感電や火災のおそれがあります。
- アース付きのコンセントに必ず接続してください。
感電や火災のおそれがあります。
電源コンセントに平行2P、接地極付きを使用してアースを確実に接続してください。



- 装置を分解したり、改造したりしないでください。
感電や火災のおそれがあります。
また、内部に高電圧部分があるユニットがあります。

⚠ 注意



感電注意

- 電源コードを抜くときは、プラグ部分をもってコンセントから抜いてください。
感電や火災のおそれがあります。
- 装置の高圧部には電源切断後も手をふれないようにしてください。
感電のおそれがあります。
- 湿気、ほこり、油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所におかないでください。
感電や火災のおそれがあります。



高温注意

- 電源プラグは、電源コンセントに確実に奥まで差し込んでください。
火災のおそれがあります。
- 装置の印字ヘッドのカバーを外さないでください。
ケガのおそれがあります。
- モータに触れないでください。
火傷のおそれがあります。
- 装置の電源を切断後も、高温部には温度が下がるまで触れないようにしてください。
火傷のおそれがあります。
- 印刷直後の印字ヘッドには触れないでください。
火傷のおそれがあります。



一般的注意

- コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が、装置内部に入らないように気をつけてください。
感電や火災のおそれがあります。また、装置内部に異物が入るのを防ぐための装置の上に物を置かないでください。
- 装置の上に重い物を置いたり、装置の上で作業したりしないでください。
転倒、落下のおそれがあります。
- 20kg以上の媒体・消耗品などを運ぶときは、必ず2人以上で運んでください。
腰や手を傷めるおそれがあります。
- 装置のインクリボンの交換時または用紙の補給時は、必ず手順を守って交換・補給してください。
ケガのおそれがあります。
- 用紙詰まり発生時には、必ず操作手順を守って用紙を取り除いてください。
ケガのおそれがあります。
- 装置を不安定な場所に置かないでください。振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。
転倒、落下のおそれがあります。
- 装置に貼られているラベルで表示されている内容には十分注意して、必ず守ってください。
感電や火傷やケガおよび火災などのおそれがあります。
- 印刷中の用紙に手を触れないでください。
用紙により手を切ることがあります。



発火注意

- 直射日光の当たる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い所には置かないでください。
感電や火災のおそれがあります。
- 装置内部が高温になるため、通気孔をふさがないでください。
火災のおそれがあります。



回転物注意

- 動作中にトップカバーを開けて手や指や顔を入れないでください。
ケガ（指挟みなど）のおそれがあります。
- 用紙ノブ／リボンローラ／トラクタ／印字ヘッドなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。
巻き込みのおそれがあります。



分解禁止

ネジで止められているカバー類を外さないでください。
感電や火傷やケガのおそれがあります。

正しくお使いいただくためのお願い

- 装置を運搬する場合、特別の処置を講じる必要があります。これらの処置を講じないで移設すると、印字品質に悪影響を及ぼすことがあります。
したがって、運搬、移設が必要になった場合は、当社営業または担当保守員に相談してください。
- 当製品は、日本国内でご使用いただくことを前提に製造・販売させていただいております。
したがって、日本国外でのご使用はできません。万一ご使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねます。
- 当製品の分解・修理・設置・移動はお客様自身で行わないでください。そのような際は担当保守員によるメンテナンスを受けてください。
- お客様が当製品に改造を加えたり、当製品の中古品を再生して使用された結果の影響につきましては、一切責任を負いかねます。
- 当製品には当社で指定したサプライ用品をご使用ください。指定以外のサプライ用品を使用した結果の影響につきましては、一切責任を負いかねます。
- 媒体は、「第6章 用紙について」を参照のうえ、ご選択ください。
- 操作方法は、「第3章 操作説明」を参照のうえ、正しくお使いください。
- 本装置のラベルが、劣化・破れたときは、担当保守員に連絡し、ラベルの交換をしてください。

目次

第1章	概 要	1
1.1	装置概要	1
1.2	接続形態	2
1.3	各部の名称とはたらき	5
1.4	仕 様	9
1.4.1	基本仕様	9
1.4.2	F66XXエミュレーション機能仕様	10
1.4.3	F69XXエミュレーション機能仕様	11
1.5	オプション	12
1.6	Windows環境で使用するソフトウェア	13
1.7	Unix環境で使用するソフトウェア	14
1.8	機能面・運用面における注意事項	15
第2章	準 備	21
2.1	梱包品の確認	21
2.2	装置の設置	22
2.3	LANケーブルの接続	23
2.4	電源ケーブルの接続	25
2.5	リボンカートリッジの取り付け	26
2.6	ソフトウェアのインストール	29
第3章	操作説明	33
3.1	電源の投入と切断	33
3.1.1	電源の投入	33
3.1.2	電源の切断	33
3.2	操作パネルの配置と機能	34
3.2.1	操作パネルの配置	34
3.2.2	操作パネルの機能	34
3.3	セットアップ	37
3.3.1	セットアップの手順	37
3.3.2	セットアップの構成	39
3.3.3	セットアップの設定内容	41
3.4	装置立ち上げと印刷設定	46
3.4.1	装置立ち上げ	46
3.4.2	印刷設定（機能モード）	47
3.5	LAN接続	49
3.5.1	LAN接続するための基本設定	49
3.5.2	LAN接続環境ごとの設定内容	50
3.5.3	ゲートウェイについての補足	56
3.6	用紙のセット	58
3.7	用紙の交換	66
第4章	消耗品の交換	67
4.1	リボンカートリッジの交換	67
4.2	インクリボン（サブカセット）の交換	69
4.3	インクリボンの注意事項	72

4.4	リボンセパレータの交換.....	73
第5章	異常発生時の操作	77
5.1	プリンタがうまく動かないとき.....	77
5.2	印刷不良の対応について.....	78
5.3	用紙ぎれ.....	84
5.4	用紙づまり.....	85
5.5	おもなエラーメッセージ (LCD表示)	86
5.5.1	インターロックオープン.....	86
5.5.2	プログラムエラー.....	86
5.5.3	リボンエラー.....	86
5.5.4	POCエラー.....	87
5.5.5	パターンタイムアウト.....	87
5.5.6	上位装置電源断.....	87
5.5.7	LAN二重アドレスエラー.....	88
5.5.8	メカ系の異常.....	88
5.5.9	ハードウェアの異常.....	88
5.6	PrintWalker/PMのエラーメッセージ.....	89
第6章	用紙について	91
6.1	印刷用紙.....	91
6.1.1	用紙の基本仕様.....	91
6.1.2	用紙の連量.....	92
6.1.3	用紙の一般的注意事項.....	92
6.1.4	印刷領域.....	93
6.2	用紙加工仕様.....	94
6.2.1	ミシン目加工・送り孔加工.....	94
6.2.2	複写用紙のとじ方.....	96
6.3	特殊紙.....	99
6.3.1	複写用紙で複写しない用紙がある場合について (給与明細書等々)	99
6.3.2	ラベル紙 (タック紙)	100
6.3.3	段差媒体.....	101
6.3.4	孔つき用紙.....	101
6.3.5	再生紙.....	102
6.3.6	OCR用紙.....	102
6.3.7	バーコード印刷時の注意事項.....	102
6.3.8	印刷用紙の発注.....	103
第7章	日常の点検とお手入れ	105
7.1	日常の点検.....	105
7.2	日常の清掃.....	106
7.3	フィルタの清掃.....	107
第8章	設置諸元	109
8.1	設置条件.....	109
8.2	外形寸法.....	110
8.3	設置スペースと設置上の注意事項.....	111
8.4	移設時の注意事項.....	113
第9章	付 録	115
9.1	メッセージ一覧.....	115
9.1.1	オフライン系.....	115
9.1.2	セットアップ系.....	116
9.1.3	コントローラ系エラー.....	123
9.1.4	メカ系エラー.....	125
9.2	文字コード.....	128
9.3	PrintWalker/RSのご紹介.....	133

9.4	PrintWalker/LXEのご紹介.....	135
9.4.1	PrintWalker/LXEの概要	135
9.4.2	動作環境	136
9.4.3	システム構成	136
9.4.4	留意事項	137
9.5	カスタマバーコードの印刷条件.....	138

索引	141
----------	-----

図表目次

図1.1	外 観	1
図3.1	操作パネルの配置図	34
図3.2	セットアップ印刷	45
図6.1	用紙箱	92
図6.2	用紙の左右移動量	93
図6.3	印刷保証領域	93
図6.4	ミシン目の名称	94
図6.5	送り孔加工精度	95
図6.6	送り孔の直径	95
図6.7	ミシン目の交点	96
図6.8	千鳥状点糊付けの方法	97
図6.9	折り目のふくらみ限度	97
図6.10	紙ホチキスの例	98
図6.11	紙ホチキスの例	98
図6.12	印字痕の対策	99
図8.1	外形寸法	110
図8.2	設置スペース	111
表1.1	基本仕様	9
表1.2	F66XXエミュレーション機能仕様	10
表1.3	F69XXエミュレーション機能仕様	11
表1.4	オプション	12
表3.1	セットアップの設定内容	41
表3.2	機能モードの設定内容	47
表4.1	産業廃棄物処理マニフェスト情報	72
表5.1	プリンタの状態と対処方法	77
表6.1	用紙の基本仕様	91
表6.2	用紙の連量	92
表6.3	折り畳みミシン目、中間縦ミシン目加工寸法	96
表6.4	ラベル紙の使用条件	100
表6.5	段差媒体	101
表6.6	当社推奨紙	102
表6.7	印刷用紙仕様の指定項目	103
表7.1	清掃箇所と方法	106
表8.1	設置条件	109
表9.1	オフライン系のメッセージ一覧	115
表9.2	セットアップ系のメッセージ一覧	116
表9.3	コントローラ系のエラーメッセージ一覧	123
表9.4	メカ系のエラーメッセージ一覧	125
表9.5	国内一般カナ付コード表 (Japanese KANA)	128
表9.6	国内一般カナ無コード表 (Japanese English)	129
表9.7	海外コード表I (US English)	130
表9.8	海外コード表II (EBCDIC-ASCII)	131
表9.9	ASCIIコード (サポートサーバがPrintWalkerの場合のみ)	132

第 1 章 概 要

本章では、本装置の概要、接続形態、各部の名称とはたらき、仕様、オプション、Windows/Unix環境で使用するソフトウェアおよび機能面・運用面における注意事項について説明します。

1.1 装置概要

本装置は、グローバルサーバ、ビジネスサーバ（PRIMEPOWER、富士通 S series）に加え、Windowsパソコン（FMVシリーズ）のアプリケーションからの印刷が可能なネットワークプリンタ装置です。また、オプションの拡張出力機構を使用すれば、ビジネスサーバ（PRIMERGY6000）からの印刷が可能になります。LAN接続された複数のクライアントサーバ混在のシステム環境において、それぞれのシステムのプリンタ装置として共有できます。

本装置の外観を図1.1に示します。

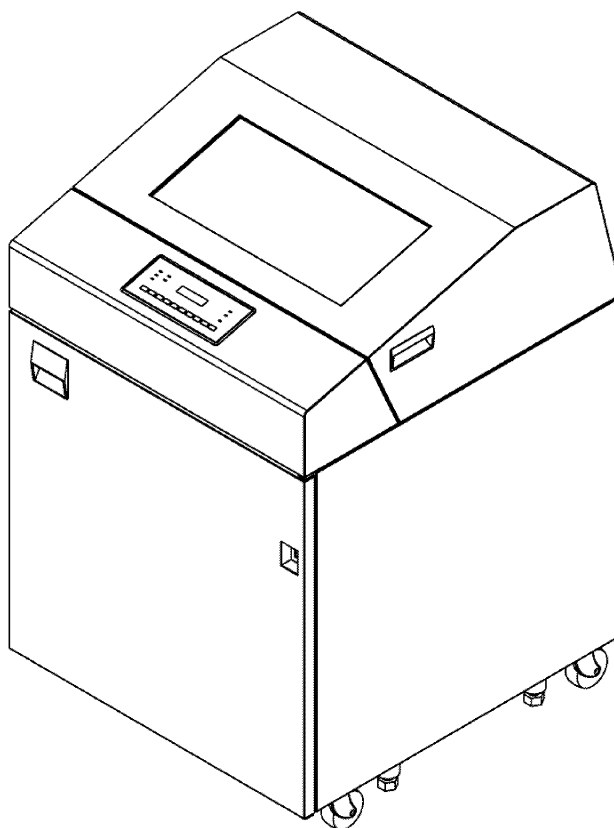


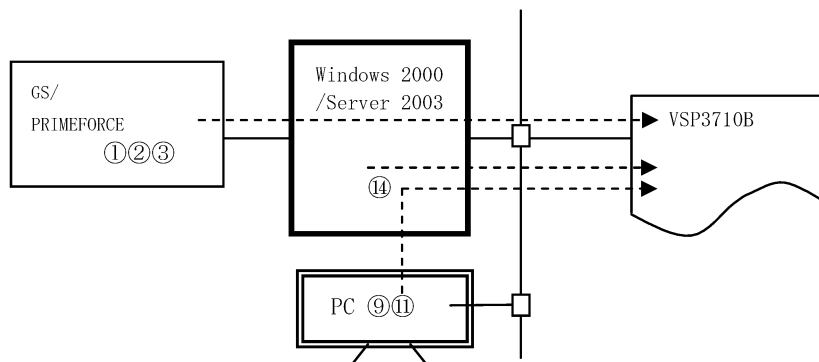
図1.1 外 観

1.2 接続形態

本装置は、複数の異なるシステムと接続できます。それぞれのシステムとの接続形態について説明します。

「設定」の番号は、「3.5.1 LAN接続するための基本設定」の表の項番に対応します。

(1) Windows 2000/Server 2003サーバ接続

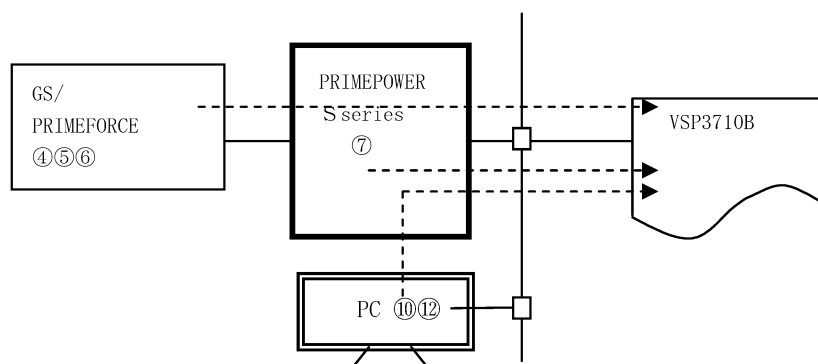


ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	
GS/ PRIMEFORCE	Windows- 2000/ Server 2003 注1)	HOST PRINT DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝 送 経 路：DS-LINK	②
		HOST PRINT TCP/IP	66XX	サポートサーバ： HOST PRINT 伝 送 経 路：TCP/IP	①
		HOST PRINT PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	③
		PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑨ ⑪
Windows 2000 /Server 2003	—	PrintWalker/PM TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑭

注1) SCP6000/7500シリーズでも同等の機能を使用可能。

注2) OSがWindows Server 2003/XP/2000であること。

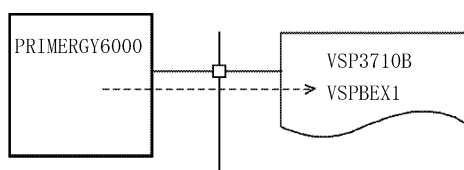
(2) PRIMEPOWER、富士通S series接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	
GS/ PRIMEFORCE ④⑤⑥	PRIME- POWER S series	Netcompo NMCサーバ DS-LINK	66XX	サポートサーバ：6680-NMC 伝 送 経 路：DS-LINK	⑤
		Netcompo NMCサーバ TCP/IP	66XX	サポートサーバ： HOST PRINT 伝 送 経 路：TCP/IP	④
		PrintWalker/BPC , CJMS TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑥
PC 注1)	PRIME- POWER S series	PrintWalker/BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑩ ⑫
PRIME- POWER S series	—	PrintWalker/BPC TCP/IP	66XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑦

注1) OSがWindows Server 2003/XP/2000であること。

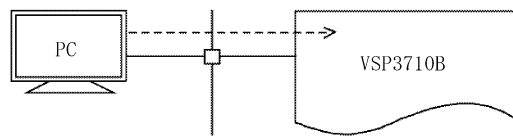
(3) PRIMERGY6000接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ/伝送経路	
PRIMERGY-6000	—	LANプリンタ制御 オプション TCP/IP	69XX	サポートサーバ： PrintWalker 伝 送 経 路：TCP/IP	⑧

注1) 本接続形態時は拡張出力機構オプションが必須となります。

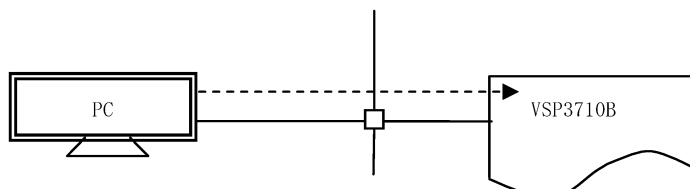
(4) PC接続



ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC 注1)	—	PrintWalker/PM	66XX	サポートサーバ： PrintWalker	⑬
		TCP/IP		伝 送 経 路：TCP/IP	⑭

注1) OSがWindows Server 2003/XP/2000であること。

(5) Linux接続

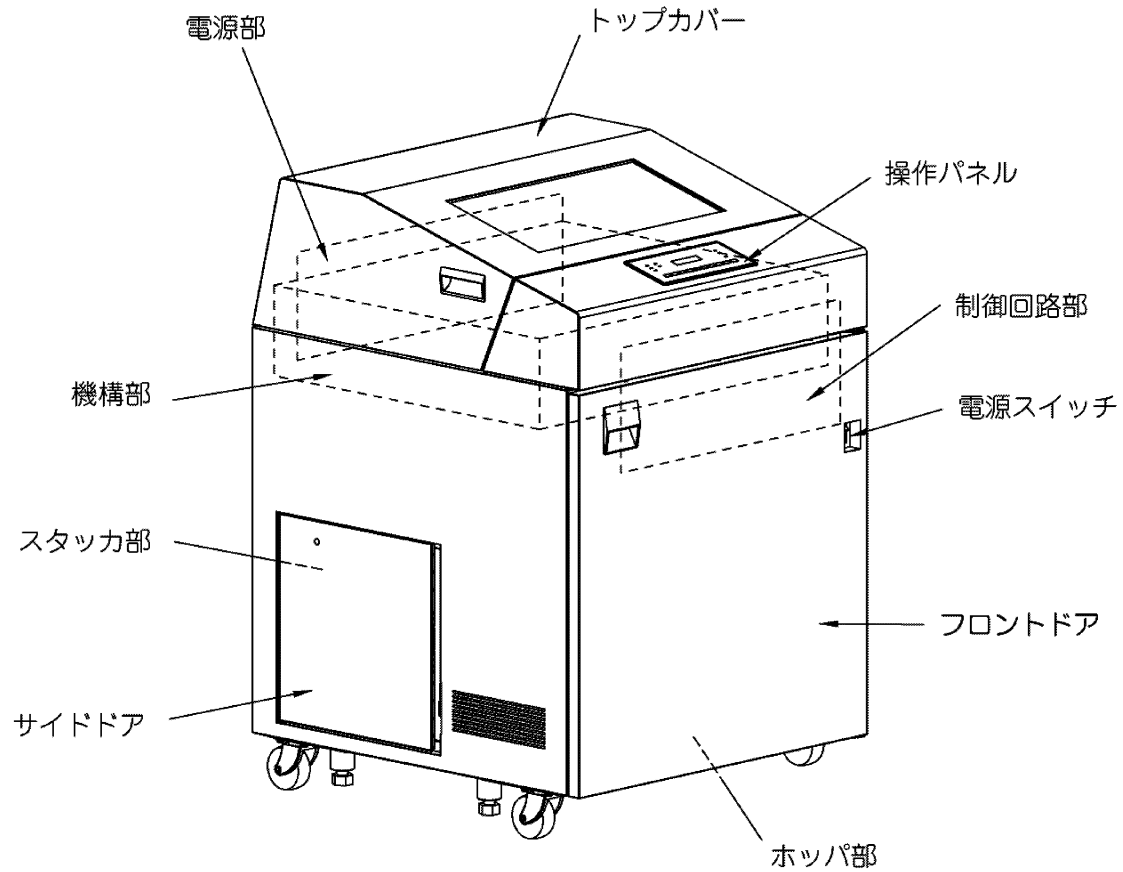


ホスト	サーバ		プリンタ		設定
			エミュレーション	サポートサーバ／伝送経路	
PC(Linux)	—	PrintWalker/LXE	66XX	サポートサーバ： PrintWalker	⑮
		TCP/IP		伝 送 経 路：TCP/IP	

注1) 詳細は「9.4 PrintWalker/LXEのご紹介」を参照ください。

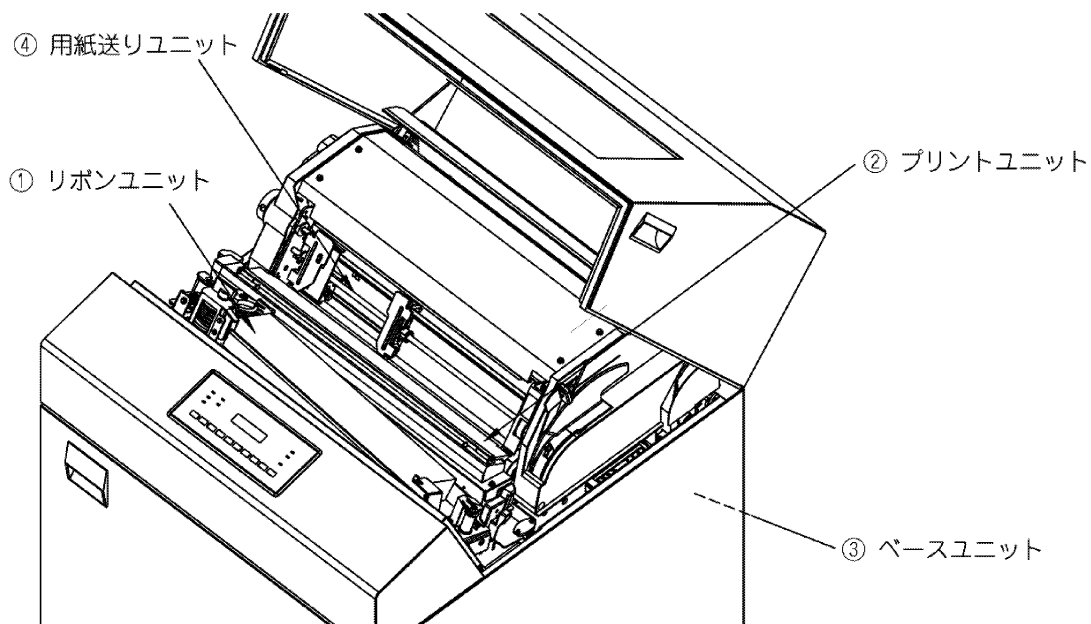
1.3 各部の名称とはたらき

本装置は、機構部、制御部および筐体から構成されています。
各部の構成を以下に示します。



●機構部

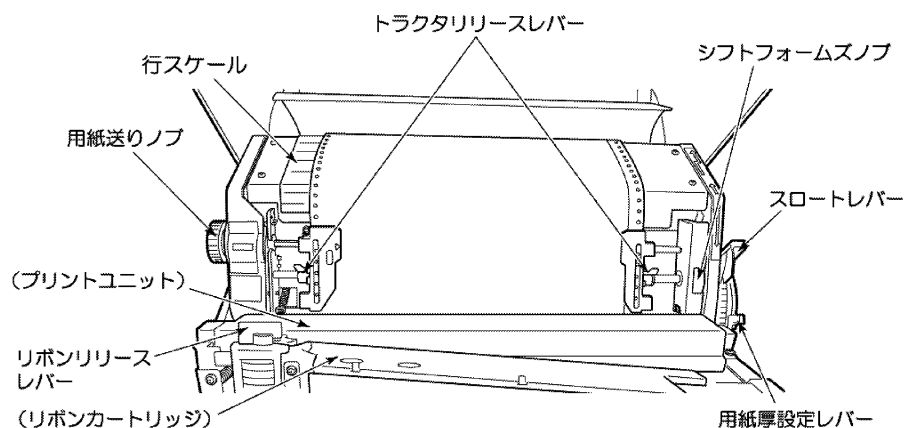
機構部はベースユニット、プリントユニット、用紙送りユニットおよびリボンユニットより構成されています。
機構部の構成を下图に示します。



- ① リボンユニット
リボンカートリッジを取り付け、リボン送りをを行います。
- ② プリントユニット
印刷を行う機構です。
- ③ ベースユニット
プリントユニット、用紙送りユニットおよびリボンユニットが実装されています。
この他に、スロットオープン機構^(※1)と用紙厚調整機構^(※2)が設けられています。
- ④ 用紙送りユニット
連続帳票用紙を送ります。
用紙送りユニットの詳細を下图に示します。

*1：プリントユニットと用紙送りユニットとの間隔を用紙装着時に広げる機構です。

*2：用紙の厚さに応じて、印字の濃度を調整する機構です。



用紙送りユニットには、本装置の操作および調整に使用するレバーとノブがあります。これらの機能は以下のとおりです。

スロートレバー..... 用紙やインクリボンの交換などを行うときに使用します。レバーを『開』位置にすると、プリントユニットと用紙送りユニットの間隔が広がります。用紙がつまったときは、レバーを『全開』位置にすると、取り除くことができます。本レバーを操作するときは、プリンタを一時停止状態またはオフライン状態にします。

用紙厚設定レバー..... 用紙の厚さに応じて印字圧を調整するときに使用します。用紙が薄い場合は手前（数字の小さい側）に、用紙が厚い場合は後方（数字の大きい側）にセットします。本レバーの設定が適切でないと、印字濃淡むらなどの印字不良やリボンエラーなどが発生する原因となるので注意が必要です。

トラクタリリースレバー... 用紙幅が変わったとき、用紙の位置を変えるとき、および用紙の水平方向の張力を調整するときに使用します。レバーを起こすと、トラクタを移動させることができます。なお、左右に移動させる場合は、トラクタの上と下を押さえて移動させます。

用紙送りノブ..... 用紙を行スケールに合わせるとき、および用紙に対する垂直方向の位置がずれたときに使用します。このノブを回すと、印刷用紙は上方または下方に移動します。このノブを使用して印刷用紙を下方に移動させたときは、印刷用紙のたるみを取り除くために軽く下方に引っ張ります。

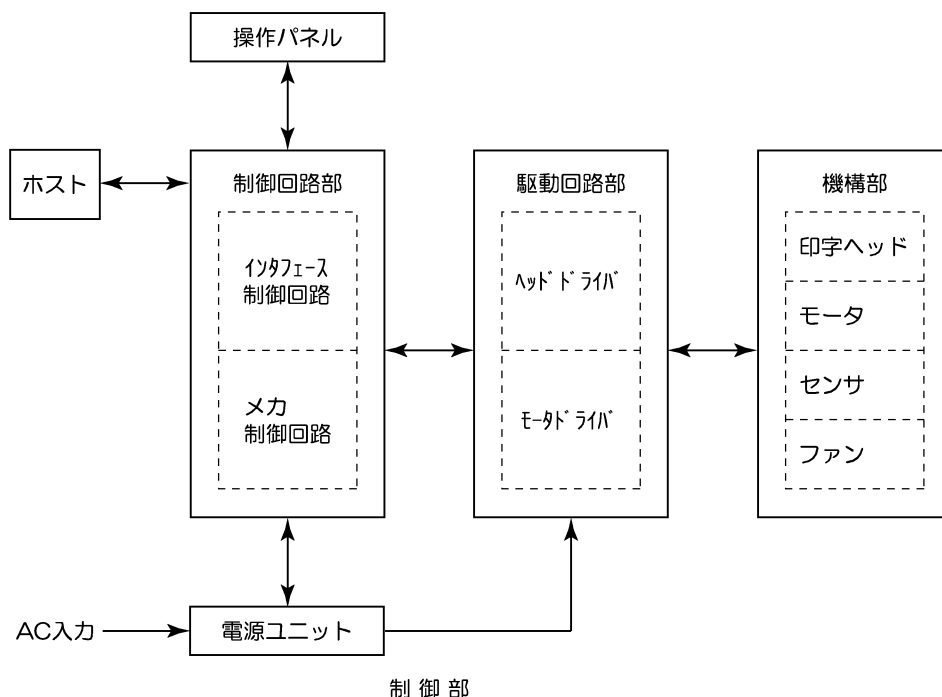
 注意	 回転物注意 印刷時は高速回転します。 髪や衣服等が巻き込まれないよう、注意してください。
---	--

シフトフォームズノブ... 用紙を水平方向に微調整するときに使用します。用紙をセットしてこのノブを回すと、用紙を水平方向に約2.5mmずつ移動させることができます。

リボンリリースレバー... インクリボンを交換するときに使用します。レバーを手前に引くと、インクリボンの脱着が可能となります。レバーを手前に引いたままだと、インクリボンがリボンカートリッジ内に絡り込まなくなるので注意してください。

●制御部

制御部は、制御回路部、駆動回路部、操作パネルおよび電源ユニットで構成されています。



① 制御回路部

制御回路部は、次の2つの回路で構成されています。

インタフェース制御回路... 外部とのデータの送受信と、そのデータをドットパターンに展開し機構部の動作に合わせて印刷指示を行います。また、操作パネルの制御を行います。

メカ制御回路..... インタフェース制御回路の指示にしたがって機構部のモータなどを動作させると同時に、各種センサ情報をインタフェース制御回路に通知します。また、インタフェース制御回路より転送された印刷データをヘッドドライバへ送信します。

② 駆動回路部

駆動回路部は次の2つの回路で構成されています。

ヘッドドライバ..... メカ制御回路の指示に従って印字ヘッドを駆動するための回路です。

モータドライバ..... シャトルユニットのリニアモータ、用紙送りステッピングモータなどの装置に実装されている全モータ（パルスモータ）を駆動する回路です。

③ 操作パネル

プリンタを操作するために必要なスイッチ、装置の状態を表すランプ、および液晶ディスプレイより構成されています。詳細は、「3.2 操作パネルの配置と機能」を参照してください。

④ 電源ユニット

ACスイッチを通して交流入力に接続され、出力の+5Vおよび+40V（印字ヘッド、各種モータ駆動電源）を、各プリント板に供給します。

1.4 仕 様

本装置の仕様について説明します。

1.4.1 基本仕様

本装置の基本仕様を表1.1に示します。

表1.1 基本仕様

項	項 目	仕 様	備 考
1	印字速度 (注1)	高品位モード	400LPM
		通常モード	550LPM
		高速モード	660LPM
		高複写モード	各モードの1/2
		段差媒体モード	各モードの約90%
2	解像度	160dpi (縦) × 160dpi (横)	
3	印字桁数	漢字90桁、ANK136桁	
4	紙送りスキップ	25インチ/秒	
5	用紙サイズ	横寸法	3～16インチ
		縦寸法	3～12インチ
		連量	45～110Kg
6	複写枚数	感圧紙	最大6枚
		中カーボン	最大5枚
		裏カーボン	最大5枚
		高複写モード時	最大8枚
7	分割印字条件	黒点率	30%
		同時ファイヤ	42%
		温度分割	有り
8	リボン	寿命	15万行
		詰替用サブカセット	有り
		方式	カセット式
9	用紙厚調整	手動調整	
10	装置寿命 (注2)	6000万行または5年の早い方	100万シート (60行/シート)
11	定期交換部品寿命 (注2)	印字ヘッド：10億打/ピン セパレータ：600万行 リボンローラ：2000万行 タイミングベルト：2000万行 プラテンローラ：2000万行 フィードローラ：2000万行 トラクタ：4000万行	
12	インタフェース	LAN (100BASE-TX/10BASE-T)	
13	LANプロトコル	TCP/IP、DS-LINK	
14	エミュレーション (注3)	JEF (F66XX、F69XX)	

(注1) 高密度の印字をおこなった場合、印字ヘッドを保護するために印字速度が低下することがあります。またお客さまの環境などによっては、印字速度が多少変化することがあります。

(注2) 装置の設置環境や運用条件により、装置寿命期間内に交換が必要となる部品があります。これらの部品は有償もしくは保守契約の対象として交換を行います。
また寿命になると電源投入後最初のオンライン状態で「スタート」ランプが約10秒間点滅します。(担当営業または保守員に連絡してください。)

(注3) エミュレーションにおけるJEF (F69XX) は、拡張出力機構オプションが必須となります。

1.4.2 F66XXエミュレーション機能仕様

本装置のF66XXエミュレーション機能仕様を表1.2に示します。

表1.2 F66XXエミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
印刷文字種	・明朝体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角、書式文字 1バイト文字：ANK 4セット ・ゴシック体 未サポート
印字桁数	・漢字：90桁（文字ピッチ3/20インチ時） ・ANK：136桁（文字ピッチ1/10インチ時）
文字間隔	・漢字：1/5、1/6、3/20インチ ・ANK：1/10、1/12、1/13.3、1/15インチ
文字拡大	長体、平体、倍角、ラベル文字（3～32倍）
行間隔	3、4、6、8行／インチ
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH、MR、MMR形式
図形印刷	文字、線、円、面塗りなどの描画
バーコード印刷 （注3）	種類：NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9, Industrial 2 of 5, Interleaved 2 of 5, 物流系 カスタマバーコード（注2）

（注1）

- ・Windows アプリケーションからの印刷では、デバイスフォントを指定する以外はイメージデータとなります。
- ・プリンタドライバでイメージ圧縮を指定する場合は、拡張出力機構オプションが必要となります。
- ・Windows アプリケーションからバーコードを印刷する場合は、イメージデータとして印刷されるため、読み取り保証はできません。運用に先立ち十分な読み取りテストが必要を実施してください。

（注2）

- ・カスタマバーコードの印刷仕様は以下のとおりです。

BAR高さ(最大)：22ドット

BAR幅：3ドット / SPACE幅：4ドット

横書きのみサポート

- ・カスタマバーコード印刷は、拡張出力機構オプションが必要となります。
- ・カスタマバーコードは、GS/PRIMEFORCEからの印刷時のみサポートしています。
- ・読み取り可能な印刷条件は、「9.5 カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください。
- ・紙ホチキスとじ用紙は、用紙がずれやすく、印字品質が低下します。
特にカスタマバーコードは読み取り不良となる場合がありますので、使用しないでください。

（注3）

- ・バーコード印刷は、運用前に十分な読み取りテストを実施してください。
また、インクリボンは新しいものを使用してください。

（注4）

- ・バーコード、OCR-Bの読み取りは印刷用紙の最上部の1枚目のみ可能です。2枚目以降の読み取りは保証できません。

1.4.3 F69XXエミュレーション機能仕様

本装置のF69XXエミュレーション機能仕様を表1.3に示します。

表1.3 F69XXエミュレーション機能仕様

項 目	仕 様
印刷文字種	・明朝体 2バイト文字：JIS非漢字、第1水準／第2水準漢字、半角、書式文字 1バイト文字：ANK 4セット ・ゴシック体
印字桁数	・漢字：90桁（文字ピッチ3/20インチ時） ・ANK：136桁（文字ピッチ1/10インチ時）
文字間隔	・漢字：1/5、3/20インチ ・ANK：1/10、1/12インチ
文字拡大	長体、平体、倍角、ラベル文字
行間隔	6、8、12行／インチ
イメージ印刷	データ形式：非圧縮、MH、MR、MMR形式
図形印刷	文字、線、円、面塗りなどの描画
バーコード印刷 (注3)	種類：NW-7、標準JAN、短縮JAN、CODE 3 of 9, Industrial 2 of 5, Interleaved 2 of 5 カスタマバーコード (注2)

(注1)

- ・本エミュレーション機能を使用する場合は、拡張出力機構オプションが必須となります。

(注2) カスタマバーコードの印刷仕様は以下のとおりです。

- ・BAR高さ(最大)：22ドット
- ・BAR幅：3ドット / SPACE幅：4ドット
読み取り可能な印刷条件は、「9.5 カスタマバーコードの印刷条件」を参照してください。
- ・紙ホチキスとじ用紙は、用紙がずれやすく、印字品質が低下します。
特にカスタマバーコードは読み取り不良となる場合がありますので、使用しないでください。

(注3) バーコード印刷は、運用前に十分な読み取りテストを実施してください。

またインクリボンは新しいものを使用してください。

(注4) バーコード、OCR-Bの読み取りは印刷用紙の最上部の1枚目のみ可能です。

2枚目以降の読み取りは保証できません。

1.5 オプション

本装置のオプションについて説明します。

オプションを表1.4に示します。

表1.4 オプション

品 名	概 要
VSPBEX1 拡張出力機構	GS/M連携時において、ラベル拡大文字、範囲指定バーコード（4方向への回転が可能、物流標準／物流拡張は範囲指定バーコードでのみ可能など）の印刷および図形、イメージ印刷機能を使用するために必要なオプションです。 PRIMERGY6000連携時の必須オプションです。 Windowsのプリンタドライバでイメージデータ圧縮を指定するときに必要なオプションです。 装置への取り付けは担当保守員にご依頼ください。

1.6 Windows環境で使用するソフトウェア

本装置には、Windowsネットワーク環境で信頼性の高い印刷と高度な機能を実現するため、以下の関連ソフトウェアが標準添付されています。ぜひともこれらのソフトウェアをインストールして、ネットワークプリンタ機能をご利用ください。

(1) PrintWalker/PM

本装置へ印刷出力中に発生したエラー内容をWindowsパソコンに表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度の印刷環境を実現するソフトウェアです。
インストール手順は「2.6 ソフトウェアのインストール」を参照してください。

(2) VSPプリンタドライバ

Windowsパソコンから印刷を行う場合に必要なプリンタドライバです。
Windows Server 2003/XP/2000用に加えて、Server 2003/XP x64用とServer 2003 IA64用があります。
インストール手順は「2.6 ソフトウェアのインストール」を参照してください。

(3) VSPリクエスト

GS/PRIMEFORCE連携印刷において、Windows Server 2003/2000サーバ（HOST PRINT帳票管理サービス）と本装置間のやり取りを行うソフトウェアです。
Windows Server 2003/2000サーバにインストールします。
詳しくは、添付のCD-ROM（PrintWalker）内のKankyomoフォルダにあるテキストファイルをご覧ください。VSP3710用のVSPリクエストが使用できます。

(4) PrintWalker/RS

VSP/VSシリーズのプリンタ運用管理をリモートで行うソフトウェアです。
詳しくは、添付のCD-ROM（PrintWalker）内のRemoteSVフォルダにあるPrintWalker/RS導入マニュアル（Manual.htm）および「9.3 PrintWalker/RSのご紹介」をご覧ください。

1.7 Unix環境で使用するソフトウェア

PrintWalker/BPCは、Unix環境で使用する場合に有効な「ソフトウェア」です。

(1) PrintWalker/BPC（標準添付）

VSPプリンタへの出力中に発生したエラー内容をSolarisに表示し、信頼性の高いエラーリカバリ機能および高度な印刷環境を実現したソフトです。

1.8 機能面・運用面における注意事項

- (1) 本プリンタは、MS-DOSからの直接印刷には対応していません。
 - (2) PRIMEPOWER、富士通S seriesサーバ接続
 本装置は、JEFプリンタであり、PRIMEPOWER、富士通S seriesサーバに接続されている既存プリンタとは互換の無い新しいプリンタであることに注意してください。
 本装置は、PRIMEPOWER、富士通S seriesサーバが既にサポートしているFMプリンタとは、解像度／文字サイズ／文字の形／指定可能な文字ピッチや行ピッチの値などが異なります。特に既設のFMのインパクトプリンタと併設する場合は注意が必要です。
 - ・ ANK、漢字のポイント指定はできません。ポイントを指定しても標準サイズ（10ポイント相当）で印刷されます。
 - ・ ANKの文字ピッチは、10/12/13.3/15cpiが指定できます。これ以外の指定がされた場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
 - ・ 漢字の文字ピッチは、5/6/6.7cpiが指定できます。これ以外の指定がされた場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
 - ・ 行ピッチは6/81piが指定できます。これ以外が指定された場合、プリンタ装置の設定値に従って印刷されます。
 - ・ 漢字基準線指定はできません。常に下端に合わせて印刷されます。
 - ・ 上つき、下つき指定はできません。全角で印刷されます。
 - ・ ANK、漢字の縦書き指定はできません。横書きで印刷されます。
 - ・ 書体指定はできません。明朝体で印刷されます。
 - ・ 1回の垂直タブで1改行します。
 - ・ 1回の水平タブでANK8文字分を右ヘシフトします。
 - (3) PRIMEGY6000サーバ接続
 - ① PRIMEGY6000サーバとPC端末の環境では互換機能をサポートしていますが、K1600 αシリーズ（SX/G）からの印刷はサポートしていません。
 SX/Gから印刷した場合はライタによって保留されます。
 - ② 線画メディアサービスを使用したプログラムからの印刷はできません。
 線画メディアサービスを使用したプログラムを実行した場合は、実行時にエラーになります。
 - ③ リモートパワーオフ機能は、未サポートです。
 - ④ CRオーダによる強調印字を行った場合は、印刷速度が低下します。
 - ⑤ 以下の点がFMG接続の多目的プリンタとは異なるため注意が必要です。（F9680M4との比較）
 - 1) 121piを指定した場合に次の制限があります。
 - ・ 印刷速度が遅くなります。
 - ・ 強調印字（重ね打ち）ができません。
 - 2) ANK文字書体が異なります。
 - ・ ドラフトパターンで印字
- | | | |
|---|---|---|
| { | F9680M4： イメージ／グラフなしの場合、ドラフトパターン
イメージ／グラフありの場合、JEF明朝半角パターンま
たはF6680ANKパターン | } |
|---|---|---|

- 3) ラベル文字の補間は行われません（書式文字で線がつながりません）。
また、ラベル文字のスムージングは行われません。

F9680M4： 同一ページ内にSMED罫線、またはグラフデータが存在する場合は指定が無効。一行中に一項目のみ有効です。
ラベル文字行の長体、倍角は無効（全角、平体になります）。

- 4) 飾り文字の指定はサポートしていません。
- 5) バーコードの基本モジュール幅=1はサポートしていません。（基本モジュール幅=2で印刷）
(F9680M4：基本モジュール幅=1.5で印刷)
高速モードで印刷する場合は、バーコードも間引きされるため、読み取りは保証されません。
範囲指定バーコードをサポートしていますが、印刷方向に90°、180°、270°を指定しても0°で印刷されます。
- 6) グラフ内文字の更新ピッチは、ANK横書は16ドット、ANK縦書／漢字横書／漢字縦書は24ドットです。

F9680M4： ANK横書は16ドット、ANK縦書／漢字辞書／漢字縦書は32ドット

グラフ内文字（ANK）の書体はドラフトパターンで印字します。
(F9680M4：F6680ANKパターン)

- 7) イメージの拡大、縮小率が1/8～8倍のため、印字結果が表示ファイルの組み込みメディア項目の項目領域からはみ出る、または余白ができる場合があります。
- 8) 線画データ印刷では、表示ファイルの組み込みメディア項目にてファイル名の指定のみ可能です。
- 9) 両面印刷はサポートしていません。

⑥ PRIMERGY6000と連携するには、拡張出力機構（VSPBEX1）が必須となります。

(4) NMC代替接続

NMC代替（Netcompo NMCサーバ、NMC-LANゲートウェイ、HOST PRINTなど）による接続を行うための設定を本プリンタに行った場合は、その接続形態の専用プリンタとしてのみ動作します。他の接続を行うためには設定の変更が必要となります。

(5) CJMS連携時の注意事項

セットアップ項目中の装置設定において、印字桁数設定を変更することにより、行の右端での折り返し位置が変化します。その結果、PRIMEPOWER、富士通S series上のPrintWalker/BPCとプリンタとの間でページ概念に相違が発生し、リカバリページが乱れるおそれがあるため、注意が必要となります。

GS/PRIMEFORCE上とプリンタの間で、行の折り返し位置の統一をとるようにしてください。

(6) JOBキャンセル時の注意事項

- ① NMC代替（HOST PRINT、NMC-LANゲートウェイ、Netcompo NMCサーバ）による接続GS/PRIMEFORCE上でJOBキャンセルを行った場合、プリンタは受信データを印刷後、その位置で止まります。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。【改ページ】スイッチを押すことにより、プリンタ装置内の行管理情報をページの先頭に戻してから用紙位置に設定してください。
1ページ内に6/81piが混在しているデータを印刷時にJOBキャンセルを行い、その後【改ページ】スイッチを押すと、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。印刷途中でオフライン状態にした場合も、次の印刷を開始する前に【改ページ】スイッチを押し、用紙位置を再設定する必要があります。

- ② Windows Server 2003/2000上のHOST PRINT（帳票管理サービス）を使用したPrintWalker/PMによる接続（GS/PRIMEFORCE連携の印刷）
PRIMEPOWER、富士通S seriesサーバ上のCJMSを使用したPrintWalker/BPCによる接続（GS/PRIMEFORCE連携の印刷）

1) オンライン状態でのJOBキャンセル

PrintWalker/PMおよびPrintWalker/BPCからJOBキャンセルを行った場合、プリンタはJOBキャンセルを認識した時点で受信データを破棄し、改ページ動作を行った後に止まります。このため、次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます。
1ページ内に6/81piが混在しているデータを印刷時にJOBキャンセルを行った場合、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。

2) オフライン状態およびエラー発生状態でのJOBキャンセル

PrintWalker/PMおよびPrintWalker/BPCからJOBキャンセルを行った場合、プリンタは受信データを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理情報もクリアされています。1ページ内に6/81piが混在しているデータを印刷時にオフライン状態にし、【改ページ】スイッチを押すと、用紙位置がミシン目に合わなくなるおそれがあるため、注意が必要となります。

③ Windows上のPrintWalker/PMによる接続

PRIMEPOWER、富士通S seriesサーバ上のPrintWalker/BPCによる接続（PRIMEPOWER、富士通S seriesサーバ上のアプリケーションからの印刷）
PRIMERGY6000サーバ上のLANプリンタ制御オプションによる接続

1) オンライン状態でのJOBキャンセル

PrintWalker/PM、PrintWalker/BPCおよびLANプリンタ制御オプションからJOBキャンセルを行った場合、プリンタはJOBキャンセルを認識した時点で受信データを破棄し、改ページ動作を行った後に止まります。このため、次のデータを受信しても用紙位置を再設定することなく印刷を再開することができます。

2) オフライン状態およびエラー発生状態でのJOBキャンセル

PrintWalker/PM、PrintWalker/BPCおよびLANプリンタ制御オプションからJOBキャンセルを行った場合、プリンタは受信データを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理機能もクリアされています。

〔注意〕 VSP2600/3700/3801で設定可能なページ合わせ設定機能（JOB間およびJOBキャンセル時のページ位置合わせを行うタイミングの設定）は、本プリンタにはありません。

(7) 保護機能

- 1) 印字デューティが高い場合、3分割印字により、印字ヘッドおよび電源を保護します。
- 2) 印字ヘッドの温度が規定値以上になると、3分割印字により温度上昇を防止します。

(8) 印字制限条件

- 1) 連続改行は、1分間以上行わないでください。
- 2) 5桁（パイカピッチ）以下の連続印字またはスペース動作は、5分間以上行わないでください。
- 3) 50%デューティ以上のパターンの連続印字は、1分以上行わないでください。
- 4) 横罫線等の特定ドットの連続印字は、1分以上行わないでください。

(9) GS/PRIMEFORCEからの印刷時の注意事項

GS/PRIMEFORCEからの印刷時、接続形態により印刷後の【改ページ】スイッチの動作に違いがあるため注意が必要です。

- 1) NMC代替（HOST PRINTのVSPサービス、NMC-LANゲートウェイ、Netcompo NMCサーバなど）による連携
 - ・LUタイプ1
ホストからページ長／改行ピッチ情報が指定された場合、【改ページ】スイッチはその値に従って動作します。
 - ・LUタイプ3
【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します。
 - 2) HOST PRINTの帳票管理サービス、PRIMERPOWER、富士通S seriesのCJMSを使用した連携
【改ページ】スイッチはプリンタ装置の設定値に従って動作します。
- (10) プリンタに標準装備していない文字を使用する場合
プリンタに標準装備していない文字を帳票で使用した場合は、印刷処理中にプリンタ側から文字フォント要求を通知し、上位装置から文字フォントのダウンロードが行われます。このため、性能が低下しますので運用に先立ち十分な確認が必要です。
- [GS/PRIMEFORCE連携、PRIMEPOWER連携、富士通 S series連携、PRIMERGY/PRIMEQUEST（共にRed hat Enterprise Linux）連携]
- ・プリンタ内に標準装備している文字
JEF非漢字、JEF第一水準／第二水準、書式文字
 - ・上位装置からダウンロードを行う文字
JEF拡張非漢字／拡張漢字
ユーザ定義文字
- [PRIMERGY6000連携]
- ・プリンタ内に標準装備している文字
JEF非漢字（明朝体）、JEF第一水準／第二水準（明朝体）、書式文字
 - ・上位装置からダウンロードを行う文字
JEF拡張非漢字／拡張漢字（明朝体）
JEF非漢字（ゴシック体）、JEF第一水準／第二水準（ゴシック体）
JEF拡張非漢字／拡張漢字（ゴシック体）
ユーザ定義文字
- (11) LAN-WAN-LAN環境で使用する場合
VSPはサーバとの接続を維持するため、VSP～サーバ間で定期パケットを送受信することによってポーリング処理やリトライ処理を行っています。
これらの定期パケットはVSPとサーバとの接続形態にもよりますが、約30秒間隔で送信されるものや、約2～3分間隔で送信されるもの等いくつか存在します。
そのためVSP～サーバ間は常時接続状態が維持されることになるため、回線接続維持に課金がされるWAN等が、VSP～サーバ間のネットワーク環境に存在する場合は接続費用が発生します。
上記の課金を防止するためには、VSP～対象サーバ間は必ず課金のかからないネットワーク環境（同一セグメント、専用線等）としてください。
なお、上記の定期パケットは100～200バイト程度であり、LANトラフィックに大きな影響を及ぼすことはありません。
- (12) 印字速度（通常／高速モード）
通常／高速モードは、印刷すべきドットを単純に間引いて、高速性を実現しています。
従って高品位モードと比較して、印字品質が粗くなりますので注意願います。
特に複写伝票に印刷する場合は、印刷濃度が低下しますので注意願います。
図形／イメージ印刷時は使用しないでください。
OCR、バーコード等の読み取りは出来ません。
- (13) 印刷可能領域について
- 1) 印刷可能領域外への印刷における印刷品質は保証できません。
 - 2) 印刷可能領域外へ印刷を行うと、印字ヘッドの損傷等プリンタ装置の故障の原因となる恐れがあります。

- 3) 下端近くに印刷を行いますと、プリンタ装置が用紙切れを検出し、印刷が失敗することがありますので、印刷可能領域内に印刷してください。余白を設定できないアプリケーションの場合は、以下の操作を行ってください。

『プリンタ』フォルダのメニューから『ファイル』メニューの『サーバーのプロパティ』にて余白を考慮した用紙を作成し、ご使用ください。

(14) 印字ヘッド動作方向設定について

印字ヘッド動作方向の初期値は、両方向印字になっています。

このため、バーコード、図形、イメージなどを印刷する場合、正逆印字ずれが発生することがあります。

これらの印刷を行う場合は、セットアップの印字ヘッド動作方向設定で片方向印字に設定することを推奨します。

(15) PrintWalker/PMの印刷ページ操作について

印刷中に【スタート/ストップ】スイッチを押して印刷を停止させ、PrintWalker/PMの「操作」ボタンを押してから印刷ページを操作した場合、プリンタは受信済のデータを破棄します。このため、次の印刷を開始する前に以下の手順で用紙位置を再設定する必要があります。プリンタ内の行管理情報もクリアされます。

[用紙位置の再設定手順]

【用紙微調送り▲／▼】スイッチを押して、印刷開始位置を調整する。

(16) 節電モードについて

上位装置から印刷データが送信されてこない、かつ操作パネルのスイッチが押下されない状態が一定時間続くと節電モードへ移行します。

節電モードへの移行時間に関する設定はセットアップモードで行ってください。

(「3.3.3 セットアップの設定内容」参照)

第2章 準備

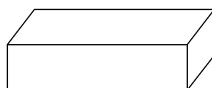
本章では、梱包品の確認、装置の設置、LANケーブルの接続、電源ケーブルの接続、リボンカートリッジの取り付けおよびソフトウェアのインストールについて説明します。

2.1 梱包品の確認

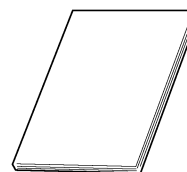
本装置の添付品用梱包箱をあけると、以下の添付品が収納されています。すべてが揃っているかどうか確認してください。

万一、欠品、破損がありましたら、恐れ入りますが担当営業または保守員にお問い合わせください。

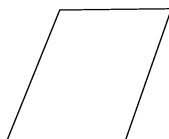
1. リボンカートリッジ（現地調整用）



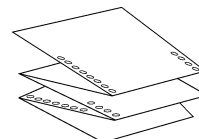
2. 取扱説明書（本書）



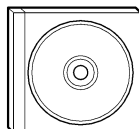
3. 保証書



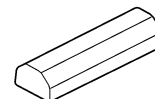
4. 連帳用紙



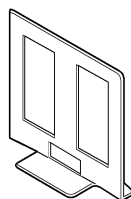
5. CD-ROM



6. 用紙ドーム



7. ガイド



8. 台座（4個）



お願い

- ・本プリンタにLANケーブルは含まれていませんので、別途用意してください。なお、LANケーブルの購入方法、その他不明な点については、担当営業までお問い合わせください。
- ・保証書は大切に保管してください。

2.2 装置の設置

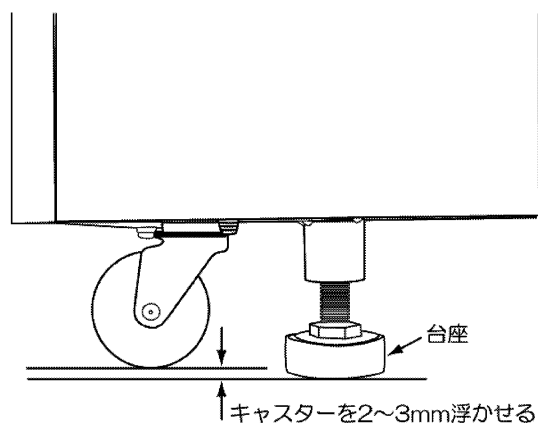
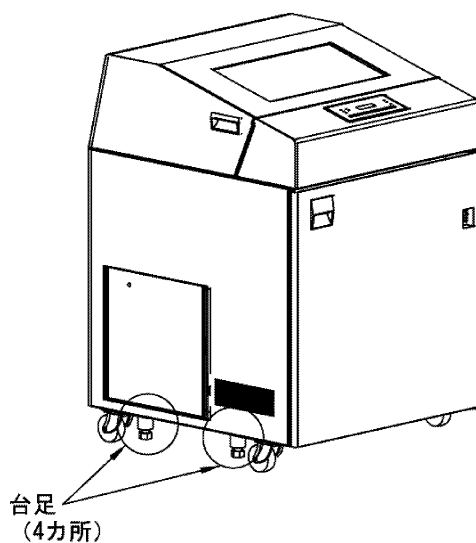
1 装置の設置場所を設定します。

設置条件については 「8.3 設置スペースと設置上の注意事項」を参照してください。

ガイド

本項の作業については担当保守員の作業となります。お客さまにて装置の移設等装置を動かすときは担当保守員に相談してください。

2 添付の台座を下に敷き、台足をおろして装置を固定してください。（4ヶ所）



キャスタが床から約2mm以上浮くようにしてください。



台足をおろしてください。
台足をおろさないで装置が動作中に移動することがあります。

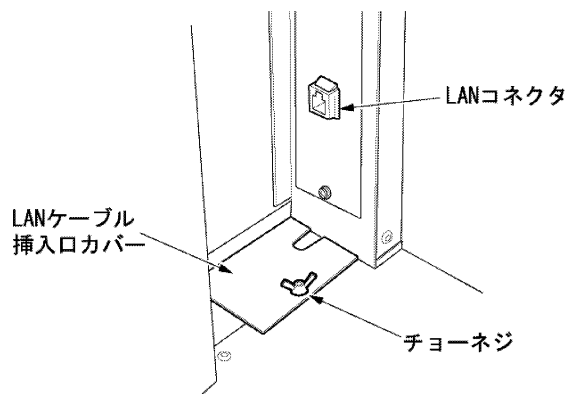
2.3 LANケーブルの接続

**警告****一般的注意**

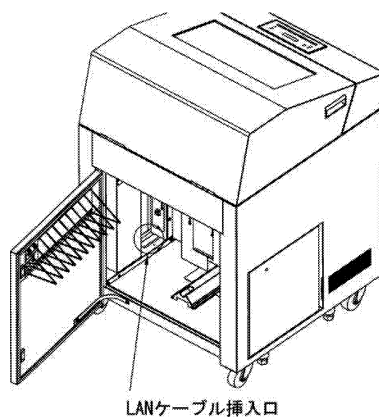
LANケーブルを抜き差しするときは、必ず本プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。感電の原因となります。

LANケーブルの接続は、次の手順で行います。

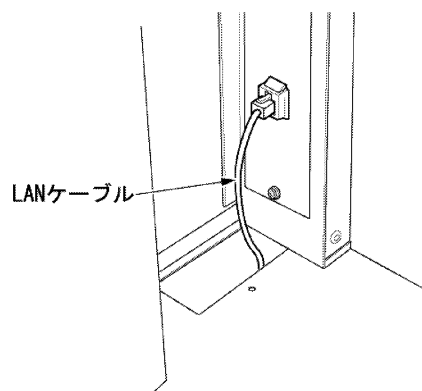
- 1 プリンタの電源が切れていることを確認します。
電源スイッチが（○側）に倒れた状態です。
- 2 後ろ扉を開きます。
- 3 スタッカ左下部のLANケーブル挿入口カバーを取り外します。
（チョーネジ1本）



- 4 LANケーブル挿入口から、LANケーブルを装置内へ挿入します。



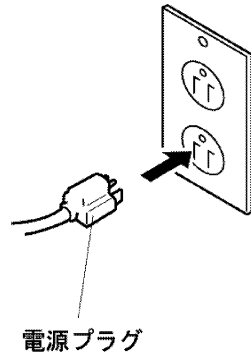
5 LANケーブルをLANコネクタに接続します。



6 LANケーブル挿入口カバーを元の位置に取り付けます。

2.4 電源ケーブルの接続

- 1 電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認します。
- 2 電源プラグをコンセントに接続します。



⚠ 注意

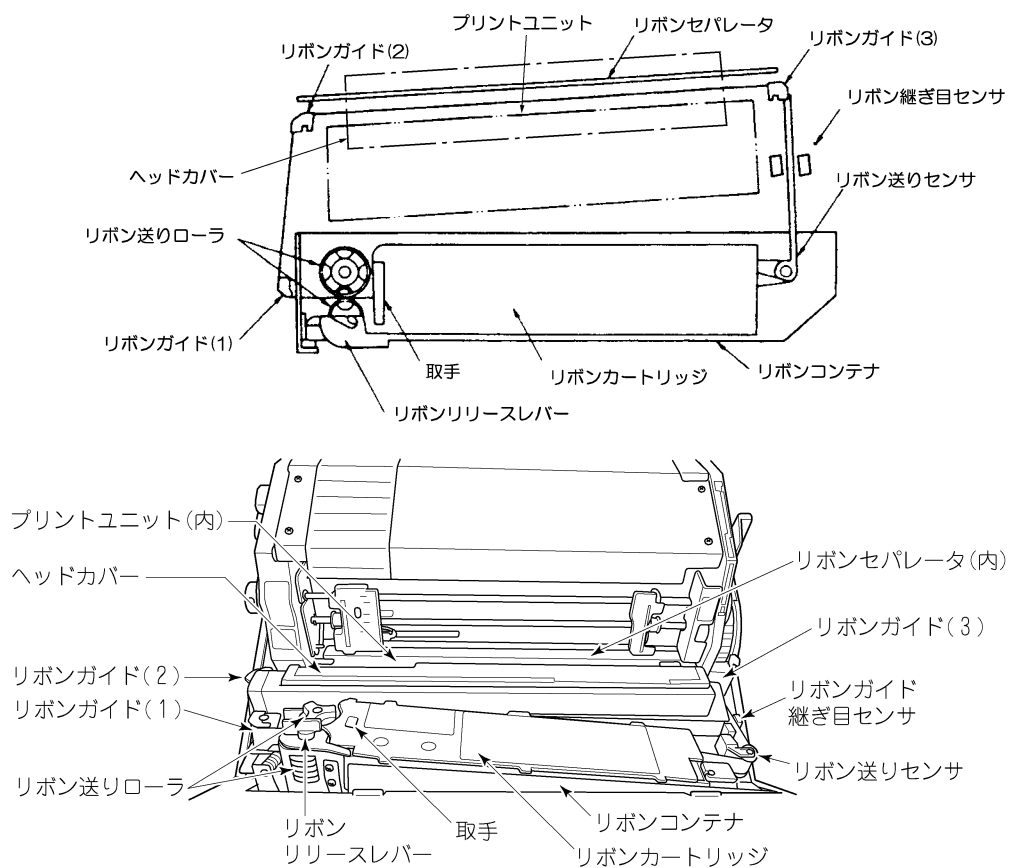


感電注意

- ・ プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- ・ 濡れた手で電源ケーブルをあつかわないでください。感電のおそれがあり、大変危険です。

2.5 リボンカートリッジの取り付け

インクリボンの走行ルートが下図のようになるよう、リボンカートリッジを取り付けます。

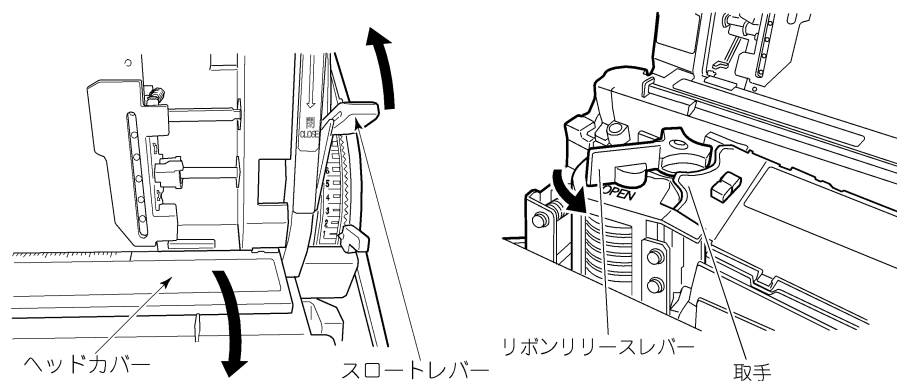


ガイド

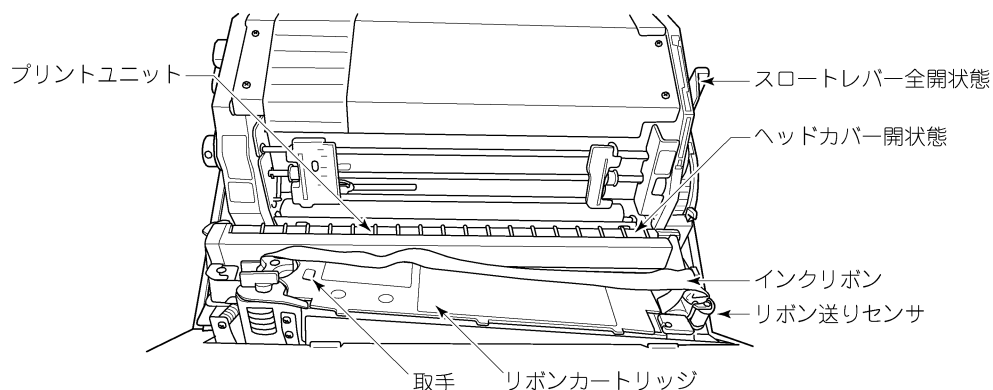
リボンカートリッジを交換するときは、「4.1 リボンカートリッジの交換」の手順でリボンカートリッジを取り外してから、新しいリボンカートリッジを取り付けてください。

インクリボンの取り付けは、以下の手順で行います。

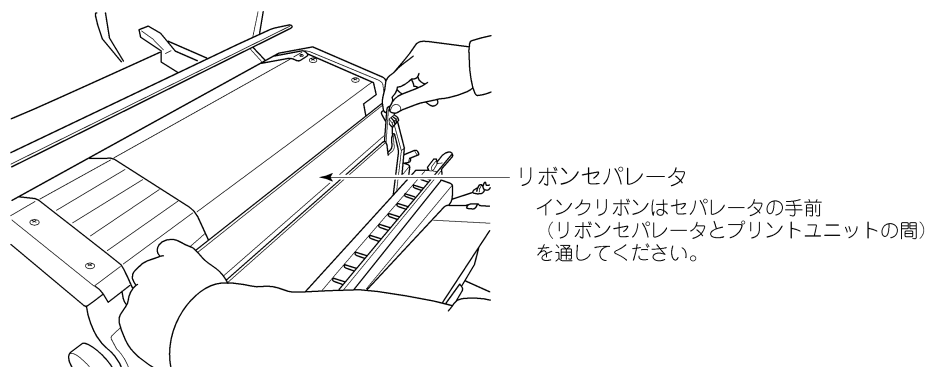
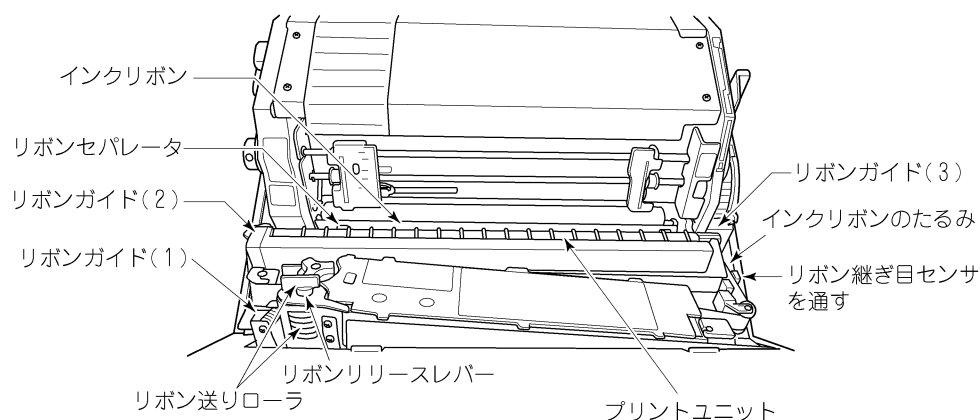
- 1 スロットレバーを『全開』位置にします。
- 2 リボンリリースレバーを手前に引きます。
- 3 ヘッドカバーを開きます。



- 4** リボンカートリッジの引出し口（取手の反対側）からインクリボンを引き出し、リボン送りセンサに掛けてから、リボンカートリッジをリボンコンテナの右側に押し込みます。

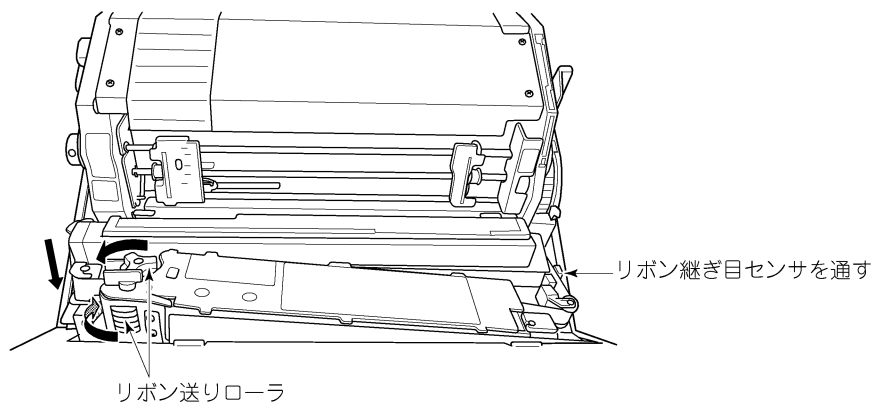


- 5** リボンカートリッジの繰入れ口（取手側）からインクリボンを引き出し、リボン送りローラの間を通してリボンガイド(1)と(2)に掛け、リボンセパレータの手前（リボンセパレータとプリントユニットの間）を通してリボンガイド(3)に掛け、リボン継ぎ目センサに通します。



- 6** リボンリリースレバーを回してリボン送りローラを閉じます。

- 7 リボン送りローラを手で回し、インクリボンをリボンカートリッジの中に押し込んで、インクリボンのたるみを除きます。



- 8 インクリボンにねじれやたるみがないことを確認します。
- 9 ヘッドカバーを閉じます。
- 10 スロートレバーを『閉』位置にします。
- 11 トップカバーを閉じます。

ガイド

装置に添付されているインクリボンはテスト用のため短寿命です。

すみやかに指定消耗品を購入してください。

2.6 ソフトウェアのインストール

注) Windowsのアップグレードは、インストールされているPrintWalker/PMをアンインストールしてから行ってください。

すでに旧版（CD-ROM版数：E05V03以前）のVSP/VSプリントモニタ（PrintWalker/PMの旧名称）がインストールされている場合、アンインストールしてからPrintWalker/PMをインストールしてください。

インストール時は「Spooler」サービスが起動されている必要があります。

● Windows 2000/XP/Server 2003へのインストール手順

Step1. PrintWalker/PMのインストール

1. Windowsを起動し、管理者グループのユーザーとしてログオンして装置添付のCD-ROM（PrintWalker）をCD-ROMドライブにセットします。
2. Autorunが有効の場合、“PrintWalker Install Selector”の画面が表示されますので、[PrintWalker/PM-Windows 2000/XP/Server 2003版のインストール]を選択してから[インストール]ボタンをクリックすると、確認画面が表示されますので、[はい]ボタンをクリックします。
Autorunが無効の場合、3項の手順を行ってください。

3. アプリケーションの追加を手動で行います。

- (1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]を選択し[コントロールパネル]を開き、[アプリケーションの追加と削除]のアイコンをダブルクリックします。
- (2) [プログラムの追加] → [CDまたはフロッピー] ボタンをクリックします。
“フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール”の画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。
- (3) “インストールプログラムの実行”の画面が表示されましたら、[インストールプログラムのコマンドライン]に以下を入力し、[完了]ボタンをクリックします。

D:\YPRINTMON\YW2SERVER\SETUP.EXE (DはCD-ROMドライブ名)

4. インストールを開始します

- (1) インストール初期画面“PrintWalker/PM Install”が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。
- (2) インストール方法の選択画面が表示されますので、“フルインストール”または“カスタムインストール”を選択してから[次へ]ボタンをクリックします。
インストール先を変更したい場合は[ディレクトリ]ボタンをクリックしてからディレクトリ名を入力します。

注) インストール先変更にあたって、下記条件があります。

- ・ディレクトリ名は8文字以内の英数字で指定してください。
- ・指定するドライブ内に存在しないディレクトリ名を入力してください。
- ・ディレクトリはドライブ直下に作成してください。

- (3) “カスタムインストール”を選択した場合はインストールするコンポーネントの選択画面が表示されますので、Webメッセージ管理を使用したい時はチェックしてから[次へ]ボタンをクリックします。

注) Webメッセージ管理とは、Webブラウザ上でプリンタに発生したエラーなどを表示する機能です。

詳細は、CD-ROM内のYPRINTMONフォルダにあるテキストファイル（Rdwebmsg.txt）をご覧ください。

- (4) インストール開始確認画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。
- (5) コピー経過表示画面が表示されます。
途中、“メッセージ操作動作環境設定” および”メッセージ到着通知パネルのスタートアップへの登録”の設定画面が表示されますので、[次へ] ボタンをクリックします。
その後、[PATH環境変数] の追加の確認画面が何度か表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
- (6) インストール終了後、コンピュータを再起動してください。

以上で、PrintWalker/PMのインストールは終了です。
引き続き、VSPプリンタドライバをインストールしてください。

Step2. VSPプリンタドライバのインストール

1. プリンタがLANに接続されていることを確認して、プリンタの電源を入れます。
2. プリンタの追加を行います。
 - (1) タスクバーから[スタート]→[設定]→[プリンタ]を選択して[プリンタ]フォルダ (Windows XP/Server 2003では[プリンタとFAX]フォルダ)を開き、[プリンタの追加]のアイコンをダブルクリックします。
 - (2) “プリンタの追加ウィザードの開始” 画面が表示されますので[次へ]ボタンをクリックします。
 - (3) プリンタの接続形態として[ローカルプリンタ]を選択し、[プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックはしないで、[次へ]ボタンをクリックします。
3. 手動設定を行います。
 - (1) 使用するプリンタポートを選択する画面が表示されますので、[新しいポートの作成]を選択した後、[種類]の中から[VSP Network Port]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
 - (2) “ポート追加”の画面が表示されます。
任意の[ポート]名と[アドレス] (接続先のプリンタのIPアドレス)を入力します。
“論理プリンタ”の設定は、[プリンタ1] (デフォルトの設定)のまま変更しないでください。
[OK] ボタンをクリックします。
 - (3) プリンタの製造元とモデルを設定する画面が表示されますので、[ディスク使用]ボタンをクリックします。
 - (4) “フロッピーディスクからインストール”の画面が表示されましたら、[製造元のファイルのコピー元]に以下を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

Windows 2000は	D:\YPRINTDRV\YVSP3XXX\YWIN2000
Windows XPは	D:\YPRINTDRV\YVSP3XXX\YWINXP
Windows Server 2003は	D:\YPRINTDRV\YVSP3XXX\YWIN2003
	(DはCD-ROMドライブ名)
 - (5) プリンタの一覧が表示されますので、“FUJITSU VSP3710B”をクリックし、[次へ]ボタンをクリックします。
 - (6) プリンタ名 (任意の名前で可)、通常使うプリンタの設定を必要に応じて行い、[次へ]ボタンをクリックします。
 - (7) プリンタの共有の設定を必要に応じて行い、[次へ]ボタンをクリックします。

- (8) テストページの印刷は[いいえ]を選択して、[次へ] ボタンをクリックします。
- (9) “プリンタの追加ウィザードを完了しています” の画面になりますので、[完了] ボタンをクリックします。プリンタドライバがコピーされます。
この時、Windows 2000の場合は『デジタル署名が見つかりませんでした』、Windows XP/Server 2003の場合は『互換性を検証するWindowsのロゴテストに合格していません』の警告画面が表示されますが、[はい]または[続行] ボタンをクリックしてインストールを続行してください。
- (10) コピーが終了しますとプリンタの追加ウィザードが完了します。

3. プリンタのプロパティを変更します。

- (1) [プリンタ]フォルダに追加したプリンタのアイコンをクリックしてから、[ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックします。
- (2) “プロパティ” 画面の[詳細設定]タブを開き、[全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る]を選択して、[適用]ボタンをクリックします。
- (3) [OK]ボタンをクリックして“プロパティ” 画面を閉じます。

注) VSPプリンタドライバの詳細は、CD-ROM内のYPRINTDRV\YVSP3XXX\WIN2000 (WINXP、WIN2003) フォルダにあるテキストファイルをご覧ください。

以上で、VSPプリンタドライバのインストールは完了です。

第3章 操作説明

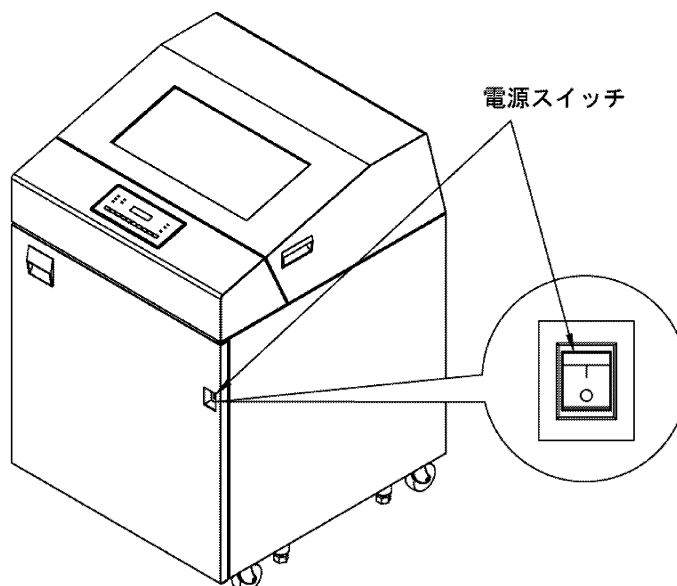
本章では、本装置の電源の投入と切断、操作パネルの配置と機能、セットアップ、装置立ち上げと印刷設定、LAN接続、用紙のセットおよび用紙の交換について説明します。

3.1 電源の投入と切断

3.1.1 電源の投入

電源の投入は、以下の手順で行います。

- 1 インクリボンがセットされていることを確認します。
- 2 電源スイッチをON（「I」側）にします。
ハードウェアの自己診断が開始されます。



- 3 用紙がセットされている場合は“オンライン”、セットされていない場合は“ヨウシギレ”と表示されます。

ガイド

- ・ 自己診断中にエラーが発生した場合は、「チェック」ランプが点灯し、液晶ディスプレイにエラーの状態が表示されます。

3.1.2 電源の切断

電源の切断は、以下の手順で行います。

- 1 印字動作中および用紙送り動作中でないことを確認します。
- 2 【スタート/ストップ】スイッチを押し、オフライン状態にします。
- 3 電源スイッチをOFF（「O」側）にします。

3.2 操作パネルの配置と機能

本装置の操作パネルは、操作に必要なスイッチ（SW）、ランプ（LED）および液晶ディスプレイ（LCD）で構成されています。

液晶ディスプレイには、装置の状態やエラーが発生したときのメッセージが表示されます。

3.2.1 操作パネルの配置

本装置の操作パネルの配置を図3.1に示します。

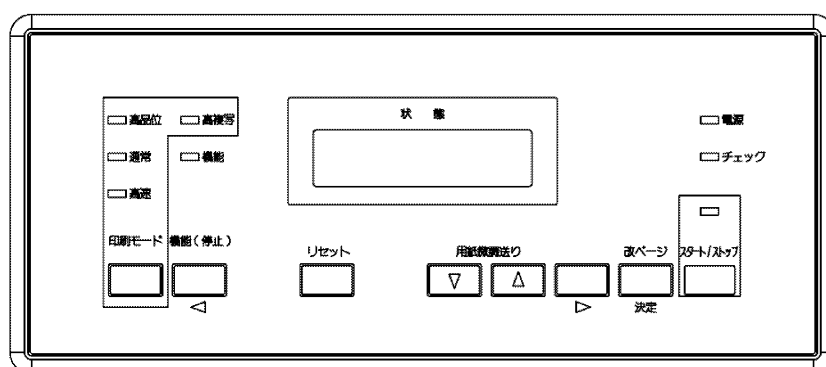


図3.1 操作パネルの配置図

3.2.2 操作パネルの機能

操作パネルの機能について、下記に示します。

(1) スタート/ストップ（スイッチ&ランプ）

- ・本スイッチは押下する度にオフライン→オンライン→オフライン状態に遷移し、オンライン状態ではランプが点灯します。
但し、チェック要因が発生している場合は有効となりません。
- ・印刷動作中に押下すると、現在印刷中の行又は次行の内容を完全に印刷後停止します。
停止した後に、オフライン状態となります。サポートサーバ設定がPrintWalkerの場合、印字データを装置内に保持している場合は液晶ディスプレイに印字データが残存している旨の表示を行います。この時、装置内の用紙長に影響を及ぼさないもの（印刷モード、微調送り、改ページ）は有効ですが、その他は無効です。
- ・「スタート」ランプが消灯する要因は以下の通りです。
 - ・本スイッチの押下
 - ・チェック要因発生
 - ・停止タイムアウト（サポートサーバ設定がPrintWalker時を除きます）
 - ・セットアップの起動
- ・印字ヘッドユニット交換／トラクタ交換／タイミングベルト交換／フィードローラ交換／プラテンカンセイ交換／リボン送りローラ交換／セパレータ交換／装置寿命状態になると、電源投入後最初のオンライン状態で「スタート」ランプが約10秒間点滅します。（担当営業または保守員に連絡してください）
- ・電源投入直後又はエラー状態解除直後、且つバックラッシュ動作未実施の状態からオンライン状態移行時、バックラッシュ動作（1/2インチ）を行います。

(2) 用紙微調送り ▲／▼ (スイッチ)

- ・用紙セット時に用紙の先頭を合わせるのに使用します。
- ・本機能による用紙の移動は、用紙のページ長管理に対して影響を与えません。
- ・有効状態
 - ・オフライン状態
 - ・用紙終了状態
 - ・停止状態（サポートサーバ設定がPrintWalker時を除きます）
- ・押し続けると、最初は僅かずつ改行を行い、次第に改行ピッチを増やし改行速度を速めます。
- ・電源投入直後又はエラー状態解除後、且つバックラッシュ動作未実施の正改行時、バックラッシュ動作（1/2インチ）を行った後に微小改行動作を行います。逆改行時、バックラッシュ動作を行います。
- ・セットアップ／機能モード時の設定値の変更を行います。

(3) 改ページ／決定 (スイッチ)

- ・オフライン状態で有効です。
- ・1回の操作で印刷位置を用紙の次のページの第1行、左マージン位置に移動します。
- ・サポートサーバがPrintWalkerで未印刷データが装置内にある場合は印刷データは消去されます。
- ・電源投入直後又はエラー状態解除後、且つバックラッシュ動作未実施の場合、バックラッシュ動作（1/2インチ）を行った後に改ページ動作を行います。
- ・セットアップ／機能モードの時の項目の選択、設定値の決定を行います。

(4) 機能（停止）／◀ (スイッチ&ランプ)

(i) サポートサーバ設定が6680NMC、HOST PRINTの場合

- ・オンライン状態では「停止」状態に遷移します。
- ・LU1モードはPAキー画面へ遷移し、「機能」ランプを点滅させ、又LU3モード時はペーパーアジャスト画面へ遷移し「機能」ランプを点灯します。
- ・この状態を10分以上継続すると、オフライン状態となり、停止タイムアウト画面へ遷移します。
- ・オフライン状態では書式設定を行います。
この時、各種設定にて使用する機能には、【決定】、【▲／▼】、テストインジでの【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります。
但し、テストインジ以外での【スタート／ストップ】スイッチ押下はLU1モード時はPAキー画面へ遷移しLU3モード時はペーパーアジャスト画面へ遷移します。
- ・印字データを保持していない時のみ有効です。電源投入時はセットアップ値が設定されます。

(ii) サポートサーバ設定がPrintWalkerの場合

- ・オンライン状態では無効です。
- ・「機能」ランプは点滅します。
- ・オフライン状態では書式設定を行います。
この時、各種設定にて使用する機能には、【決定】、【▲／▼】、テストインジでの【スタート／ストップ】スイッチ以外は無効となります。
- ・印字データを保持していない時のみ有効。電源投入時はセットアップ値が設定されます。

(iii) セットアップモード時

- ・装置名設定において、左への桁移動を行います。

(5) 印刷モード (スイッチ&ランプ)

- ・オフライン／オンライン状態で有効です。
- ・電源投入時はセットアップモードの装置設定で設定された印刷モード設定に従い、ランプが点灯します。
- ・各ランプの状態は次の通りになります。

印刷モード	点灯するランプ
高品位	高品位
通常	通常
高速	高速
高品位＋高複写	高品位＋高複写
通常＋高複写	通常＋高複写
高速＋高複写	高速＋高複写
高品位＋段差	高品位、液晶ディスプレイに「ダンサ」表示
通常＋段差	通常、液晶ディスプレイに「ダンサ」表示
高速＋段差	高速、液晶ディスプレイに「ダンサ」表示
高品位＋高複写＋段差	高品位＋高複写、液晶ディスプレイに「ダンサ」表示
通常＋高複写＋段差	通常＋高複写、液晶ディスプレイに「ダンサ」表示
高速＋高複写＋段差	高速＋高複写、液晶ディスプレイに「ダンサ」表示

- ・通常モードは高品位モードより3分の1、高速モードは2分の1横方向のドットを間引いて印字速度を上げています。
文字のみの印字データを速く印刷するときに適しています。
 - ・高複写モードは複写枚数が多い用紙に印刷する時に適していますが、印字速度が2分の1に低下します。
 - ・段差媒体モードは1ページ内で幅方向に段差がある複写用紙に印刷する時に適していますが、印字速度が約90%に低下します。
- (6) リセット（スイッチ）／チェック（ランプ）
- ・チェック要因（用紙終了等）発生時に、このチェックランプが点滅します。
尚、この時ブザーも間欠音を発生します。
 - ・チェック要因を解除した後、【リセット】スイッチを押下するとチェックランプは消灯し、ブザーも停止します。
 - ・チェック要因を未解除のまま【リセット】スイッチを押下するとブザーのみ停止します。
 - ・【リセット】スイッチはエラー発生時に有効となり、復旧可能な場合は、本スイッチを押下することにより、それぞれストップ画面に遷移します。但し、エラー要因が解除されない場合にはブザーのみ停止します。
- (7) ►（スイッチ）
- ・セットアップモードで、各設定値の桁を右に移動するのに使用します。
- (8) 電源（ランプ）
- ・電源が投入されている時に点灯します。

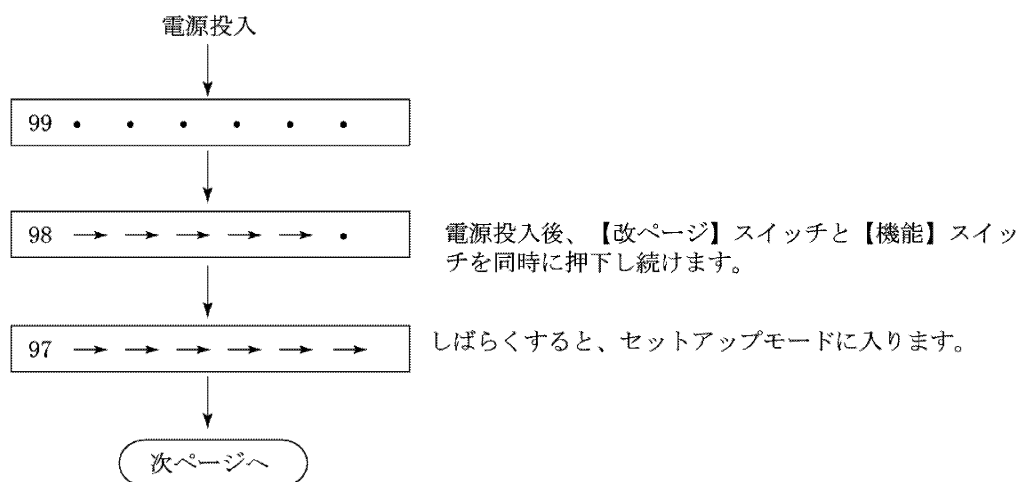
3.3 セットアップ

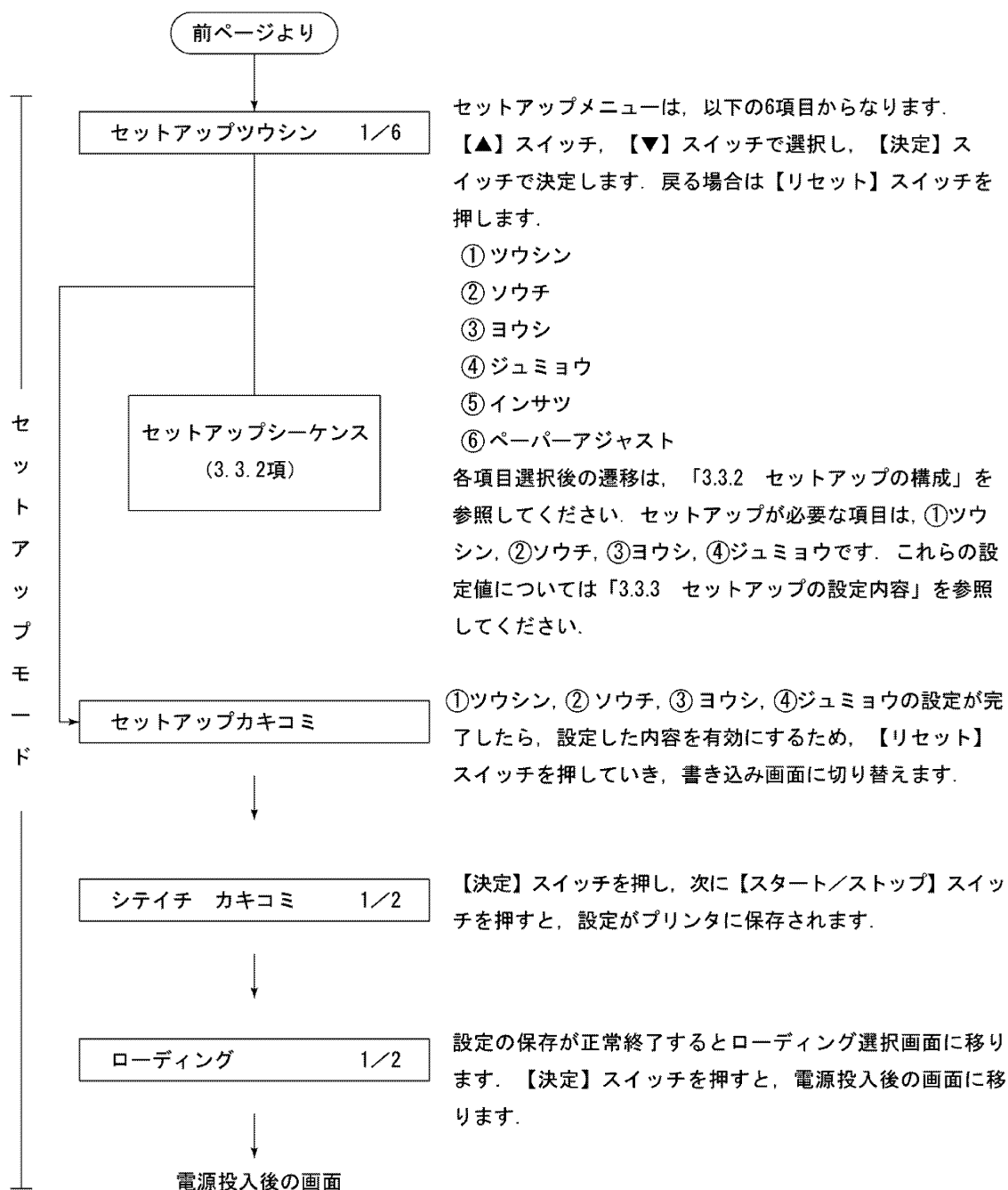
本装置は、導入するLAN環境やシステム接続形態に応じたセットアップが可能です。セットアップの手順と、セットアップの構成およびセットアップの設定内容を説明します。

3.3.1 セットアップの手順

セットアップは操作パネルを使ってプリンタの各種設定を行います。

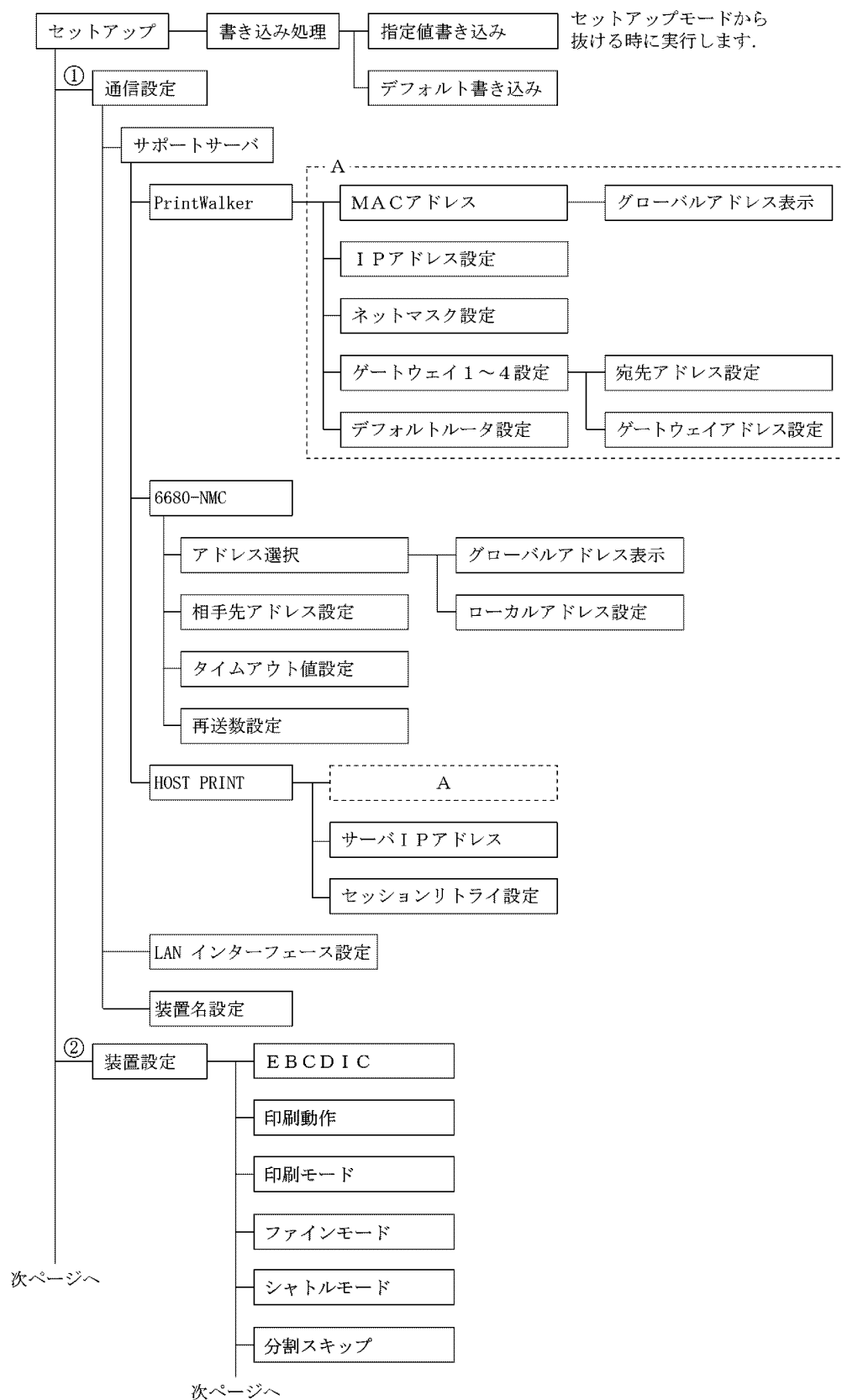
セットアップの操作手順を以下に示します。

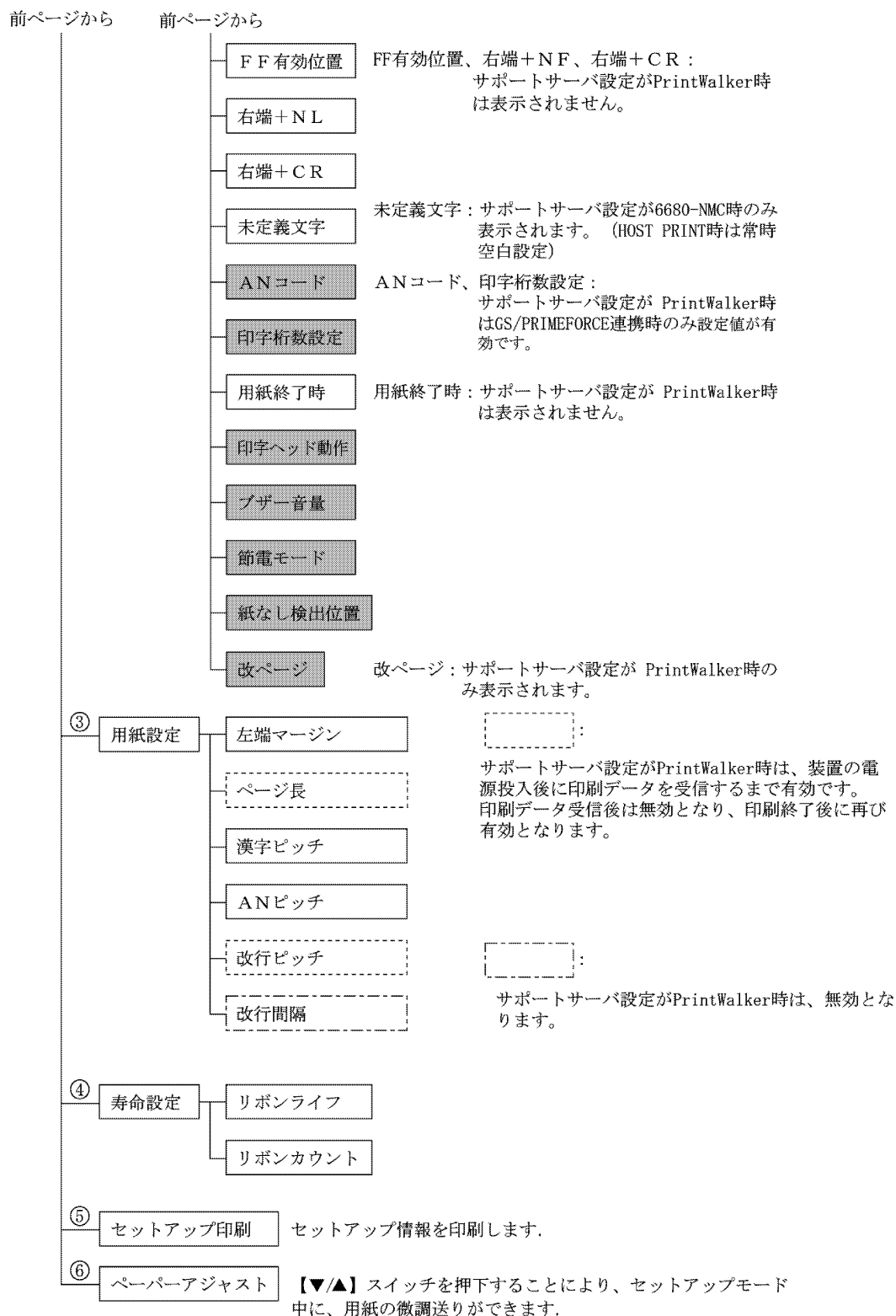




3.3.2 セットアップの構成

以下にセットアップモードのツリー構成を示します。





3.3.3 セットアップの設定内容

セットアップモードの設定内容を表3.1に示します。

項目の選択と設定値の変更は【▲】【▼】スイッチ押下で、桁の移動は【▶】スイッチ押下で、決定は【決定】スイッチ押下で行います。また、戻る場合は【リセット】スイッチを押します。

まず、現在の設定情報を印刷して確認してみます。セットアップモードの「セットアップインサツ」（「3.3.1 セットアップの手順」参照）を選択し、セットアップ印刷画面に入ります。用紙をセットしてから【スタート/ストップ】スイッチを押下すると、現在の設定情報を印刷します。

（図3.2参照）

現在の設定情報と実際の使用環境とを比較して、セットアップの設定内容を変更する必要があります。表3.1を見ながら、セットアップモードで使用環境に応じた設定値に変更してください。

①通信の設定については、「3.5 LAN接続」も併せて参照してください。

なお、設定変更を行った後は、「セットアップカキコミ」を選択して、設定した値をプリンタに保存してください。

表3.1 セットアップの設定内容（続く）

		セットアップ情報種類	設 定 内 容		備 考
			初期値	設定可能値	
①通信設定 (LAN関連の設定)	1	サポートサーバ設定	PrintWalker	PrintWalker 6680-NMC HOST PRINT	本機能でのみ 設定可能
	2	LANインターフェース	オート	オート/100M/10M	同上 注1)
	3	装置名設定	VSP3710B-XXXXXX (MACアドレス)	“(ハイフン)”、“0” ～“9”、“A”～“Z”、 “(アンダーバー)”、 “a”～“z” 上記文字を用いて45文 字以内が入力可能	同上 (文字の変更 は【▲/▼】 スイッチ、桁 の移動は【▶】 スイッチと 【◀】スイッ チ)
	サポートサーバがPrintWalker、HOST PRINTの場合				
	4	MACアドレス	グローバルアドレス	グローバルアドレス	表示のみ
	5	IPアドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	本機能でのみ 設定可能
	6	ネットマスク設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	7	ゲートウェイ1～4設定 (宛先アドレス)	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	8	ゲートウェイ1～4設定 (ゲートウェイアドレス)	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	9	デフォルトルータ設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上
	10	サーバIPアドレス設定	000.000.000.000	XXX.XXX.XXX.XXX	同上 注2)
	11	セッションリトライ設定	0回	XX: 0～10回	同上 注2)
	サポートサーバが6680-NMCの場合				
	12	アドレス選択	グローバルアドレス	グローバルアドレス ローカルアドレス	本機能でのみ 設定可能
	13	ローカルアドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX └ ビット2 ¹ 、2 ⁰ は bit ‘10’ 固定	同上
	14	相手先アドレス設定	020000000000	XXXXXXXXXXXX	同上
	15	タイムアウト値設定	2秒	XX.X: 0.1～25.5秒	同上
	16	再送数設定	7回	XX: 1～15回	同上

表3.1 セットアップ設定内容（続き）

		セットアップ情報種類	設 定 内 容		備 考
			初期値	設定可能値	
②装置設定	1	EBCDICフォント	標準	標準／OCR-B	本機能でのみ設定可能
	2	印刷動作でJEFコードのサポートの有無	JEF&AN	JEF&AN : JEFコード有り AN : JEFコード無し	同上
	3	印刷モード	高品位	高品位／通常／高速／高品位＋高複写／通常＋高複写／高速＋高複写／高品位＋段差／通常＋段差／高速＋段差／高品位＋高複写＋段差／通常＋高複写＋段差／高速＋高複写＋段差	操作パネルから設定可能
	4	ファインモード	オフ	オフ／オン	本機能でのみ設定可能 注3)
	5	シャトルモード	モード1	モード1／モード2 0.5～4.0秒(0.5秒ごと)	同上 注4)
	6	分割スキップ	オフ	オフ／2.0～5.0インチ(0.5インチごと)	同上 注5)
	7	FF有効位置	ANY	ANY (どこでも有効) FIRST (行の先頭のみ有効)	同上 注2)
	8	右端＋NL	2LF	2LF/1LF	同上 注2)
	9	右端＋CR	1LF	1LF/0LF	同上 注2)
	10	未定義JEFコード	空白	空白 HEX (16進数印刷)	同上 注6)
	11	ANコード設定	カナアリ	カナアリ (カナ付き) カナナシ (カナ無し) ASCII (EBCDIC ASCII) US (US ENGLISH)	同上 注7)
	12	印字桁数設定 (10cpi時)	136桁	136桁 (10cpi時) 132桁 (10cpi時) 桁長無制限	同上 注7) 注8)
	13	用紙終了時の中断／継続	中断	中断：ホストからの再送必要 継続：本装置で継続印刷	同上 注2)
	14	印字ヘッド動作方向設定	両方向	両方向／片方向	同上
	15	ブザー音量	2	オフ／1：小／2：中 3：大	同上
	16	節電モード	15分	3～239分 (1分ごと)	同上
	17	紙なし検出位置	オワリ	ページの終わり途中	同上
	18	改ページスイッチの紙送り量設定	パネル	パネル ホスト	同上 注9)

表3.1 セットアップ設定内容（続き）

		セットアップ情報種類	設 定 内 容		備 考
			初期値	設定可能値	
③ 用紙設定	1	左マージン	1	1～99カラム	操作パネルからも設定可能
	2	ページ長	66	1～99行	同上
	3	漢字ピッチ	1/5"	1/5" (5cpi) 1/6" (6cpi) 3/20" (6.7cpi)	同上
	4	ANピッチ	1/10"	1/10" (10cip) 1/12" (12cpi) 3/40" (13.3cpi) 1/15" (15cpi)	同上
	5	改行ピッチ	6LPI	6LPI/8LPI	同上
	6	改行間隔	1LF	1LF/2LF	同上
④ 寿命設定	1	リボンライフ	15万行	5～99万行 (1万行ごと)	本装置でのみ 設定可能
	2	リボンカウント	000000000	—————	表示のみ

注1) 本装置のデータレート固定設定は、半二重 (Half) のみサポートしています。
お使いになるスイッチングハブの設定がオートネゴシエーション以外の場合は、プリンタに合わせて半二重 (Half) に設定してください。（本装置とスイッチングハブともに“オート”設定を推奨します）

注2) サポートサーバ設定がPrintWalkerの時、本設定はセットアップメニューとして表示されません。

注3) ファインモードは、用紙の波打ち等の影響により、印字が乱れる場合に効果があります。ただし、各印刷モードにおける印字速度が低下しますのでご注意ください。
ファインモード中は液晶ディスプレイに“F”が表示されます。

00 オンライン F

90 オフライン F

ファインモードは、印刷モードが「高品位」または「通常」の場合に有効です。印刷モードが「高速」の場合は無効ですが、液晶ディスプレイに“F”が表示されます。

注4) シャトルモードについて

i) モード1 / モード2 の相違点

印刷パターンによっては、シャトル反転（停止→起動の繰り返し動作）時に発生する低音が耳障りなことがあります。その際は、「モード2」に設定すると発生音が軽減されます。

モード1 / モード2 の相違点は以下のとおりです。

	印刷終了後	印刷中におけるスキップ動作時
モード1	即、シャトル動作停止	一度のスキップ量が一定値を超えた場合、シャトル動作停止
モード2	設定した時間だけシャトル動作継続 (空振り動作)	スキップ量に関係なく、一定時間シャトル動作継続（空振り動作）

※1) 「モード2」を選択した場合、印刷パターンによっては印字速度が低下しますのでご注意ください。

※2) PRIMERGY6000 (69XXエミュレーション) 接続において1行内にANK文字のみのデータを印刷する場合、「モード1」では操作パネルで選択されている印刷モードに関わらず「高速モード」で印刷しますが、「モード2」では操作パネルで選択されている印刷モードで印刷します。

ii) モード2 選択時の時間設定

本設定は印刷終了後のシャトル動作継続時間（シャトル空振り時間）を指定します。

本時間はホスト側のデータ送信間隔に応じて適切な時間を設定してください。

本時間がデータ送信間隔より短い値に設定されていると「シャトル停止→起動」を繰り返すことになり、「モード2」でのシャトル動作音の軽減効果が得られません。

設定値の決定に迷う場合は「4.0秒」に設定してください。

印刷終了後のシャトル動作音が気になる場合は、少しずつ小さい値に設定し直してください。

iii) 液晶ディスプレイ表示

シャトルモードが「モード2」の時、液晶ディスプレイに“S”が表示されます。

00	オンライン	S
----	-------	---

90	オフライン	S
----	-------	---

また、シャトルモードが「モード2」でファインモードが「オン」の時は、液晶ディスプレイに“SF”が表示されます。

00	オンライン	SF
----	-------	----

90	オフライン	SF
----	-------	----

注5) 分割スキップについて

スキップ動作（一度に複数行を改行させる動作）において、スキップ量が多い場合に用紙の種類によってはうまく折り畳まないことがあります。その場合は、本設定により一度に送るスキップ量を分割させてください。一度に送るスキップ量は、2.0～5.0インチの範囲で0.5インチ単位で設定可能です。ただし、分割スキップを使用しますと、印刷速度が低下しますのでご注意ください。また、「オフ」はスキップ動作を分割しないという意味です。（スキップ量の設定値が小さいほど印刷速度が低下しますので、折り畳みの具合を見て設定値を決めてください。）

注6) サポートサーバ設定がPrintWalker、HOST PRINTの時、本設定はセットアップメニューとして表示されません。（HOST PRINTのときは常時空白設定）

注7) サポートサーバ設定がPrintWalker時は、GS/PRIMEFORCE連携時のみ設定値が有効です。

注8) GS/PRIMEFORCE連携時“136桁”に設定すると、136桁をこえたデータは次行に印字します。“桁長無制限”に設定すると、136桁をこえたデータは印字しません。

注9) 改ページスイッチの紙送り量について

サポートサーバ設定がPrintWalkerのとき、本設定はセットアップメニューとして表示されます。改ページスイッチ押下時の紙送り量は、印刷データを受信している状態ではホスト指定に従ったページ長であり、印刷終了後はプリンタに設定されたページ長となります。印刷終了後もホスト指定に従ったページ長で改ページ動作を行う場合には、本設定値を「ホスト」に変更してください。

印刷結果例

V SP3710B セットアップ印刷

☐	装置名設定	: V SP3710B -XXXXXX	☐
☐	シリアルNO	: XXXXXXXXXXXXX	☐
☐	システム版数	: EXXVXXLXX	☐
☐	拡張出力機構	: なし	☐
☐			☐
☐	<<装置設定>>	<<通信関連>>	☐
☐	EBCDICフォント	: 標準	☐
☐	印刷動作	: JEF&AN	☐
☐	印刷モード	: 通常印刷	☐
☐	ファインモード	: オフ	☐
☐	シャトルモード	: モード1	☐
☐	分割スキップ	: オフ	☐
☐	ANコード	: カナ有り	☐
☐	最大印字桁数	: 136桁	☐
☐	ヘッド動作	: 両方向	☐
☐	ブザー音量	: 中	☐
☐	節電モード	: 15分	☐
☐	紙なし検出位置	: ページの終わり	☐
☐	改ページSW	: パネル	☐
☐			☐
☐	<<消耗品関連>>		☐
☐	リボンライフ	: 15万行	☐
☐	リボンカウント	: 000000000行	☐
☐			☐
☐	フィルタ清掃カウント	: 000000000行	☐
☐			☐
☐	<<用紙設定>>		☐
☐			☐
☐	左マージン	: 01桁	☐
☐	ページ長	: 066桁	☐
☐	漢字ピッチ	: 1/5"	☐
☐	ANピッチ	: 1/10"	☐
☐	改行ピッチ	: 6LPI	☐
☐	改行間隔	: 1LF	☐
☐			☐
☐			☐
☐			☐

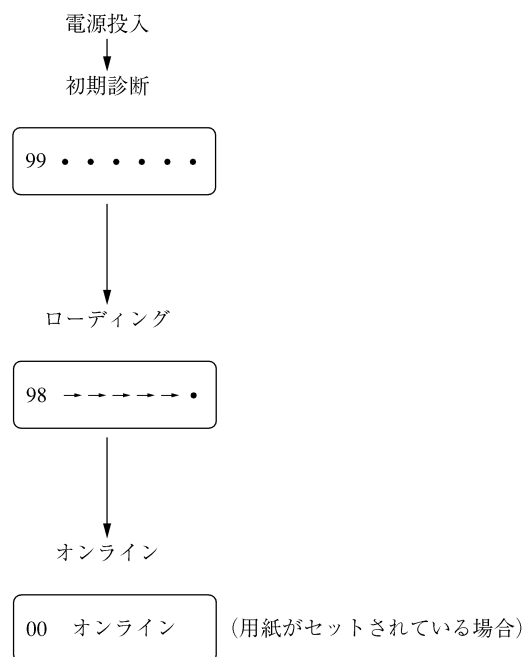
注) 印刷形式は、実際の印字結果と異なる場合があります。

図3.2 セットアップ印刷

3.4 装置立ち上げと印刷設定

3.4.1 装置立ち上げ

本装置のセットアップが完了すれば、IPLもしくは電源投入で本装置をネットワークプリンタとして利用できます。以下に本装置が立ち上がるまでの操作パネルの遷移を示します。



このオンライン状態で、ホストからの印刷が可能となります。

3.4.2 印刷設定（機能モード）

オンライン状態から【機能】スイッチを押すことで、PAキー／用紙位置調整を行うことができます。（オンライン状態にするためには、用紙のセットが必要です）

また、オンライン状態から【スタート／ストップ】スイッチを押しオフライン状態にしてから【機能】スイッチを押すことで、各種印刷設定やテスト印字を行えます。

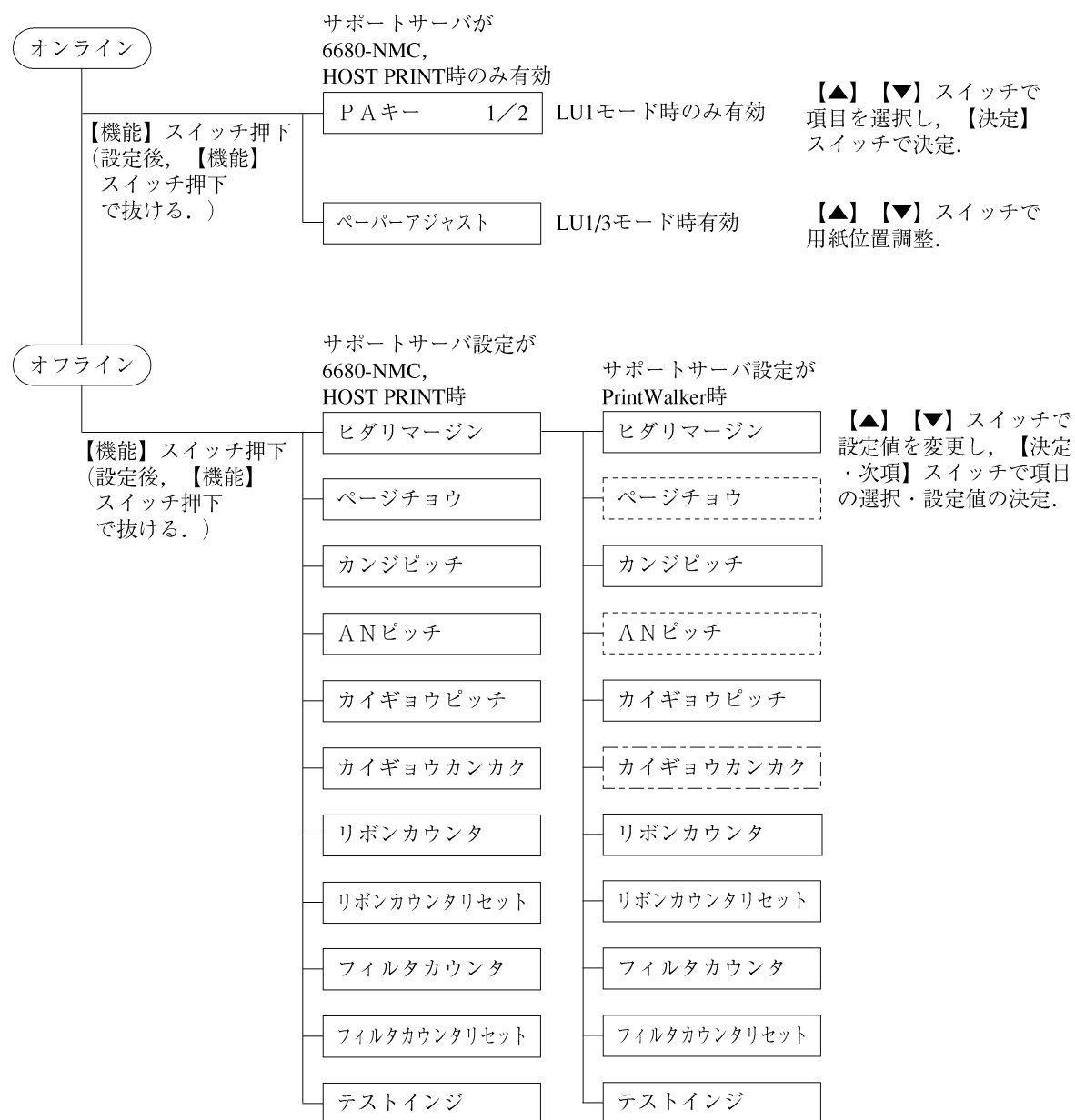
以下に、オンライン／オフラインからの印刷設定の遷移図を示します。

印刷設定の内容と設定値の有効範囲は、表3.2の通りです。

なお、機能モードで設定した値は、電源再投入後セットアップモードでの設定値に戻りますのでご注意ください。

表3.2 機能モードの設定内容

設定項目	設 定 内 容		備 考
	初期値	設定可能値	
左マージン	セットアップモードでの 設定値	1～99桁	
ページ長		1～99行	
漢字ピッチ		1/5”、1/6”、3/20”	
ANピッチ		1/10”、1/12”、3/40”、1/15”	
改行ピッチ		6LPI、8LPI	
改行間隔		1LF、2LF	
リボンカウント表示	—	—	
リボンカウントリセット	シナイ	シナイ、スル	【▲】【▼】スイッチ押下で変更、“スル”で【決定】スイッチ押下してリセット
フィルタカウント表示	—	—	
フィルタカウントリセット	シナイ	シナイ、スル	【▲】【▼】スイッチ押下で変更、“スル”で【決定】スイッチ押下してリセット
テスト印字	—	—	【スタート／ストップ】スイッチ押下で“X”を64桁印字



：
：

装置の電源投入後に印刷データを受信するまで有効です。
印刷データ受信後は無効となり、印刷終了後に再び有効となります。

：
：

無効となります。

3.5 LAN接続

3.5.1 LAN接続するための基本設定

本装置をLAN接続するための基本設定例を示します。

本装置のLAN設定は、セットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」の設定を行います。実際の設定内容については、「3.3.3 セットアップの設定内容」のLAN関連の設定の欄を参照してください。

導入するLAN環境や接続形態によって、プリンタの設定内容は異なってきます。

以下に、導入するホストとサーバ接続環境の組合せ毎に、プリンタの設定内容（サポートサーバの設定値）を示します。これを参考にしてセットアップモードの「通信」で「サポートサーバ」を設定してください。なお、設定した値は装置のIPLまたは電源再投入により有効となります。

注) IPアドレスは必ず“0.0.0.0”以外の値に設定してください。

項番	ホスト	サーバ			⇒	プリンタの設定
		ハード	ソフト	プロトコル		サポートサーバ
①	GS/	Windows 2000/ Server 2003サーバ	HOST PRINT	TCP/IP	⇒	HOST PRINT
②	PRIME-			DS-LINK	⇒	6680-NMC
③	FORCE		HOST PRINT PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
④		PRIMEPOWER S seriesサーバ	NMC-LANゲートウェイ または Netcompo NMCサーバ	TCP/IP	⇒	HOST PRINT
⑤				DS-LINK	⇒	6680-NMC
⑥			PrintWalker/BPC、 CJMS	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑦	PRIMEPOWER S seriesサーバ		PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑧	PRIMERGY6000サーバ		LANプリンタ制御オプション	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑨	Windows 2000/ Server 2003	Windows 2000/ Server 2003サーバ	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑩		PRIMEPOWER S seriesサーバ	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑪	Windows XP	Windows 2000/ Server 2003サーバ	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑫		PRIMEPOWER S seriesサーバ	PrintWalker/BPC	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑬		—	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑭	—	Windows 2000/ Server 2003サーバ	PrintWalker/PM	TCP/IP	⇒	PrintWalker
⑮	PC(Linux)	—	PrintWalker/LXE	TCP/IP	⇒	PrintWalker

(注) PrintWalker/BPC(装置添付):PRIMEPOWER/S series上で動作するソフト

3.5.2 LAN接続環境ごとの設定内容

本装置をLAN接続するには本装置側の設定と上位装置側（サーバ装置側）の設定が必要です。

本装置側の設定は、セットアップモードの「通信」で行います。サポートサーバの設定では運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT、NMC-LANゲートウェイ、Netcompo NMCサーバ、PrintWalker/BPC、LANプリンタ制御オプション、PrintWalker/PM）の設定を行う必要があります。

(1) グローバルサーバをホストとして運用する場合：表の項番①～⑥のケース

(1)-1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレス等の設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

- ・プロトコルをTCP/IP (HOST PRINT、NMC-LANゲートウェイまたはNetcompo NMCサーバ使用) で運用する場合 : 「HOST PRINT」
- ・プロトコルをTCP/IP (PrintWalker/PM使用) で運用する場合 : 「PrintWalker」
- ・プロトコルをTCP/IP (PrintWalker/BPC使用) で運用する場合 : 「PrintWalker」
- ・プロトコルをDS-LINKで運用する場合 : 「6680-NMC」

をそれぞれ選択します。

「HOST PRINT」を選択した場合、TCP/IP通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- b) MACアドレスの設定
 - c) IPアドレスの設定
 - d) ネットマスクの設定
 - e) ゲートウェイの設定
 - f) デフォルトルータの設定
 - g) サーバIPアドレスの設定
 - h) セッションリトライの設定

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- b) MACアドレスの設定
 - c) IPアドレスの設定
 - d) ネットマスクの設定
 - e) ゲートウェイの設定
 - f) デフォルトルータの設定

「6680-NMC」を選択した場合、DS-LINK通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- i) アドレスの設定
 - j) 相手先アドレスの設定
 - k) タイムアウト値の設定
 - l) 再送数の設定

b) MACアドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます。

c) IPアドレスの設定

本装置のIPアドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大5つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- ・宛て先アドレス
- ・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

g) サーバIPアドレスの設定

サポートサーバのIPアドレスを設定します。

h) セッションリトライの設定

上位装置とのセッション確立時に行う接続確認のリトライ回数を設定します。

i) アドレスの設定

グローバルアドレスを使用するか、ローカルアドレスを使用するかを設定します（デフォルトはグローバルアドレス）。グローバルアドレス選択時はグローバルアドレスを表示し、ローカルアドレス選択時はローカルアドレスを表示します。

j) 相手先アドレスの設定

DS-LINK通信をする場合には、NMCまたはNMC代替として動作するNMCのアドレスを設定します。

k) タイムアウト値の設定

DS-LINK通信をする場合に、タイムアウト値を設定します。デフォルト値のままでも特に問題はありますが、もし設定する場合には、NMCまたはNMC代替サーバ側でのタイムアウト値も合わせる必要があります。

l) 再送数の設定

DS-LINK通信をする場合に、再送数を設定します。デフォルト値のままでも特に問題はありますが、もし設定する場合には、NMCまたはNMC代替サーバ側での再送数も合わせる必要があります。

(1)-2 上位装置側の設定

上位装置には、NMC代替として動作するWindows 2000/Server 2003サーバとPRIMEPOWER、富士通 S seriesがそれぞれ接続できます。

Windows 2000/Server 2003サーバとPRIMEPOWER、富士通 S series接続では、プロトコルは「TCP/IP」または「DS-LINK」のどちらかが設定可能です。

HOST PRINTの帳票管理サービスを使用する場合は、Windows 2000/Server 2003サーバに本装置添付のソフトウェア（VSPリクエスト）をインストールする必要があります。上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（HOST PRINT、NMC-LANゲートウェイ、Netcompo NMCサーバ、PrintWalker/PM、PrintWalker/BPC）の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- Windows 2000/Server 2003サーバ (HOST PRINT)
: HOST PRINT説明書
- Windows 2000/Server 2003サーバ(PrintWalker/PM)
: 添付のCD-ROMのREADME.TXT
- PRIMEPOWER, 富士通 S series (Netcompo NMCサーバ)
: Netcompo NMCサーバ説明書
- PRIMEPOWER, 富士通S series (PrintWalker/BPC)
: 添付のCD-ROMのREADME.TXT

(2) PRIMEPOWER, 富士通S seriesをホストとして運用する場合：項番⑦のケース
(項番⑥と同じケースであり、同様に設定します。)

(2)-1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

- a) サポートサーバの選択
運用するサーバの選択をします。
プロトコルをTCP/IP (PrintWalker/BPC使用) で運用するので、「PrintWalker」を選択します。
「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> b) MACアドレスの設定 c) IPアドレスの設定 d) ネットマスクの設定 e) ゲートウェイの設定 f) デフォルトルータの設定 |
|---|

- b) MACアドレスの設定
本装置のグローバルアドレスが表示されます。
- c) IPアドレスの設定
本装置のIPアドレスを設定します。
- d) ネットマスクの設定
ネットマスクを設定します。
- e) ゲートウェイの設定
ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。
本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大5つまで設定できます。
ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- 宛先アドレス
- ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

- f) デフォルトルータの設定
デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。
設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

(2)-2 上位装置側の設定

上位装置は、PRIMEPOWER, 富士通S seriesとなります。

PRIMEPOWER, 富士通S series接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/BPC) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・PRIMEPOWER, 富士通S series (PrintWalker/BPC)

: 添付のCD-ROMのREADME.TXT

(3) PRIMERGY6000をホストとして運用する場合：項番⑧のケース

(3)-1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択します。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

プロトコルをTCP/IP (LANプリンタ制御オプション使用) で運用するので、「PrintWalker」を選択します。

「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| b) MACアドレスの設定
c) IPアドレスの設定
d) ネットマスクの設定
e) ゲートウェイの設定
f) デフォルトルータの設定 |
|---|

b) MACアドレスの設定

本装置のグローバルアドレスが表示されます。

c) IPアドレスの設定

本装置のIPアドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大5つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- ・宛先アドレス
- ・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

(3)-2 上位装置側の設定

上位装置は、PRIMERGY6000となります。

PRIMERGY6000接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（LANプリンタ制御オプション）の設定を行う必要があります。
これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・PRIMERGY6000（LANプリンタ制御オプション） : ASP システム導入手引書
ASP システム説明書

(4) Windows 2000/Server 2003をホストとして運用する場合：項番⑨～⑩のケース
(項番⑩は、⑥、⑦と同様であり、同じように設定します)

(4)-1 本装置側の設定（サポートサーバの設定）

セットアップモードの「通信」の設定項目で、「サポートサーバ」を選択をします。運用するサーバを選択して、そのサーバに関するネットワークアドレスなどの設定を行います。

a) サポートサーバの選択

運用するサーバの選択をします。

- ・プロトコルをTCP/IP (PrintWalker/PM使用) で運用する場合、「PrintWalker」
- ・プロトコルをTCP/IP (PrintWalker/BPC使用) で運用する場合、「PrintWalker」をそれぞれ選択します。「PrintWalker」を選択した場合、TCP/IP通信を行うために以下の必要な設定を行います。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> b) MACアドレスの設定 c) IPアドレスの設定 d) ネットマスクの設定 e) ゲートウェイの設定 f) デフォルトルータの設定 |
|---|

b) MACアドレスの設定

本装置のグローバルアドレスを表示します。

c) IPアドレスの設定

本装置のIPアドレスを設定します。

d) ネットマスクの設定

ネットマスクを設定します。

e) ゲートウェイの設定

ゲートウェイを介した通信を行う場合に、そのゲートウェイアドレスを設定します。

本設定では、本装置の接続されているネットワークに存在するゲートウェイを4つまで設定でき、次項のデフォルトルータの設定を合わせると最大5つまで設定できます。

ゲートウェイアドレスの設定項目には以下の設定があります。

- ・宛先アドレス
- ・ゲートウェイアドレス

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

f) デフォルトルータの設定

デフォルトとするゲートウェイのアドレスを設定します。同じゲートウェイの設定でも、前項のゲートウェイアドレスの設定とは意味が異なります。

設定およびその意味については、「3.5.3 ゲートウェイについての補足」を参照願います。

(4)-2 上位装置側の設定

上位装置には、Windows 2000/Server 2003サーバとPRIMEPOWER、富士通S seriesがそれぞれ接続できます。

Windows 2000/Server 2003とPRIMEPOWER、富士通S series接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア（PrintWalker/PM、

PrintWalker/BPC) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・ Windows 2000/Server 2003サーバ (PrintWalker/PM)
: 添付のCD-ROMのREADME.TXT
- ・ PRIMEPOWER、富士通S series (PrintWalker/BPC)
: 添付のCD-ROMのREADME.TXT

- (5) Windows XPをホストとして運用する場合：項番⑪～⑬のケース
(項番⑪は⑨、項番⑬は⑥、⑦、⑩と同様であり、同じように設定します)

- (5)-1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)
(4)-1の設定と同様です。

- (5)-2 上位装置側の設定

上位装置には、Windows 2000/Server 2003サーバとPRIMEPOWER、富士通S series およびWindows XPがそれぞれ接続できます。

Windows 2000/Server 2003サーバとPRIMEPOWER、富士通S seriesおよびWindows XP接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/PM、PrintWalker/BPC) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・ Windows 2000/Server 2003サーバ (PrintWalker/PM)
: 添付のCD-ROMのREADME.TXT
- ・ PRIMEPOWER、富士通S series (PrintWalker/BPC)
: 添付のCD-ROMのREADME.TXT
- ・ Windows XP (PrintWalker/PM) : 添付のCD-ROMのREADME.TXT

- (6) Windows 2000/Server 2003サーバからダイレクトに運用する場合：項番⑭のケース
(項番⑭は⑨、⑪と同様であり、同じように設定します)

- (6)-1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)
(4)-1の設定と同様です。

- (6)-2 上位装置側の設定

上位装置には、Windows 2000/Server 2003サーバが接続できます。

Windows 2000/Server 2003サーバ接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/PM) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・ Windows 2000/Server 2003サーバ (PrintWalker/PM)
: 添付のCD-ROMのREADME.TXT

- (7) Linuxをホストとして運用する場合：項番⑮のケース

- (7)-1 本装置側の設定 (サポートサーバの設定)
(4)-1の設定と同様です。

- (7)-2 上位装置側の設定

上位装置には、Linuxが接続できます。

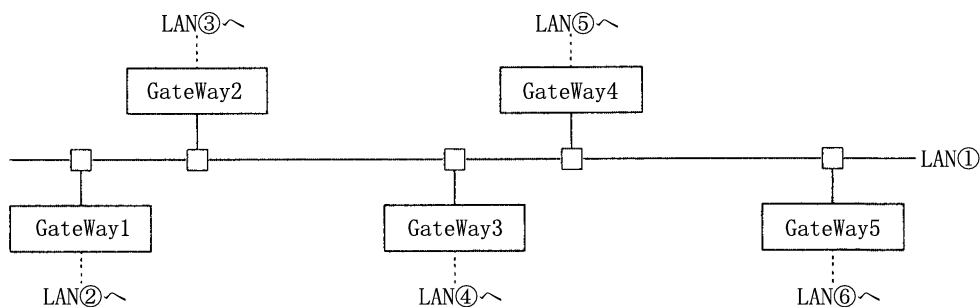
Linux接続では、プロトコルは「TCP/IP」のみが設定可能です。

上位装置側の設定は、上位装置に組み込むソフトウェア (PrintWalker/LXE) の設定を行う必要があります。

これらソフトウェアの設定については、以下のマニュアルを参照願います。

- ・ Linuxサーバ (PrintWalker/LXE) : 添付のCD-ROMのREADME.TXT

3.5.3 ゲートウェイについての補足



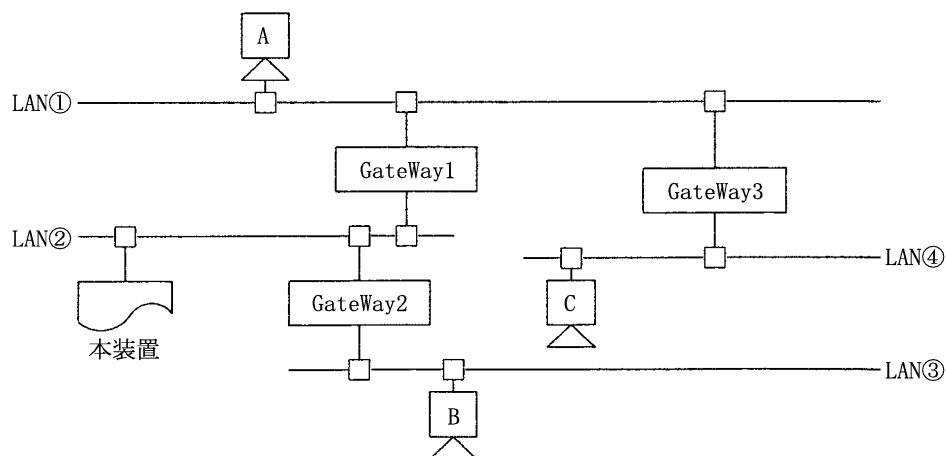
LAN①に接続されている装置が、LAN①に接続されている（同一LAN上）その他の装置と、LAN通信を行う場合は、ゲートウェイは必要ありませんが、他のLAN（LAN②～⑥）の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイが必要となります。

本装置では、最大5つまでのゲートウェイをサポートしています。

本装置のセットアップでは、ゲートウェイの設定と、デフォルトルータの設定があり、ゲートウェイ設定は4つまで、デフォルトルータ設定は1つとなります。

また、ゲートウェイ設定には、宛先アドレスとゲートウェイアドレスの設定があります。

“ゲートウェイアドレス1～4”と“デフォルトルータ設定”について説明します。



- (1) 本装置がLAN②上の装置と通信を行う場合には、ゲートウェイの設定は必要ありません。
- (2) 本装置がホストAと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス : ホストAの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス : GateWay1のアドレス（IPアドレス）を設定します。
- (3) 本装置がホストBと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス : ホストBの接続されているネットワークアドレスを設定します。
 - ・ゲートウェイアドレス : GateWay2のアドレス（IPアドレス）を設定します。
- (4) 本装置がホストCと通信を行う場合、本装置のゲートウェイアドレスの設定は以下のようになります。
 - ・宛先アドレス : ホストCの接続されているネットワークアドレスを設定します。

- ・ゲートウェイアドレス：GateWay1のアドレス（IPアドレス）を設定します。

- (5) デフォルトルータは、仮に装置に上記(1)～(4)のような設定がなされていた場合に、設定してあるゲートウェイ先ネットワークアドレスのどれにもあてはまらないようなデータを処理する場合に使用されるゲートウェイのことです。そのようなデータは、デフォルトルータに設定されているゲートウェイとデータ通信を行うこととなります。

ただ、ここに設定できるアドレスは、本装置の接続されているLAN②に接続されているゲートウェイアドレス（GateWay1またはGateWay2）だけであり、GateWay3などのアドレスは指定できません。

※ゲートウェイアドレス1～4の設定は、本装置と通信を行う相手が接続されているネットワークアドレスと、そのネットワークへの経路となるゲートウェイアドレスが明確になっている場合に設定します。

※デフォルトルータは、ゲートウェイアドレス1～4に設定されているネットワークアドレスのどれにも該当しないデータを処理する場合に使用されます。

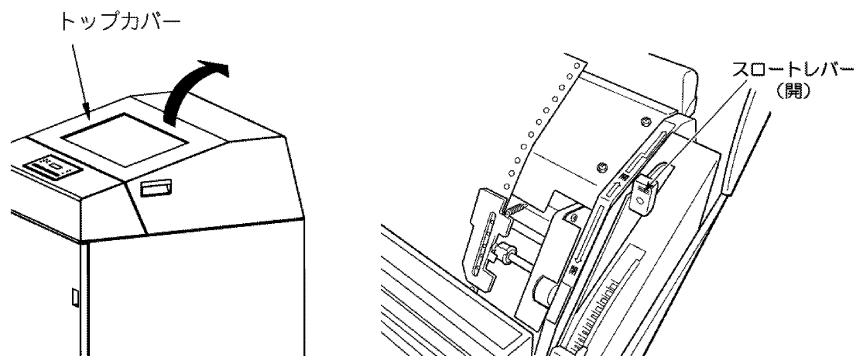
該当なしデータはデフォルトルータに設定されているゲートウェイに対してデータ通信が行われ、そこから対象となるネットワークが発見できればデータ通信を行い、発見できなければ、そのデータは破棄されます。

また、本装置の接続されているネットワークに、ゲートウェイが1つしか接続されていなかった場合、デフォルトルータにそのゲートウェイアドレスを設定しておくことで、特にゲートウェイアドレス1～4を設定しなくても、他の複数ネットワークと通信を行うことができます。

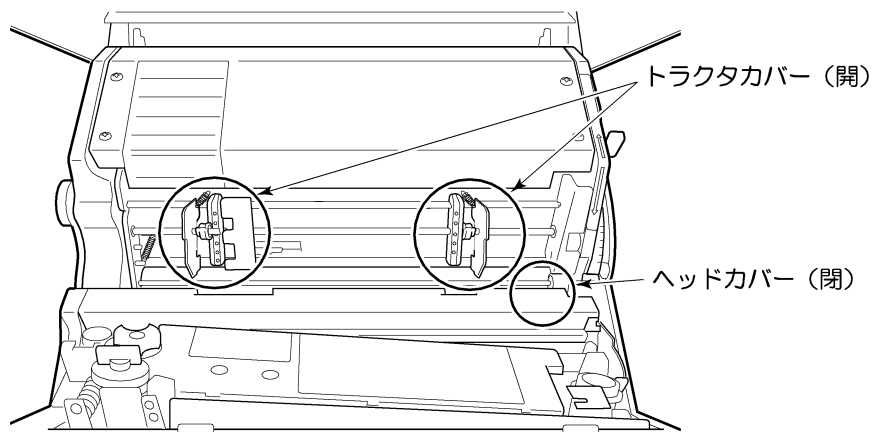
(例：前ページの接続にて、本装置の接続されているLAN②にGateWay1しかなかった場合、デフォルトルータにGateWay1のアドレスを設定することによって、ゲートウェイアドレス1～4を設定しなくてもホストAやホストCと通信を行うことができます。)

3.6 用紙のセット

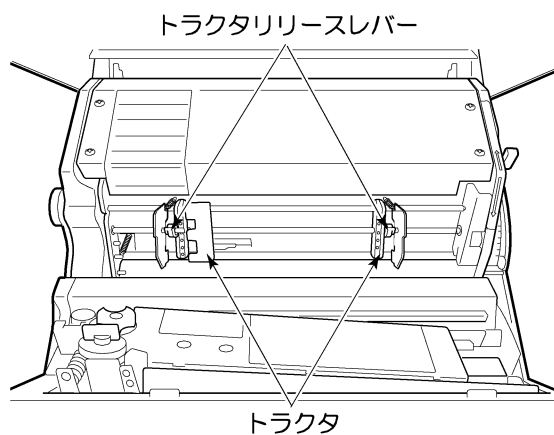
- 1 プリンタをオフライン状態にします。
- 2 トップカバーを開け、スロートレバーを『開』位置にします。



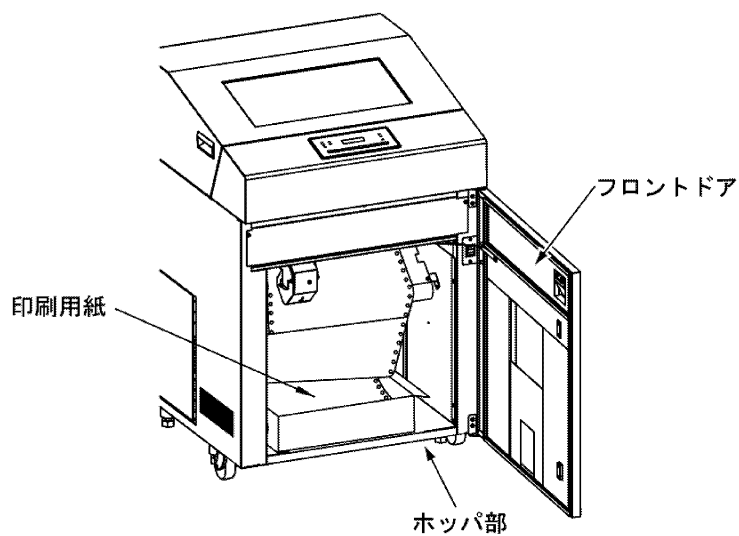
- 3 左右のトラクタカバーを開きます。（ヘッドカバーが開いている場合は閉じてください）



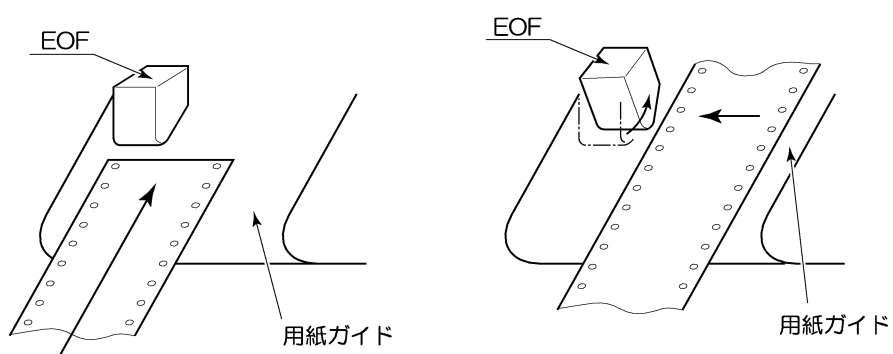
- 4 トラクタリリースレバーのロックを解除し、印刷用紙の幅に合わせて、左右のトラクタを移動します。



- 5 フロントドアを開け、印刷用紙をホッパ部に入れます。



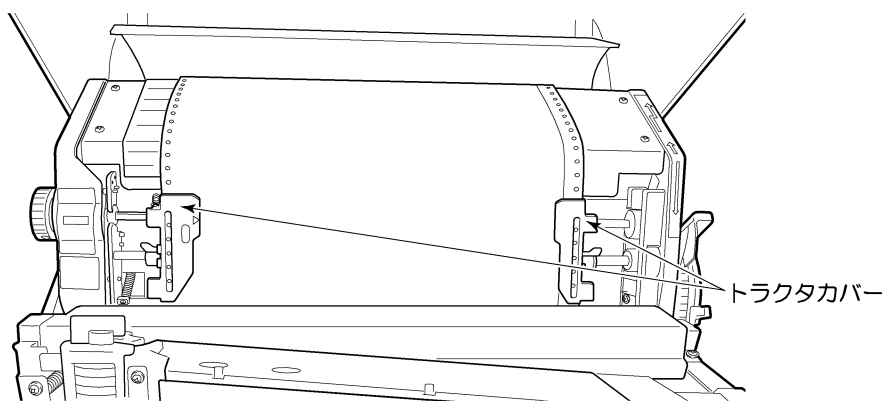
- 6 印刷用紙を用紙切れ検出部（EOF）と用紙ガイドの間に挿入させて、トラクタ位置まで押し上げます。



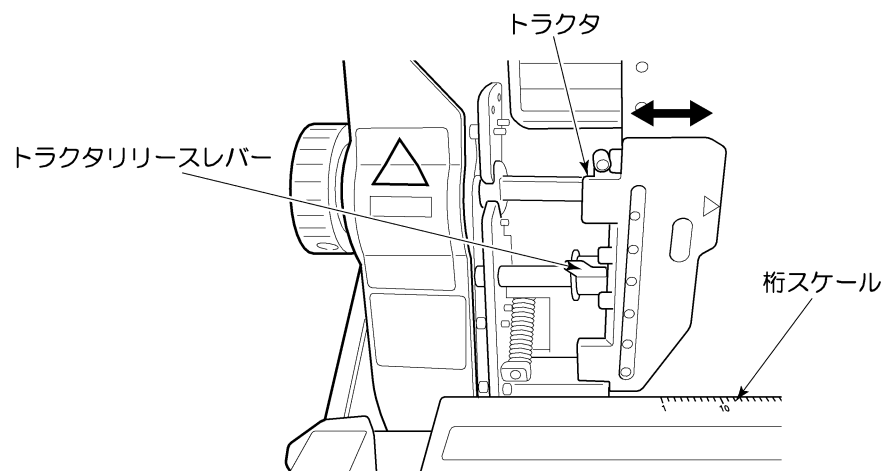
お願い

用紙を横から入れるときは、用紙切れ検出部（EOF）を押し上げてください。

- 7 印刷用紙を左右のトラクタに装着し、トラクタカバーを閉じます。



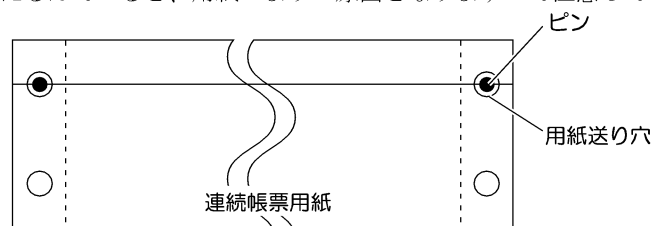
- 8 桁スケールを目安にして、印刷用紙が最適な位置になるように、用紙ごとトラクタを移動させ、トラクタリリースレバーをロックします。



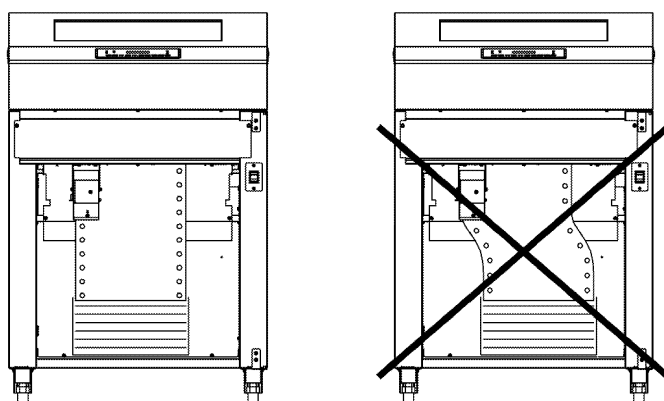
□お願い

用紙づまりを防ぐために、次の点に注意してください。

- ・ 用紙をトラクタにセットするとき、用紙を張りすぎないようにトラクタの幅を調整してください。（トラクタのピンと用紙の用紙送り穴の中心が一致するようにします。
- ・ 用紙がたるんでいると、用紙づまりの原因となりますので注意してください。

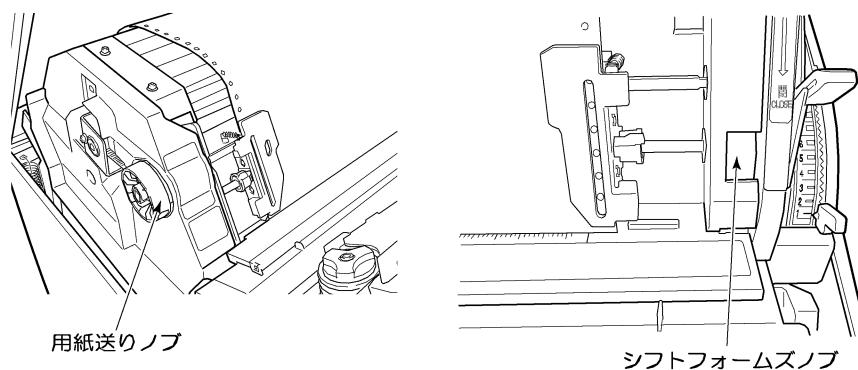


- 9 印刷用紙がねじれないで真っ直ぐに供給されるように、ホッパ部の印刷用紙収容位置を直し、フロントドアを閉じます。

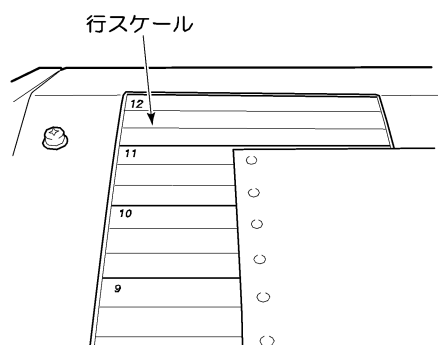


10 用紙送りノブを回して、行スケールを目安に印刷開始位置を合わせます。

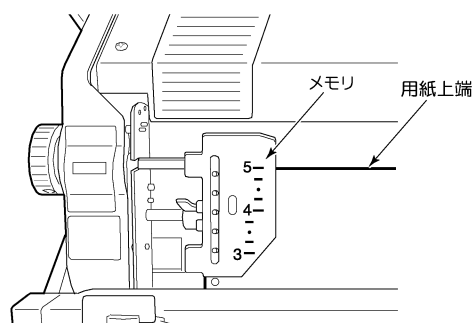
印刷用紙の長さに合わせて、用紙先端を行スケールに合わせます。
桁方向の微調整を行う場合は、シフトフォームズノブを回して調整します。



例：用紙長さが11インチの場合は、行スケールの11のラインに用紙先端を合わせます。



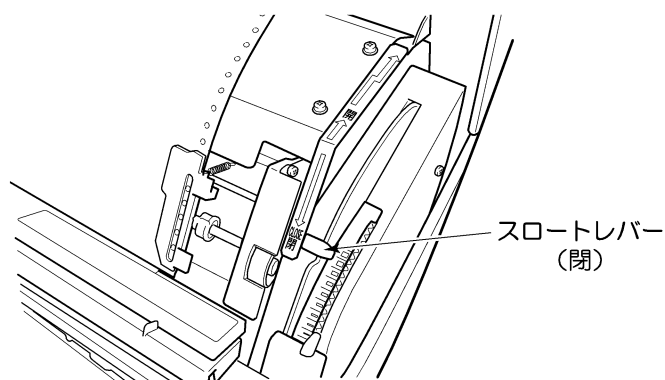
例：用紙長さが6インチ未満の場合は、左側のトラクタカバーのメモリで合わせてください。



ガイド

用紙送りに必要なため、先頭ページは印刷することができません。

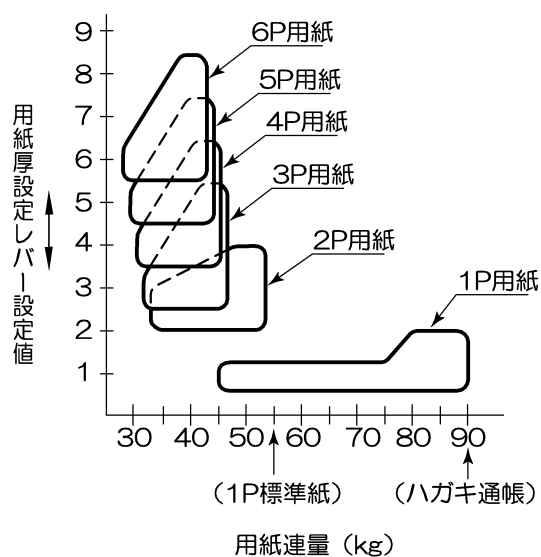
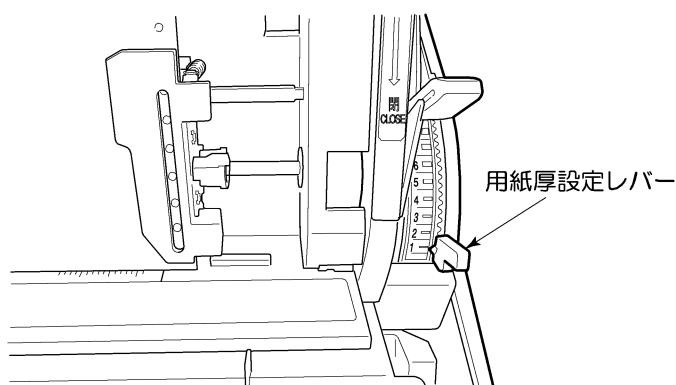
11 スロートレバーを『閉』の位置にします。



12 用紙厚を調整します。

用紙の厚さ（連量）、枚数に合わせて用紙厚設定レバーを設定します。

厚さ（連量）と用紙厚設定レバー設定位置の目安を以下に示します。



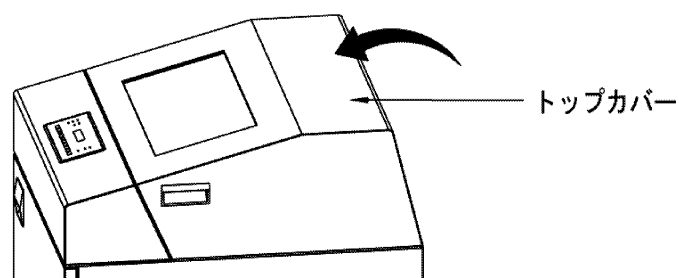
- ・ 設定値の番号は、標準紙の枚数に相当しますので、用紙厚設定レバー位置は、用紙枚数に合わせます。7P/8P用紙も同様です。
- ・ 厚紙やカーボン紙などの複写紙は、紙質により適正位置が異なりますので、印字結果を確認してください。
用紙厚設定レバーの設定が適正でないと、次の問題が生じますので注意してください。

用紙厚設定レバーの設定が適正位置よりも狭い（番号が小）の場合

- ・ 印刷用紙の左右送り穴が破損します。
- ・ インクリボンが走行不良となります。
- ・ 印字汚れ、リボンかすれなどの印字不良を起こしたり、印字ヘッドが損傷する可能性があります。

用紙厚設定レバーの設定が適正位置よりも広い（番号が大）の場合

- ・ 印字かすれ、印字抜けなどの印字不良を起こしたり、印字ヘッドを損傷する可能性があります。
- ・ バーコード等の読み取りを行うデータを印刷する場合は、特に用紙厚設定レバーの調整に注意してください。
設定値が適正でないと読み取りできない場合があります。

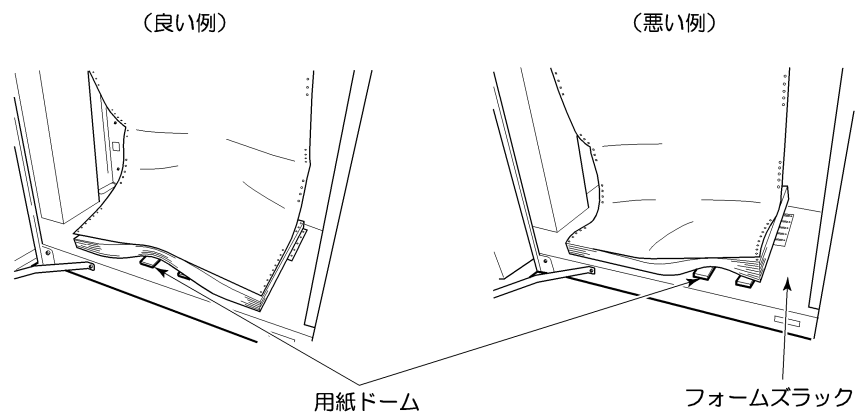
13 トップカバーを閉じます。**14 リアドアを開け、印刷用紙の種類に応じて、フォームズラック内の用紙ドームと用紙ストッパを最適位置にセットします。****【用紙ドームのセット方法】**

用紙ドームは、用紙の取り出しを容易にするために使用します。

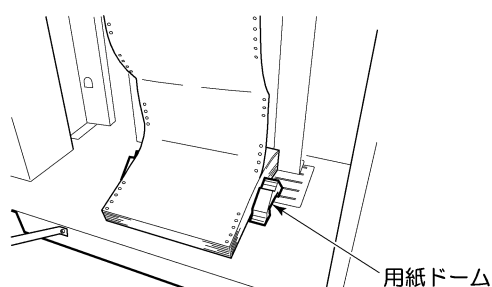
用紙ドームのセット位置は、用紙のサイズ、種類によって異なりますので、適切な収容ができるように確認して、セットしてください。

用紙ドームのセット例を以下に示します。

- ・ 用紙幅が用紙長さよりも大きい場合…用紙ドームを用紙の中央にセットします。

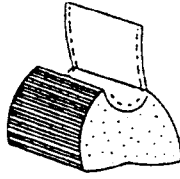


- ・ 用紙幅が用紙長さよりも小さい場合…用紙ドームを横方向にセットします。

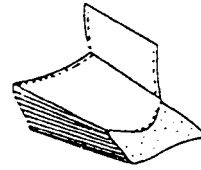


ガイド

- ・ フォームブラック内に収容された用紙が、下図のようになると折りたたみができなくなるので、手で用紙のふくらみを押しつけて、形を修正してください。



用紙の上面がU字形に
曲がる場合

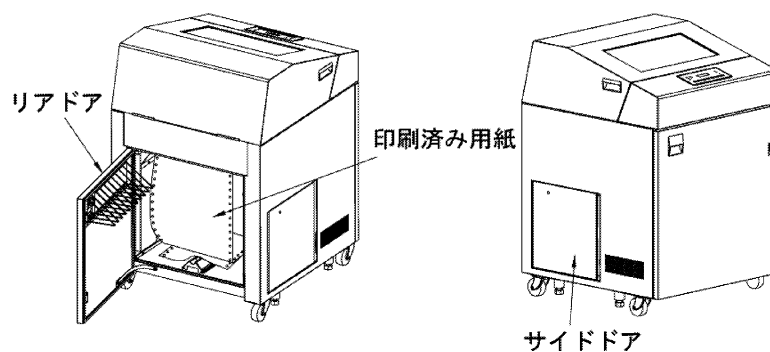


用紙が次第にずれたり
ねじれたりする場合

- ・ 200～300ページごとに用紙を押しつけると、折りたたみ性が改善されます。
- ・ 用紙はジョブごとに取り去り、用紙をためないようにしてください。
- ・ 折りたたみが悪いまま印刷を続けると、用紙づまりが発生する場合があります。

3.7 用紙の交換

- 1 【スタート/ストップ】スイッチを押してオフライン状態にします。
- 2 トップカバーを開けます。
- 3 印刷用紙をミシン目で切ります。
- 4 スロートレバーを『開』位置にします。
- 5 ヘッドカバーを開けた後、トラクタカバーを開け、用紙を取り除きます。
- 6 新しい用紙をセットします。
「3.6 用紙のセット」に従って、用紙をセットします。
- 7 リアドアまたはサイドドアを開けて、印刷済み用紙を取り出します。



第4章 消耗品の交換

リボンカウント値が、セットアップモードで設定されているリボンライフ値を超えると、液晶ディスプレイに“*”と表示されます。
機能モードにてリボンカウントリセットを行うまで、“*”は表示され続けます。

00 : オンライン

*

90 : オフライン

*

印字結果に問題がある場合は、すみやかにインクリボンを交換してください。

4.1 リボンカートリッジの交換

本装置のリボンカートリッジは、インクリボンのみを交換する詰め替え式です。リボンの走行性を確保するため、インクリボンの交換5回につき、カートリッジ本体を1回交換します。

本装置には以下のリボンカートリッジを使用してください。

名 称	商品番号	備考
DLP-Bリボンカートリッジセット	0311250	本商品は、カートリッジ（インクリボン実装）1本、インクリボン5巻のセットです。



注意



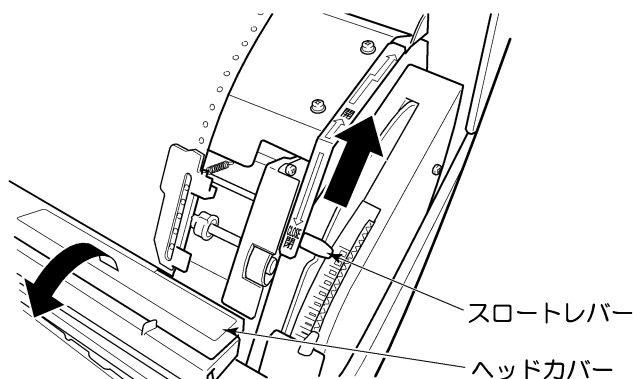
指定消耗品以外は本装置には使用できません。
装置添付のインクリボンはテスト用の短寿命品です。

ガイド

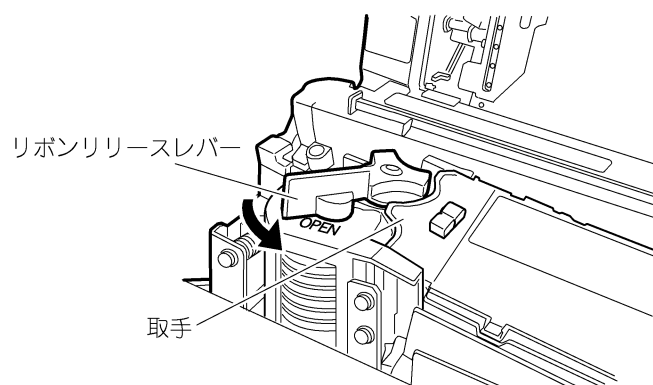
- ・ リボンカートリッジは使用状況をみながら常時補充してください。
- ・ リボンカートリッジは、富士通コワーコ株式会社で販売しています。

インクリボンの取り外しは、以下の手順で行います。

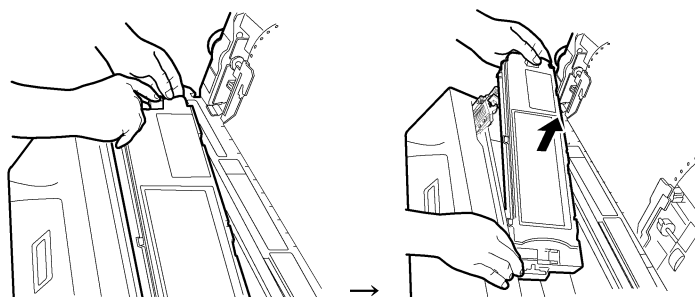
- 1 【スタート/ストップ】スイッチを押してオフライン状態にします。
- 2 トップカバーを開けます。
- 3 スロートレバーを『全開』位置にして、用紙送りユニットのロックを外します。



- 4 リボンリリースレバーを手前に引き、リボン送りローラの間隔を拡げます。



- 5 ヘッドカバーを開け、リボンカートリッジの左側にある取手をつかんで引き上げ、リボンカートリッジの中からインクリボンが出てこないようにリボンストッパで出入口の所を押さえながら、リボンカートリッジを左上方に引き抜きます。



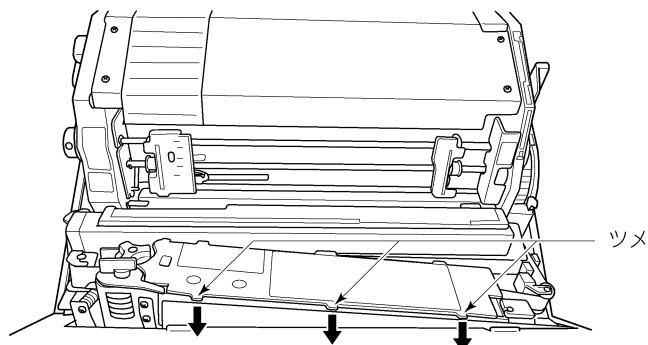
- 6 「2.5 リボンカートリッジの取り付け」を参照し、リボンカートリッジを取り付けます。

- 7 リボンカウントリセットを行います。

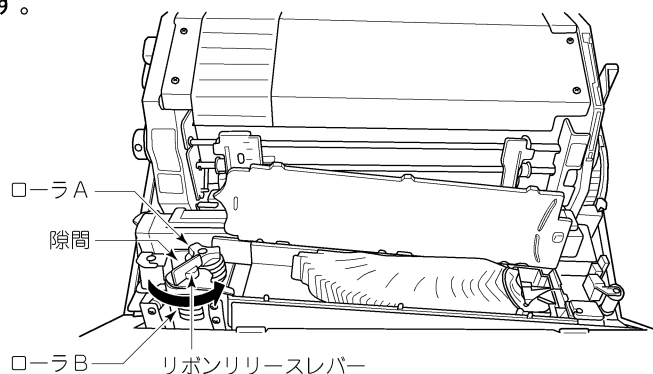
- (1) オフライン状態で【機能】スイッチを押して機能モードに入ります。（「機能」ランプ点灯）
- (2) 【決定】スイッチを押していき、“リボンカウントリセット：シナイ”を液晶ディスプレイに表示させます。
- (3) 【▲／▼】スイッチを押して、“リボンカウントリセット：スル”を選択した後、【決定】スイッチを押します。
- (4) 【機能】スイッチを押すと、機能モードを終了します。（「機能」ランプ消灯）

4.2 インクリボン（サブカセット）の交換

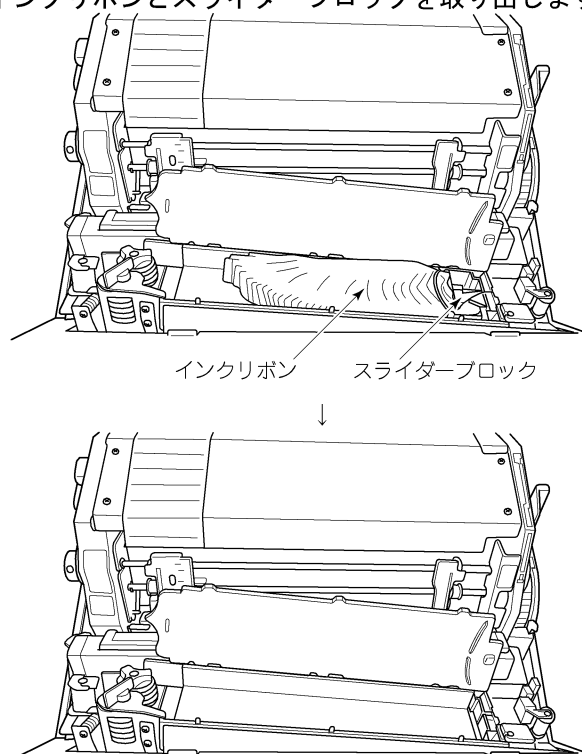
- 1 リボンカートリッジのつま（3ヶ所）を矢印方向に押しながら、カセットのふたを上を開きます。



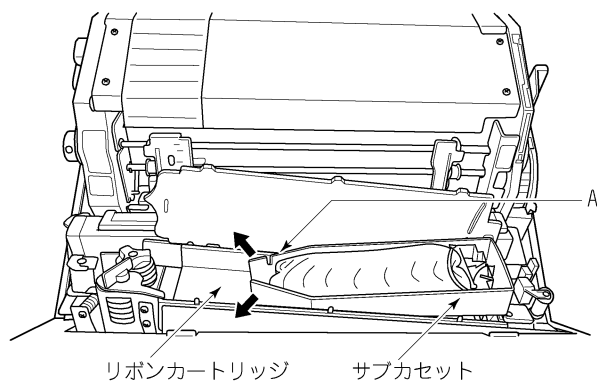
- 2 リボンリリースレバーを矢印方向に移動し、ローラAとローラBに隙間をつくれます。



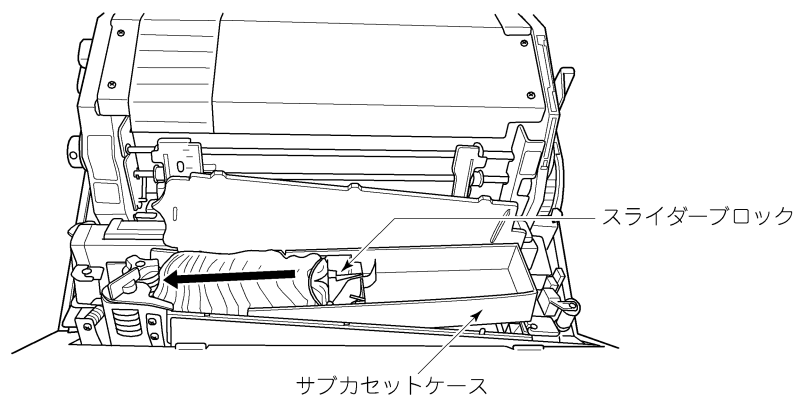
- 3 使用済のインクリボンとスライダーブロックを取り出します。



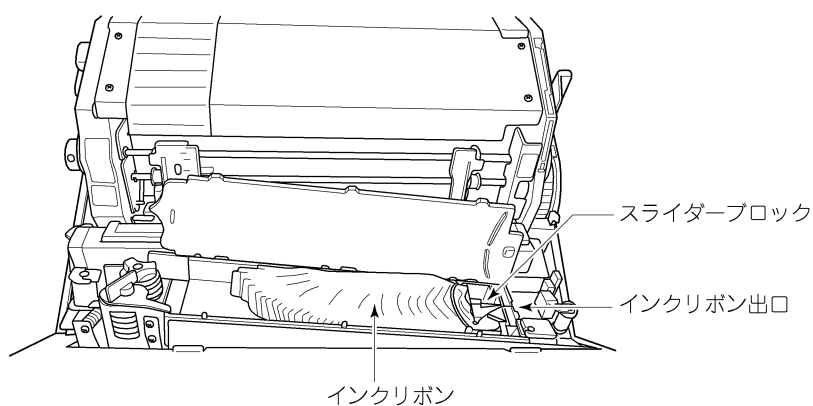
- 4 新しいインクリボン（サブカセット）のA部をリボンカートリッジ内に置き、A部を矢印方向に開きます。



- 5 スライダーブロックを矢印方向に滑らせ、インクリボンとスライダーブロックをリボンカートリッジ内に挿入し、サブカセットケースを取り除きます。

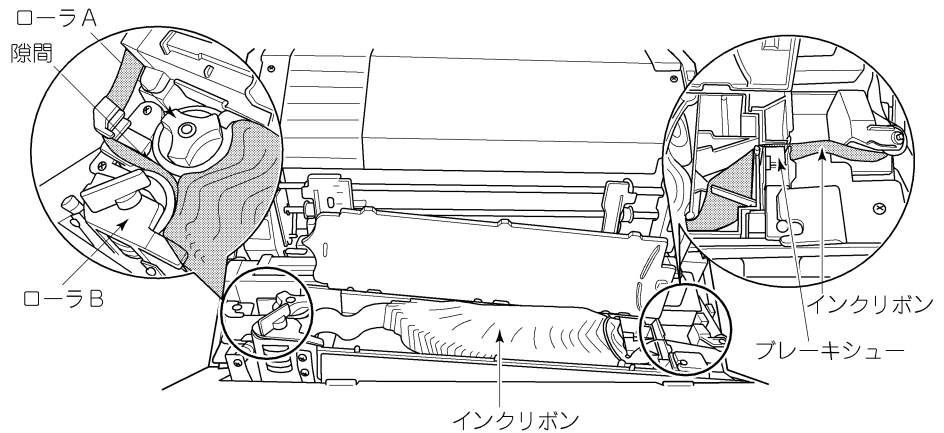


- 6 図のように、カセット内のインクリボンは斜めにセットし、スライダーブロックはインクリボン出口側に置きます。

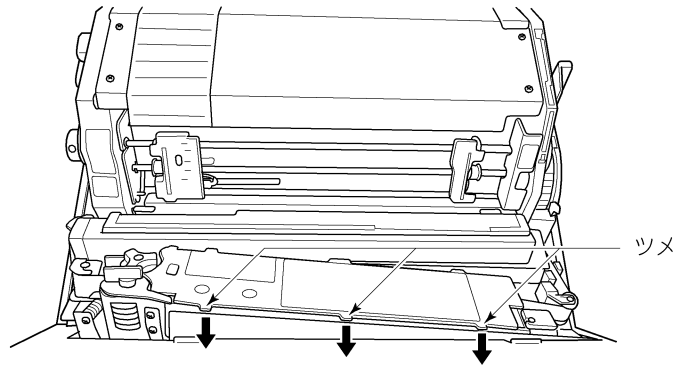


7 ブレーキシューを矢印方向に押しながら、インクリボンを通します。

ローラAとローラBの隙間に、インクリボンを通します。



8 リボンカートリッジのふたをします。



9 リボンカートリッジの「リボンルート図」に従い、インクリボンを通します。

10 リボン交換を終了した後、次回の交換の目安とするためリボンカートリッジのふたに、交換日、カウンタ値を記入してください。

11 リボンカウントリセットを行います。

- (1) オフライン状態で【機能】スイッチを押して機能モードに入ります。（「機能」ランプ点灯）
- (2) 【決定】スイッチを押していき、“リボンカウントリセット：シナイ”を液晶ディスプレイに表示させます。
- (3) 【▲／▼】スイッチを押して、“リボンカウントリセット：スル”を選択した後、【決定】スイッチを押します。
- (4) 【機能】スイッチを押すと、機能モードを終了します。（「機能」ランプ消灯）

4.3 インクリボンの注意事項

●インクリボンの寿命

- ・ インクリボンの寿命は、印字密度や環境によって異なります。
- ・ インクリボンは、印字が薄くなったり、リボン布に破れやほつれが生じた場合に交換してください。
- ・ 操作パネルに表示される「*」は、インクリボン交換時期の目安です。インクリボンの状態を見て、交換するかどうかを判断してください。
- ・ インクリボンのライフ（寿命）初期値は、15万行（ANK文字印刷で約1000万文字相当）に設定されています。ライフ（寿命）値はセットアップモードで変更することができます。

●インクリボンの廃棄

使用済みの消耗品は、法令・条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。

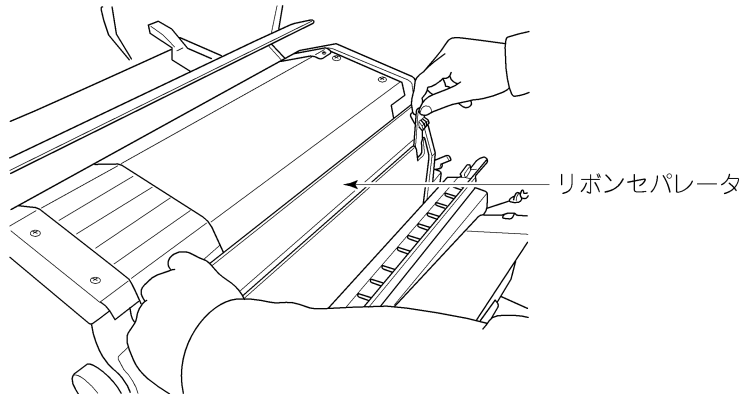
お客様が処理業者に処理を委託する場合で、（財）日本産業廃棄物処理振興センターが発行するマニフェスト伝票（産業廃棄物管理表）への記載が必要となった場合に、下記に本消耗品の種類・特性などを示しますので、伝票記載時の参考にしてください。

表4.1 産業廃棄物処理マニフェスト情報

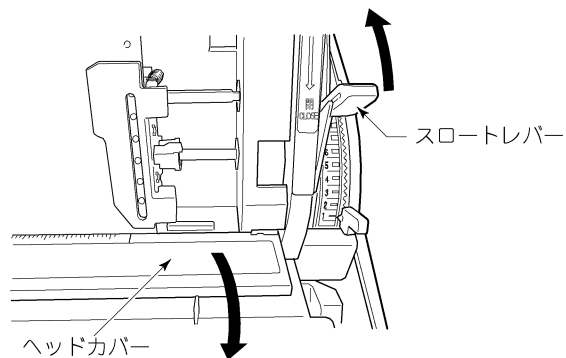
消耗品内訳	マニフェスト情報			
	種 類	形 状	重金属等有無	特 性
リボン カートリッジ	廃プラスチック 繊維くず 金属くず	固 形	無 し	—

4.4 リボンセパレータの交換

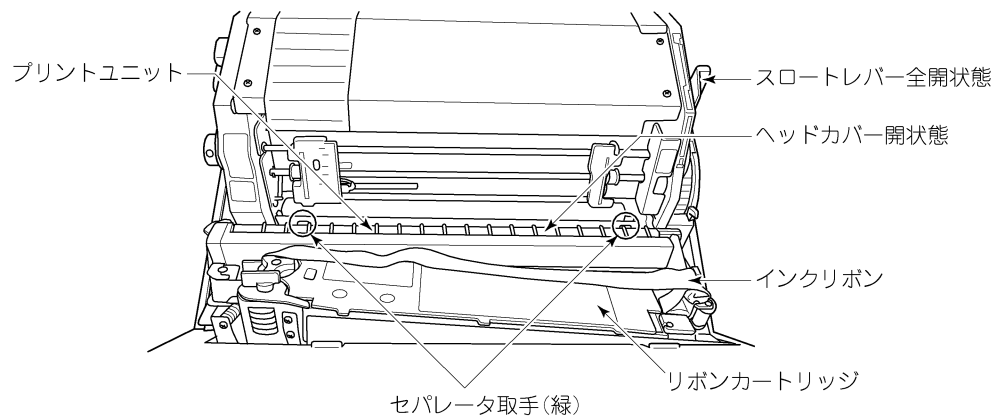
本項の作業については担当保守員の作業となります。お客さまにてリボンセパレータの交換を行う場合は担当保守員に相談してください。



- 1 装置電源のスイッチを切断し、コンセントを抜きます。
- 2 トップカバーを開きます。
- 3 スロートレバーを『全開』位置にして用紙送りユニットのロックを外します。
- 4 ヘッドカバーを開きます。



- 5 インクリボンをセパレータ部より外します。

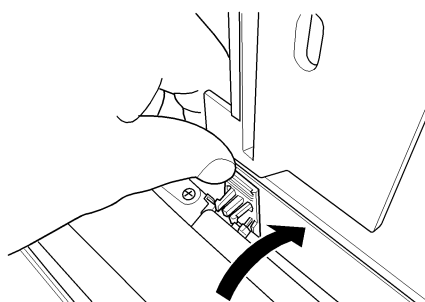
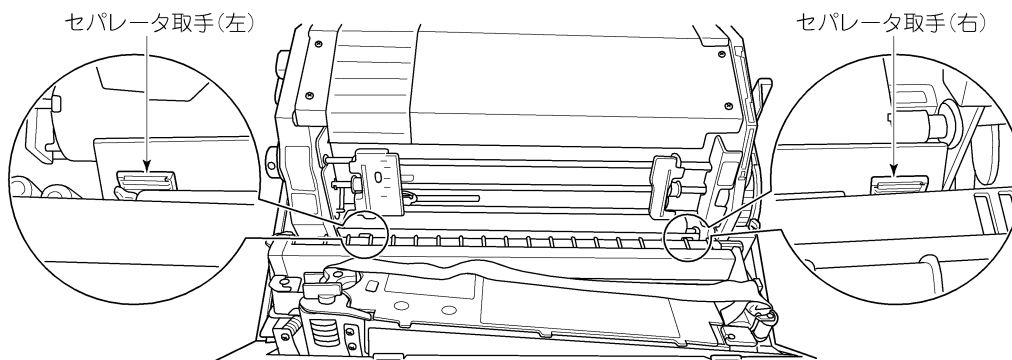


6 セパレータを取り外します。

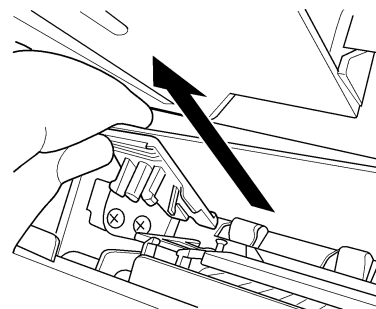


印刷直後は、プリントユニット部が高温になっており、やけどをすることがあります。必ず、冷えていることを確認してください。

左右両側のセパレータ取手（緑）を持って奥側にたおして（①）、上方向へ引き抜きます。（②）



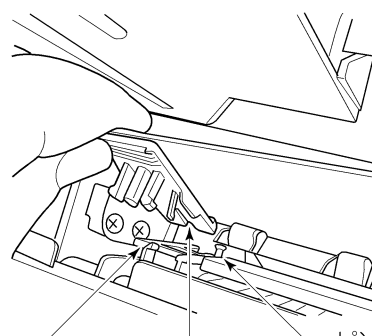
① 奥側にたおしてください



② 上方向へ引き抜きます

7 セパレータを取り付けます。

取り付けは、セパレータ取手ガイド（白）に添わせてセパレータ取手を差し込んでください。

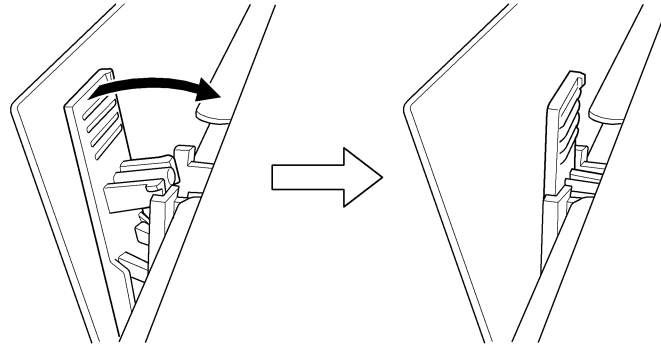


セパレータ取手ガイド(白)

切り欠き形状部

ピン

セパレータ取手の下の部分(切り欠き形状部分)にプリントユニットのピンが確実に差し込まれていることを確認して、セパレータ取手を装置手前に倒し装着してください。



ガイド

セパレータは、セパレータ取手の下の部分とプリントユニットのピンにより位置決めがされています。ピンに取手が確実にはまっていないと、印字抜け等の印字不良が発生します。

8 インクリボンを装着します。
(「2.5 リボンカートリッジの取り付け」参照)

9 ヘッドカバーを閉じます。

10 スロートレバーを『閉』位置にして用紙送りユニットのロックをします。

11 トップカバーを閉じます。

12 装置のコンセントを差し込み、電源スイッチをON(「|」側)にします。

第5章 異常発生時の操作

(注意) 装置に異常が発生し、操作パネルの液晶ディスプレイに異常メッセージが表示されると、用紙の位置がずれている可能性があります。
異常発生後、オンライン状態にする前に(“オフライン ヨウシイチ”と表示)、必ず印字開始位置の確認をしてください。

5.1 プリンタがうまく動かないとき

プリンタがうまく動かないときは、表5.1に従って対処してください。

表5.1 プリンタの状態と対処方法

こんなとき	よくある原因	対処方法
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けている。	- 電源コード、電源スイッチを確認してください。 - 電源スイッチを切って3秒以上待ってから入れ直してください。
「チェック」ランプが点滅する - 液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示される	エラーなどが発生した。	本章および9章を参照してください。
- 印刷がうすい - 用紙が汚れる	- インクリボンが寿命である。 - 用紙厚設定が正しくない。 - インクリボンがリボンセパレータとプラテンの間にある。 - 用紙をセットする際、2枚重ねにした。 - 規格外の用紙を使用した。	- インクリボンを交換してください。 - インクリボンのリボンセパレータとプリントユニットの間にセットし直してください。 - 用紙厚設定レバーを確認してください。
異常音をする	プリンタ内部に紙くず、クリップなどの異物が混入している。	電源スイッチを切ってから、プリンタ内部を点検してください。
- 用紙送りが不安定である - 用紙送りができない - 用紙が外れる - 斜めに印刷する	- 用紙がトラクタに正しくセットされていない。 - トラクタロックレバーがロックされていない。 - 用紙箱が正しい位置にない。	- トラクタを確認してください。 - 用紙箱の置き方を確認してください。

上記の処理を行っても復旧しない場合は、担当保守員にご連絡ください。

**警告**

**感電注意**

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コード、LANケーブルを傷つけないでください。感電や火災のおそれがあります。

**分解禁止**

装置を分解したり、改造したりしないでください。感電や火災のおそれがあります。

5.2 印刷不良の対応について

印刷をおこなっているときに、印刷不良が発生したら次の操作をおこなってください。

●印刷汚れ



処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
(「3.6 用紙のセット」の手順12参照)
- 2 リボンセパレータが確実にハマっているか確認します。
(「4.4 リボンセパレータの交換」参照)
- 3 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
(「7.2 日常の清掃」参照)
- 4 プリントユニットに紙片等がはさまってないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し取り除いてください。

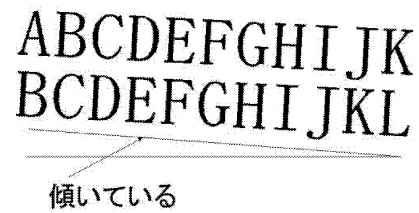
●印刷欠け



処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
(「3.6 用紙のセット」の手順12参照)
- 2 リボンセパレータが確実にハマっているか確認します。
(「4.4 リボンセパレータの交換」参照)
- 3 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
(「7.2 日常の清掃」参照)
- 4 リボンを交換します。リボンが折れてないか確認します。
(「4.1 リボンカートリッジの交換」参照)
- 5 プリントユニットに紙片等がはさまってないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し取り除いてください。

●印刷斜行（印刷が傾く）



処置

- 1 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
（「3.6 用紙のセット」参照）
- 2 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「3.6 用紙のセット」の手順12参照）
- 3 用紙のプレプリントが斜行ズレしていないか確認します。
（「第6章 用紙について」参照）

●印刷乱れ／ゆれ



処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「3.6 用紙のセット」の手順12参照）
- 2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
（「3.6 用紙のセット」参照）
- 3 ファインモードに設定します。
（「3.3.3 セットアップの設定内容」参照）

●文字切れ

ABCDEFGHIJK
BCDEFGHIJKL

印字切れ

処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
(「3.6 用紙のセット」の手順12参照)
- 2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
(「3.6 用紙のセット」参照)

●ドット抜け

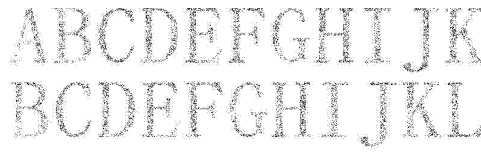
ABCDEFGHIJK
BCDEFGHIJKL

ドット抜け

処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を小さくします。
(「3.6 用紙のセット」の手順12参照)
- 2 リボンセパレータが確実にはまっているか確認します。
(「4.4 リボンセパレータの交換」参照)
- 3 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
(「7.2 日常の清掃」参照)
- 4 リボンを交換します。
(「4.1 リボンカートリッジの交換」参照)

●印刷ボケ(全桁薄)



処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を小さくします。
(「3.6 用紙のセット」の手順12参照)
- 2 リボンセパレータが確実にハマっているか確認します。
(「4.4 リボンセパレータの交換」参照)
- 3 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
(「7.2 日常の清掃」参照)
- 4 リボンを交換します。
(「4.1 リボンカートリッジの交換」参照)

●印刷 ボケ(特定の桁が薄いまたは一部分薄い)



処置

- 1 リボンセパレータが確実にハマっているか確認します。
(「4.4 リボンセパレータの交換」参照)
- 2 リボン送りローラとその周辺を清掃します。
(「7.2 日常の清掃」参照)
- 3 プリントユニットに紙片等がはさまってないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し、取り除きます。

●印刷 ボケ(特定位置薄)

ABCDEFGHIJK
BCDEFGHIJKL

薄い、リボンカスレ

処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
(「3.6 用紙のセット」の手順12参照)
- 2 リボンセパレータが確実にハマっているか確認します。
(「4.4 リボンセパレータの交換」参照)
- 3 プリントユニットに紙片等がはさまっていないか確認します。
異物等があれば、ガーゼ、綿棒等で清掃し取り除きます。

●印刷詰まり

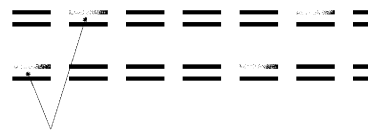
印字詰まり

ABCDEFGHIJK
BCDEFGHIJKL

処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
(「3.6 用紙のセット」の手順12参照)
- 2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・用紙ねじれに注意してください。
(「3.6 用紙のセット」参照)

●印刷カスレ（等間隔にカスレる）

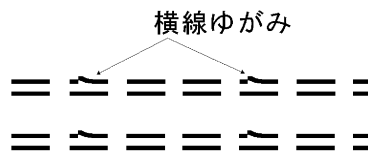


短い横線で白抜けする

処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を小さくします。
（「3.6 用紙のセット」参照）
- 2 リボンセパレータが確実にハマっているか確認します。
（「4.4 リボンセパレータの交換」参照）
- 3 シャトルモードを“モード2”に設定します。
（「3.3.3 セットアップの設定内容」参照）

●横線ゆがみ



処置

- 1 用紙厚設定レバーの値を見直します。
（「3.6 用紙のセット」の手順12参照）
- 2 用紙が適切にセットされているか確認します。
用紙の張りすぎ・ねじれに注意してください。
（「3.6 用紙のセット」参照）
- 3 ファインモードに設定します。
（「3.3.3 セットアップの設定内容」参照）

☐ **お願い**

ここに記載されていない印刷不良および上記対応にて印刷不良が直らない場合は、担当保守員に相談してください。

5.3 用紙ぎれ

(1) 表示内容

下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。



(2) 復旧操作

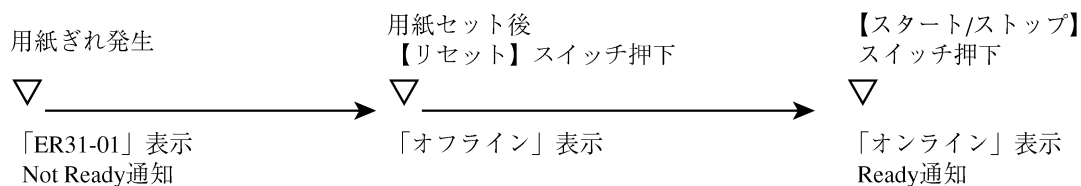
- a) ブザー音を停止する場合は、【リセット】スイッチを押下します。
- b) 「ER01-01」の場合
 - ① 【停止】スイッチを押下して、停止状態にします。
 - ② 用紙をセットして位置を合わせます。
 - ③ 【停止】スイッチを押下して、停止状態を解除します。
- c) 「ER31-01」の場合
 - ① 用紙をセットして位置を合わせます。
 - ② 【リセット】スイッチを押下して、オフライン状態にします。
 - ③ 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オンライン状態にします。

ガイド

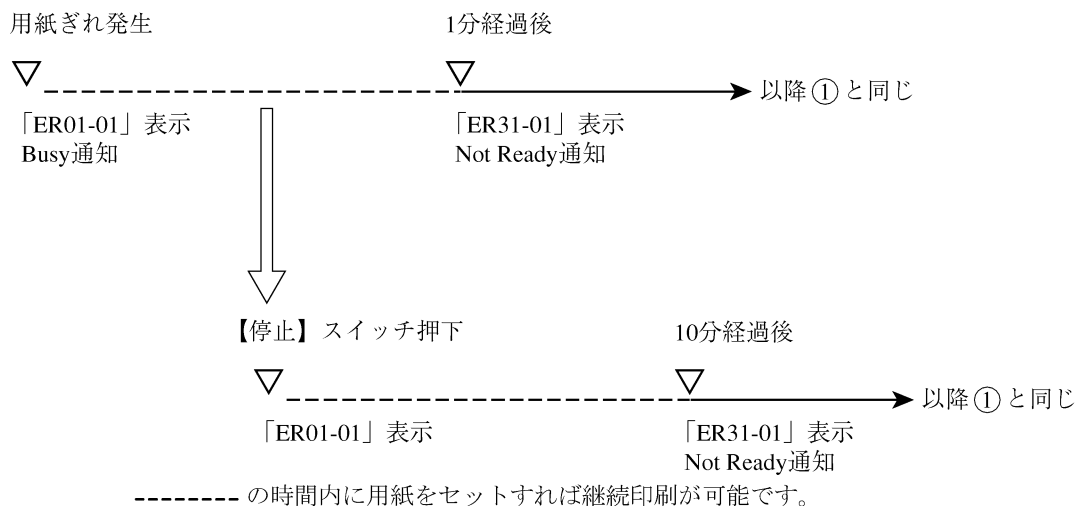
セットアップの「用紙終了時」の設定内容によって、液晶ディスプレイの表示が下記のように変わります。

ただし、“継続”設定が有効なのはサポートサーバ設定が6680-NMC、HOST PRINTでLU3の時です。

① “中断”設定時



② “継続”設定時



5.4 用紙づまり

(1) 表示内容

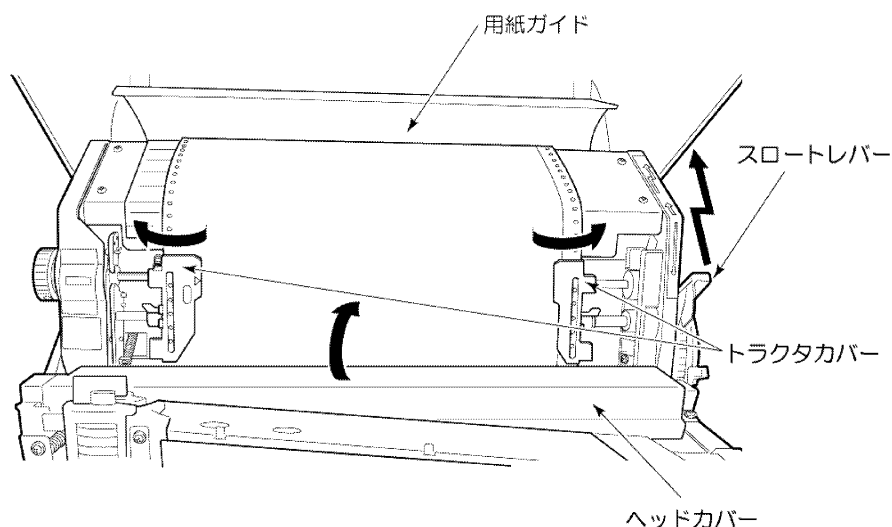
用紙づまりが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER10-01 : ヨウシヅマリ

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【リセット】スイッチを押下します。
 - b) 装置内からつまった用紙を取り除きます。
 - c) 用紙の位置を確認します。
 - d) 【リセット】スイッチを押下して、オフライン状態にします。
 - e) 【スタート/ストップ】スイッチを押下して、オンライン状態にします。
- つまった用紙の取り除き方について説明します。

- 1 トップカバーを開けます。
- 2 スロートレバーを『全開』位置にしてから、用紙ガイド、トラクタカバーおよびヘッドカバーを開けます。



- 3 装置内につまった用紙を取り除きます。
- 4 「3.6 用紙のセット」を参照して、用紙をセットします。

注意



印刷直後の印字ヘッドには触れないでください。火傷のおそれがあります。

5.5 おもなエラーメッセージ（LCD表示）

5.5.1 インターロックオープン

(1) 表示内容

スロートレバーまたはヘッドカバーが正しく閉じられていないと、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER09-01：インターロック

ER09-02：インターロック

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【リセット】スイッチを押下します。
- b) スロートレバーまたはヘッドカバーを正しく閉めます。
- c) 【リセット】スイッチを押下して、オフライン状態にします。
- d) 【スタート/ストップ】スイッチを押下し、オンライン状態に戻します。

5.5.2 プログラムエラー

(1) 表示内容

プリンタへのコマンド/オーダに異常があると、印刷は中断され、下記メッセージを表示し、“チェック”ランプが点滅します。（拡張出力機構オプション未搭載時にそれが必要な機能を指定した、など）

ER07-01：プログラム

(2) 復旧操作

- a) プログラムの管理者とご相談の上、エラー要因を除去してください。
- b) 【スタート/ストップ】スイッチを押し、オンライン表示に戻します。

5.5.3 リボンエラー

(1) 表示内容

リボンジャムが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER11-01：リボンエラー

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【リセット】スイッチを押下します。
- b) インクリボンを正しくセットし直します。
- c) 【リセット】スイッチを押下して、オフライン状態にします。
- d) 【スタート/ストップ】スイッチを押下し、オンライン状態に戻します。

5.5.4 POCエラー

(1) 表示内容

Windowsから印刷する場合、プリンタドライバで指定する用紙サイズ（用紙長、用紙幅）がプリンタでサポートしている用紙サイズ外であると、本エラーが発生することがあります。

POCエラーが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅し、ブザー音を鳴動します。

ER32-01 : POCイジョウ

(2) 復旧操作

- a) 【リセット】スイッチを押し、オフライン状態に戻します。
- b) プリンタドライバで指定している用紙サイズを確認してください。

5.5.5 パターンタイムアウト

(1) 表示内容

ディスプレイ制御装置に要求したパターンの応答がタイムアウトすると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅して、ブザー音を鳴動します。

ER89-01 : パターン

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【リセット】スイッチを押下します。
- b) ディスプレイ制御装置の管理者とご相談の上、エラー要因を取り除いてください。
- c) 電源を切断後、再投入してください。

5.5.6 上位装置電源断

(1) 表示内容

上位装置との接続が切断されると下記メッセージを表示します。

この異常が発生すると、印刷は中断されます。

ER27-01 : ジョウイソウチ

(2) 復旧操作

- a) 上位装置の電源を投入してください。
- b) データ送信を再開すると、復旧します。

5.5.7 LAN二重アドレスエラー

(1) 表示内容

ネットワーク上に同一のMACアドレスまたはIPアドレスが存在すると、本エラーが発生します。LAN二重アドレスエラーが発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅し、ブザー音を鳴動します。

ER43-01 : LAN XXXX

(2) 復旧操作

- a) 電源を切断します。
- b) プリンタの設定ミスが考えられますので、セットアップの情報を確認してください。

5.5.8 メカ系の異常

(1) 表示内容

メカ系に異常が発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER8X-XX : XXXXXXXX

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【リセット】スイッチを押下します。
- b) メッセージを記録の上、装置内の用紙をすべて取り除いてから、【リセット】スイッチを押下します。
- c) 再印刷しても同じメッセージが表示される場合には、担当保守員にご連絡ください。

5.5.9 ハードウェアの異常

(1) 表示内容

ハードウェアに異常が発生すると、下記メッセージを表示し、「チェック」ランプが点滅してブザー音を鳴動します。

ER4X-XX : XXXXXXXX

(2) 復旧操作

- a) ブザー音を停止する場合は、【リセット】スイッチを押下します。
- b) 表示されたメッセージを記録の上、電源を切断し、装置内の用紙をすべて取り除いてから、電源を再投入します。
- c) 電源を再投入しても同じメッセージが表示される場合には、担当保守員にご連絡ください。

5.6 PrintWalker/PMのエラーメッセージ

パソコン画面上に表示されるエラーメッセージに対する対処方法を説明します。

表示番号	表示内容	原因	処置
1001	プリンタ装置がストップ状態です。 プリンタ装置をスタート状態にし、印刷を再開してください。	プリンタ装置がオフライン状態です。（「スタート」ランプ消灯）	「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1020	用紙詰まりが発生しました。 用紙を取り除いた後、用紙の再設定を行い、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	プリンタ装置内で、用紙詰まりが発生しました。	「5.4 用紙づまり」を参照して、装置内から用紙を取り除いた後、用紙を正しくセットし直してから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1060	用紙がありません。プリンタ装置に用紙をセットし、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	印刷していた用紙がなくなりました。 指定した給紙口に用紙がありません。	プリンタ内の用紙をすべて排出し、印刷する用紙をセットしてから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。 正常に印刷されなかったページから印刷されます。
1120-1	プリンタ装置に異常が発生しました（インタロックオープン）。異常原因を取り除き、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	スロートレバーまたはヘッドカバーが開いています。	スロートレバーまたはヘッドカバーを閉じてから、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
1120-2	プリンタ装置に異常が発生しました（リボンエラー）。異常原因を取り除き、プリンタ装置をスタート状態にしてください。	リボン送り不良が発生しました。	用紙厚設定レバーの値を見直してください。インクリボンルーチを確認した後、「スタート／ストップ」スイッチを押して、オンライン状態にしてください。
3020	プリンタ装置との通信ができません。 プリンタ装置の動作（電源断等）を確認してください。	プリンタ装置の電源断、LANの異常のため、プリンタ装置との通信ができません。	電源を投入してください。またはネットワークについて確認してください。（LANケーブルの状態やIPアドレスの設定など）
5000	プリンタ装置に復旧不可能なエラーが発生しました。当メッセージと操作内容を記録した後、システム管理者に連絡してください。 （詳細コード：x x x x - x x - x）	ハードエラーが発生しました。（C E コール）	詳細コードを含めたメッセージ内容を記録してください。 その後、修理を依頼してください。

第6章 用紙について

6.1 印刷用紙

本装置で使用する印刷用紙は、送り孔付きの連続折り畳み用紙であり、JIS X 6195（情報処理用連続伝票）で規定されている用紙に準ずるものですが、装置の構造および特性により以下に示す制限事項があります。

本装置に使用する印刷用紙は、下記仕様を充分確認のうえ、使用してください。

なお、特殊用紙の使用を計画される場合は、事前にテスト用紙を作成して充分テストを行い、問題がないことを確認のうえで使用してください。

6.1.1 用紙の基本仕様

表6.1 用紙の基本仕様

項	項 目	仕 様	備 考
1	紙質	上質紙、再生紙	
2	形態	紙送り穴付き折り畳み連続用紙	JIS X 6195
3	用紙サイズ (※1)	横 76.2～406.4mm (3～16インチ)	
		縦 76.2～304.8 mm (3～12インチ)	
4	連量 ^(※2)	表6.2による	
5	複写用紙	感圧紙、裏カーボン紙、中カーボン紙	
6	用紙厚み	0.6mm以下 ただし、バラツキは左右両端の耳部分を含め、0.1mm以下	

※1：用紙サイズ（横／縦寸法）は、極端に小さくすると、用紙の折り畳み性が悪くなりますので、極力大きく取ることを推奨します。

※2：連量は、四六版（788×1,091mm）の用紙を1,000枚重ねたときの重さを表します。

6.1.2 用紙の連量

用紙連量を下表に示します。（単位：kg）

表6.2 用紙の連量

種 類		推奨値	最小値	最大値
1 P 用紙		55	45	110
中カーボン 重ね合わせ用紙	2P	45	30	55
	3P	40		45
	4P			
	5P			
裏カーボン 重ね合わせ用紙	2P	45	34	45 70（最下層のとき）
	3P	34		45
	4P			
	5P			
感圧紙 重ね合わせ用紙	2P	43	34	45 70（最下層のとき）
	3P	34		45
	4P			
	5P			
	6P～8P			

- ・ 給与明細書等、用紙の連量や厚さが規定値を超える重ね合わせ用紙の場合は、印字品質や複写性の低下、紙送りへの負荷増による障害を起こす可能性がありますので、用紙のとじ方に注意してください。（「6.2.2 複写用紙のとじ方」参照）
- ・ 1ページ内の用紙の厚さが異なる用紙（段差媒体）に印字する場合は、「段差媒体モード」を選択してください。
- ・ 6Pを超える用紙に印字する場合は、「高複写モード」を選択してください。

6.1.3 用紙の一般的注意事項

●用紙の品質

用紙は、通常上質紙と呼ばれるもので、均一かつ不透明で伸縮が少なく、印刷に適するものでなければなりません。また、印刷および使用上支障をきたすような汚れ、しわ、傷、折れ、カールなどがなく、十分な強さを有するものでなければなりません。

●用紙箱

用紙箱の構造は、装置への繰り出しが用紙箱に引っかかることなく行われるように、下図に示すフタ分離型を使用することを推奨します。
フラップ型の用紙箱を使用する場合は、フラップをテープなどで固定して用紙が引っかからないようにしてください。

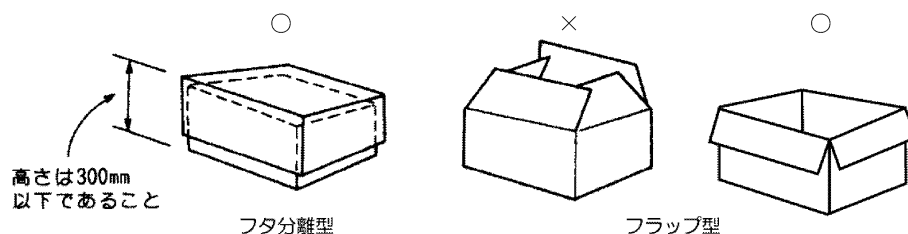


図6.1 用紙箱

用紙箱は、用紙の縦・横寸法よりそれぞれ4mm～7mm（内のり）程度の余裕をもたせ、用紙箱の高さは、300mm以下としてください。

●用紙の環境条件

用紙の保管及び使用時の環境条件は以下のとおりです。

- ・ 保管時
温度10℃～30℃、相対湿度30%～70%RHとすることを推奨します。
- ・ 使用時
温度5℃～35℃、相対湿度30%～70%RHとすることを推奨します。
ただし、保管場所と使用場所との間に環境条件の差があるときは、48時間以上露出させて使用場所の環境になじませることをお勧めします。
- ・ 感圧紙保管時の注意
感圧紙は、長時間保存すると不用意な荷物（積み重ねられた用紙の重さなど）により発色したり、湿気や直射日光などにより変色したりするので、保管には十分注意する必要があります。

6.1.4 印刷領域

●用紙の左右移動量

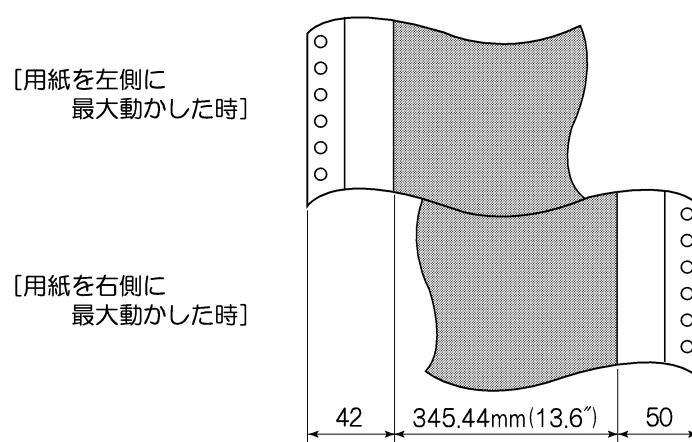


図6.2 用紙の左右移動量

●印刷保証領域

印刷領域は、下図に示す範囲とします。印刷領域を超えて印刷したときは、印字品質を損ねたり、装置に悪影響をおよぼすことがありますので注意してください。

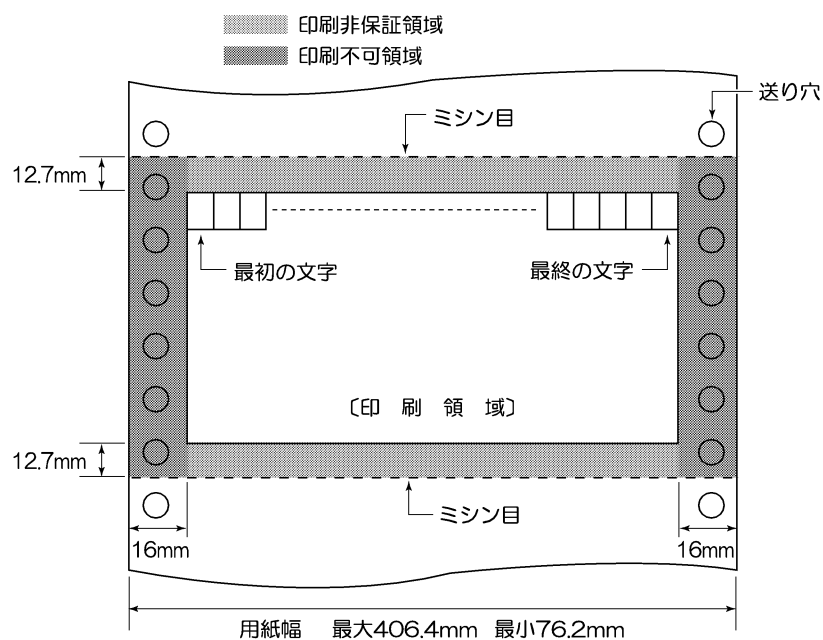


図6.3 印刷保証領域

6.2 用紙加工仕様

6.2.1 ミシン目加工・送り孔加工

連続帳票には、用紙の折り畳みや後処理のためのミシン目と、用紙を正確に搬送するための送り孔が設けられています。

ミシン目には用紙の横方向に設けられて用紙の折り畳みに用いる折り畳みミシン目、折り畳みミシン目の間に設けられる中間横ミシン目、用紙の縦方向（搬送方向）に設けられる縦ミシン目があります。

本装置に使用される連続帳票には、ミシン目の加工基準推奨値ならびに送り孔加工精度が規定されています。ミシン目のタイ・カット比が適切でない場合やミシン目の膨らみが大きい場合、送り孔加工精度が適性でない場合には、紙切れや印刷装置の紙送り性能、用紙の折り畳みに影響し、性能が著しく損なわれる場合があります。

●ミシン目の名称

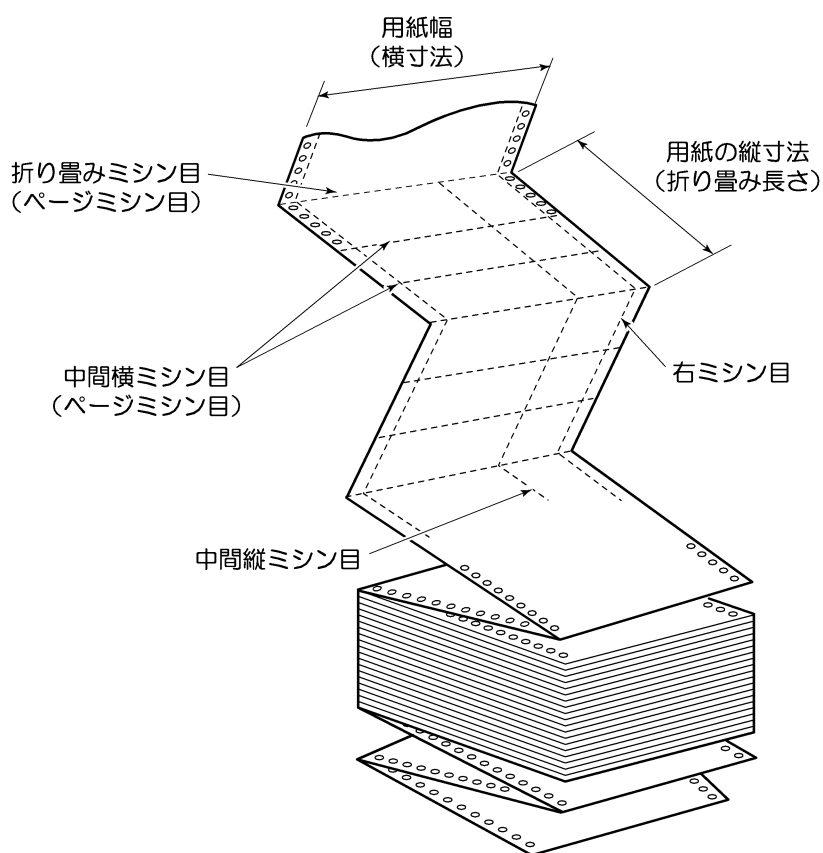


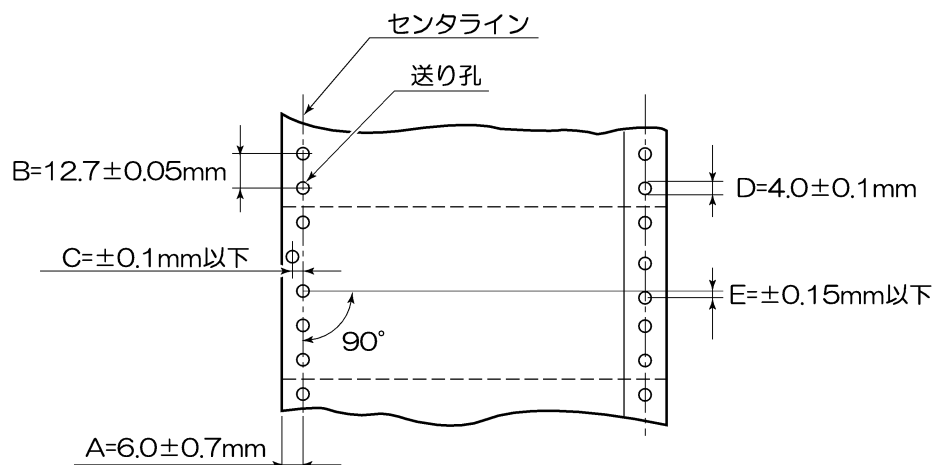
図6.4 ミシン目の名称

●送り孔、ミシン目の精度

送り孔は用紙の両端に設けます。半抜け状態の孔、もしくは抜きかすが用紙の間に挟まって残っている用紙は、用紙搬送不良や抜きかすによる脱字現象が発生する可能性がありますので、使用できません。

【送り孔加工精度】

送り孔加工精度は、下図によります。



A：送り孔のセンタと対応する端辺との距離

B：連続する2つの孔の中心間の距離

※ センタラインに沿って存在する中心距離254mm（10インチ）を超えない任意の2つの送り孔の中心距離の累積誤差は±0.3mm以下のこと。

C：孔の中心のセンタに対するずれの量

D：送り孔の直径

E：左右の対応する孔の中心のずれ量

図6.5 送り孔加工精度

【送り孔の直径】

送り孔の直径は下図によります。

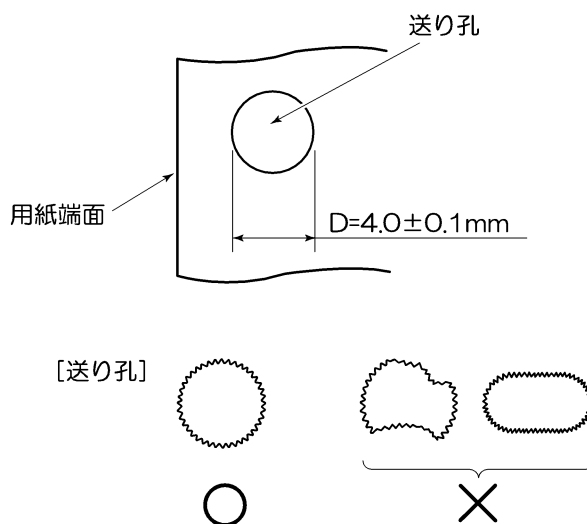


図6.6 送り孔の直径

孔の縁が菊形状になっている送り孔は、最小径が上記のD寸法とし、最大径は4.5mmを超えないようにしてください。

●ミシン目デザイン上の注意事項

【送り孔加工精度】

折り畳みミシン目、中間縦ミシン目、中間横ミシン目の加工基準推奨値を以下に示します。ミシン目加工寸法が同一であっても、用紙の銘柄や加工条件の違いによって折り畳み特性、切り離し特性が変わる場合はあるため、この基準を目安に事前確認してください。

表6.3 折り畳みミシン目、中間縦ミシン目加工寸法

タイ／カット比率、寸法	重ね合わせ枚数	横ミシン目寸法	縦ミシン目寸法
タイ／カット比率	1P	1：4以下	1：5以下
	2P～8P	1：4以下	1：5以下
カット寸法	1P～8P	1.0～4.0mm	1.0～5.0mm
タイ寸法	1P～8P	0.7mm以上	

(タイ：非切断部 カット：切断部)

【タイ部】

折り畳みミシン目および中間横ミシン目と用紙の両端面との交点には、必ず2～5mmのタイ部を設けてください。また、折り畳みミシン目および中間横ミシン目と縦ミシン目との交点にも、可能な限りタイ部を設けてください。

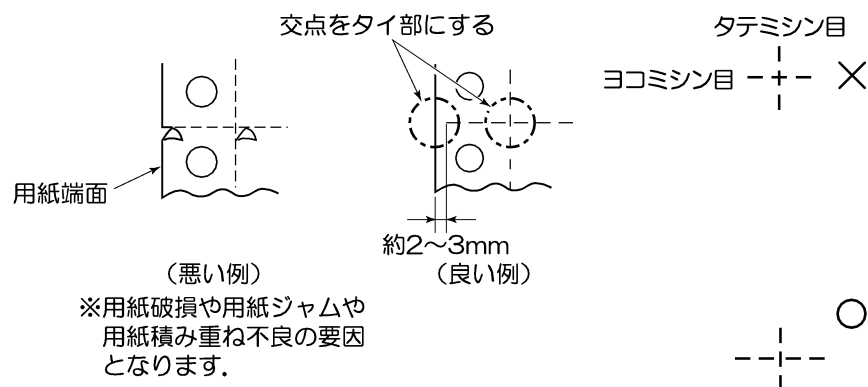


図6.7 ミシン目の交点

6.2.2 複写用紙のとじ方

中カーボン紙、裏カーボン紙、および感圧紙の重ね合わせ用紙が使用できます。また、各層の用紙の縦横寸法は、すべて同一のもので構成してください。

●用紙のとじ方

複写用紙は、両側の耳の部分（送り孔の部分）で点糊付け、または紙ホチキス止めにより固定されたものを使用してください。

（片側のみの固定にしないでください）用紙のとじ方が不十分であると、最上層と最下層の用紙間で印字ずれが発生しますので、以下条件（a～b）を満足したものを使用してください。なお、金属ホチキスは、印字ヘッドの損傷や用紙送りなどエラーの原因となりますので使用しないでください。

【糊付けの場合の注意点】

複写枚数が多いときは、糊付け部が厚くならないように千鳥状に糊付けしてください。
 （糊付け部を含めた用紙全体の厚さのばらつきは、0.1mm以下にします）

また、糊付け部の位置は、用紙送り穴のセンタに合わせてください。糊付けの方法を下図に示します。

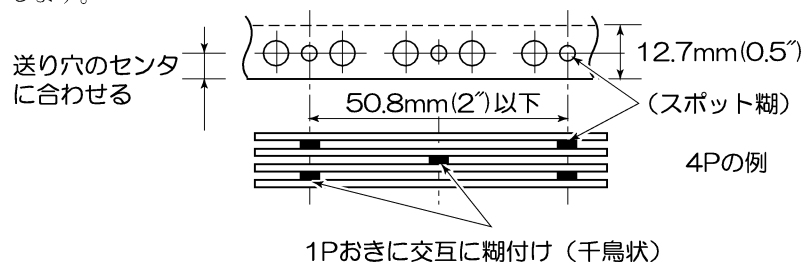


図6.8 千鳥状点糊付けの方法

□お願い

- ・ 糊付けは均一に行い、著しいシワやふくらみがあるものは使用しないでください。
- ・ 用紙を広げたあと、図6.9のように折り目を指で押しても折り目にできるふくらみ（テント張り）が残る用紙は使用しないでください。
- ・ 横ミシン目の部分に糊付けしないでください。（テント張り量が極端に大きくなるため）

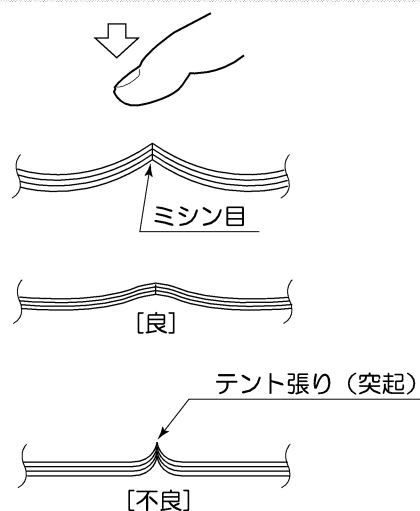


図6.9 折り目のふくらみ限度

【紙ホチキスの場合の注意点】

- ・ 紙ホチキスは、用紙がずれやすくて用紙走行や印字品質上の問題が発生しやすいので、なるべく使用しないでください。
 特にカスタマバーコードを印刷する場合は、読み取り不良となる場合がありますので、使用しないでください。
- ・ 紙ホチキスの場合は、重ね合わせ用紙の枚数を3枚以下とします。
- ・ 4枚を超える場合、または3枚以下で給与明細書のような用紙連量の大きなもので構成される場合は、用紙破れや印字不良の原因となりますので、糊付けを使用してください。
- ・ 紙ホチキスは、50.8mm（2インチ）以下の間隔で逆向き2連（送り孔の上下2個）のものとし、十分な結合力で保持されている必要があります。中間横ミシン目位置の関係で、50.8mm（2インチ）以下の間隔が不可能な場合は、76.2mm（3インチ）以下でも可とします。
- ・ 紙ホチキス部の高さは、1.0mm以下とします。
- ・ 用紙のとじ方は、左右両側とも紙ホチキス、または紙ホチキスと点糊付けの組み合わせの2通りとします。
- ・ あらかじめ用紙に罫線を印刷するときは、改行印字ずれ、複写ずれの影響を避けるた

- め、行間隔を8.47mm（1/3インチ）以上とする必要があります。
- ・ 上記注意点を含んだ紙ホチキスの例を図6.10と図6.11に示します。
 - ・ 紙ホチキスの足（切れ目）が長い場合、用紙破れの原因となりますので、極力短くすることをおすすめします。

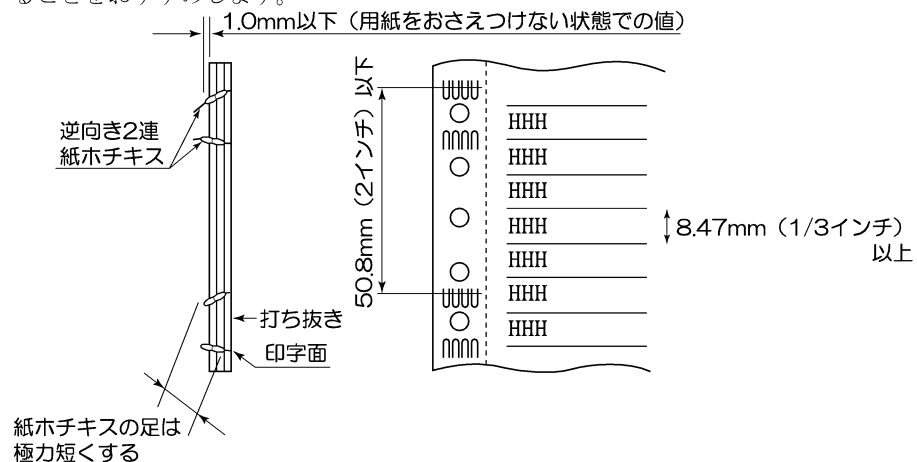


図6.10 紙ホチキスの例

●複写用紙の使用上の注意点

糊や紙ホチキスによる用紙両側の膨らみは、給紙部での用紙送りエラー（ジャム）の原因となります。膨らみ量は一箱で50mm以下としてください。

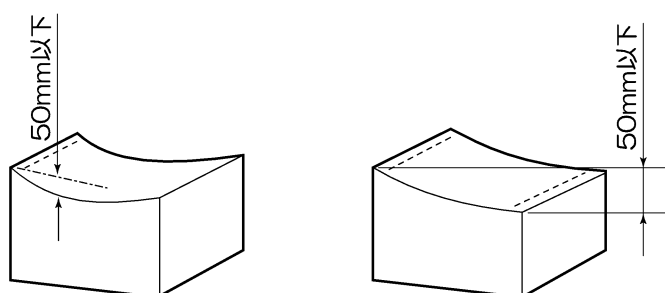


図6.11 紙ホチキスの例

6.3 特殊紙

6.3.1 複写用紙で複写しない用紙がある場合について（給与明細書等々）

重ね合わせ用紙において、2枚目以降に複写しないシートを用いるとき、インパクトプリンタの機能上、複写しないシートに若干の印字痕が残ります。

このような現象で問題のあるときは、複写しないシートに模様等をあらかじめ印刷（プレプリント）し、印字痕を目立ち難くするなどの処置をおすすめします。（図6.12）

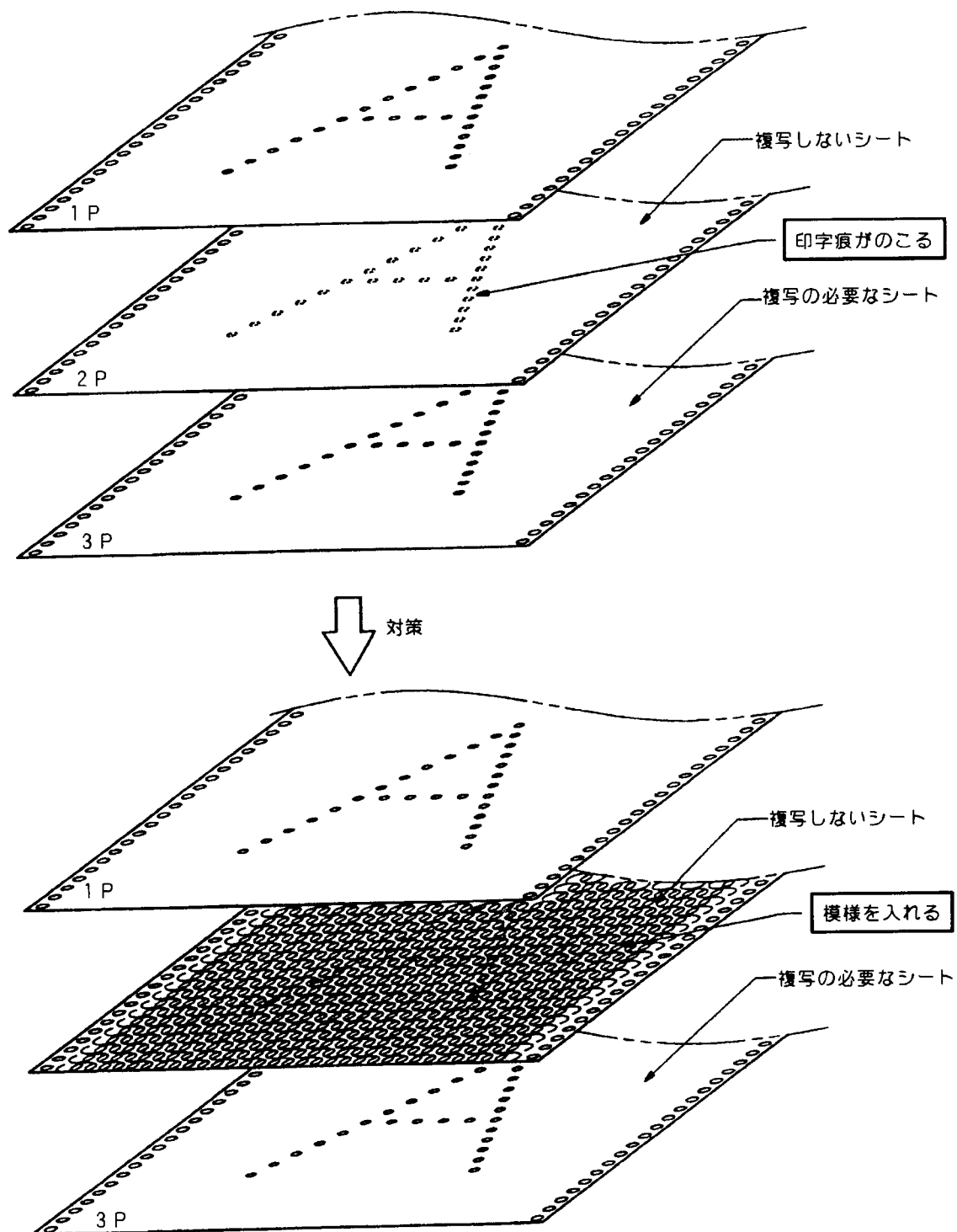


図6.12 印字痕の対策

6.3.2 ラベル紙（タック紙）

タック紙とは、裏面に糊のついたラベル紙を台紙の上に並べたもので、印刷後に台紙からラベルをはがして使用します。

●推奨仕様

使用できるラベル紙の推奨仕様を表6.4に示します。

表6.4 ラベル紙の使用条件

項 目	仕 様	備 考
用紙 ・ラベル紙 ・台紙	紙質：上質紙 連量：45kg～55kg 横寸法：50mm以上 縦寸法：25mm以上 紙質：グラミン紙またはクラフト紙 連量：70kg～80kg (シリコン塗布込み)	
ラベルフォーマット	かす取り禁止	ラベルとして使用しない部分を“かす”といい、この部分を取り除くと障害原因となります。
	4辺ともカッタを入れたラベル紙禁止	○推奨（用紙進行方向をミシン目にします） 水平方向：ミシン目 垂直方向：カッタ ×不可（すべての辺をカットしています） 水平方向：カッタ 垂直方向：カッタ
糊の接着力剥離抵抗（P）	30g以上／インチ	

●取扱上の注意事項

- ・ タック紙の保管条件は、温度15～32℃、湿度40～70%RHとし、寿命は製造後1年を目安とします。また、製造後、湿気が入らないよう、できるだけ早く防湿フィルムなどで完全包装します。
- ・ 用紙の積み重ね量が増えると自重により底部の用紙に接着剤のはみ出しが発生する可能性があります。保管の際の用紙の積み重ね量については用紙メーカーに確認してください。

●事前確認

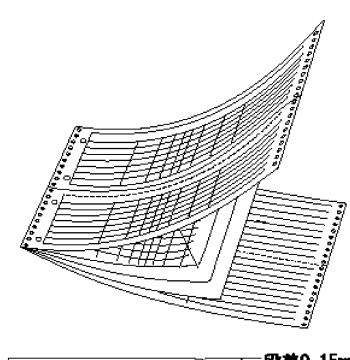
- ・ 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- ・ 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

6.3.3 段差媒体

本装置には、1ページ内で厚さが異なる用紙に対応した「段差媒体モード」があります。

上記機能を利用して段差のある用紙（部分的に厚さの異なる用紙）を使用する場合は、下記仕様を満足してください。

表6.5 段差媒体

項 目	仕 様	備 考
段差用紙	段差紙とは、2枚目以降の紙厚合計0.15mm（30kg紙×3枚分）まで削除した用紙を言います。	 段差0.15mm以下

6.3.4 孔つき用紙

帳票の機能上で必要な、送り孔を除く孔つき用紙に関する注意事項は以下のとおりです。（送り孔については図6.5参照）

●デザイン上の注意事項

- ・ ベースとなる用紙は「6.1.1 用紙の基本仕様」で説明した基本特性に合致するものを使用してください。
- ・ 孔部の凹凸やバリが印字品質低下の原因となります。凹凸やバリのない用紙を使用してください。
- ・ 孔近傍の印字を避けたデザインとしてください。余白の目安は、印字位置精度も考慮して約3.5mmです。

●事前確認

- ・ 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- ・ 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

6.3.5 再生紙

再生紙とは、新聞・雑誌などの印刷済み用紙（一般に古紙とよばれています）を溶かしてパルプ状にし、インク類を分離・漂白したものを上質紙に配合した後に製造した用紙をいいます。

国内では再生紙の規格がないため、古紙の含有率や色合い（白色度）などは各製紙メーカーごとに異なります。

再生紙には普通紙に対して次のような特性上の差異があるため、再生紙を採用する場合には特に印字品質、折り畳み特性等の事前確認を十分に実施してください。また、ロットが変更になる場合にも事前確認することをお薦めします。

確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカーと十分に話し合い、一定品質の用紙共有が得られることを確認することをお薦めします。

【特性上の差異】

- ・ 密度が低い。同じ連量の場合、紙厚が厚い。
- ・ 白色度が低い。
- ・ 引張強度、紙面強度、コシなどの機械的強度が劣る。
- ・ 含水率が高くカールしやすい。
- ・ 品質のバラツキが大きい。使用する古紙の種類により品質に差がでる。

●再生紙取扱上の注意事項

- ・ 紙粉の発生量が多くなります。ローラ、センサ、搬送路などに付着する紙粉の量が多くなり、さまざまなトラブルの原因となる恐れがあります。紙粉清掃の作業をこまめに実施してください。
- ・ 紙送り不良の頻度が多くなる場合があります。吸湿しやすくカールが発生しやすい、剛度が低いなどの要因により、紙送り不良の発生頻度が増加する場合があります。
- ・ 印字後のカールが大きいものは、紙送りやスタックに支障をきたす場合があります。
- ・ 機械的強度が低いものは、送り孔がれ、紙折れ、シワなどを起こす場合があります。
- ・ 平滑度が低いため、印字品質が劣る場合があります。
- ・ ロットごとの用紙特性バラツキが用紙搬送性、印字品質の差としてでる場合があります。
- ・ 再生紙は吸湿しやすいため、防湿フィルム梱包をして保管してください。

●推奨紙一覧表

推奨用紙として富士通コワーコ株式会社より、ご提供中の用紙は次のとおりです。

表6.6 当社推奨紙

品 名	商品番号	備 考
NLP白紙フォーム15×11インチ-1P	0412110	2000セット／ケース

上記に関するお問い合わせ先： 富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター
フリーダイヤル 0120-505-279 平日9:00～17:30
(土曜・日曜・祝日・年末年始除く)

6.3.6 OCR用紙

OCR用紙としては、JIS X 9004（光学式文字認識のための印字仕様）に規定された項目を満足した、用紙連量55kg～90kgの1P用紙のみ使用できます。

これ以外の用紙を使用したときは、OCR装置での読み取り率が低下することがあるので、事前に十分評価する必要があります。

6.3.7 バーコード印刷時の注意事項

1P用紙以外を使用する場合、用紙の1枚目のみバーコードとして使用できます。

読み取り装置の違いにより読み取り率が低下する場合がありますので、事前に十分評価する必要があります。

紙ホチキスとじ用紙は、用紙がずれやすく、印字品質が低下します。

特にカスタマバーコードは読み取り不良となる場合がありますので、使用しないでください。

6.3.8 印刷用紙の発注

印刷用紙は、印刷フォーマットを指定し、表6.7に示す指定項目を、規定に従って指定することが望ましいです。

なお、表6.7の指定項目以外の詳細な仕様は、必要に応じて用紙メーカーとの打ち合わせを行ってください。

表6.7 印刷用紙仕様の指定項目

指定項目	指定内容	
用紙の縦横寸法(*1)	C, P	
	Y	T
重ね合せ枚数	1P, 2P, 3P, 4P, 5P, 6P, 7P, 8P	
用紙の連量(*2)	kg	
縦ミシン目の位置		
カーボン紙を挿入する位置(*3)		
カーボンを塗布する位置(*4)		
用紙のとじ方	糊つけ 紙ホチキス	
用紙の原紙の色		
カーボン紙の種類(*3)	一般用 特殊用	
カーボン紙の色(*3)	黒 青 赤	
カーボン紙の色(*4)	黒 青 赤	
複写の発色(*5)	青 濃い藍 黒 赤	
印刷様式		
印刷色		
品名表示		

*1: 用紙の寸法は次に示すC指定またはP指定のいずれかにより指定する。

横寸法(Y) C指定 400, 375, 340, 250, 180
P指定 16, 15, 14, 13, 12, 11 3/4, 11, 10, 9, 8, 7
縦寸法(T) C指定 120, 110, 080, 060, 055, 040, 030
P指定 12, 11, 10 1/2, 10, 9, 8 1/2, 8, 7, 6,
5 1/2, 5, 4 1/2, 4, 3 2/3, 3 1/2, 3 1/3, 3

*2: 用紙の連量は次に示すもののうちから指定してください。

1P用紙					45	55	70	90	110
中カーボン重ね合せ用紙	30		40		45	55			
裏カーボン重ね合せ用紙		34			45				
感圧紙重ね合せ用紙		34		43	45				

*3: 中カーボン重ね合せ用紙に限る

*4: 裏カーボン重ね合せ用紙に限る

*5: 感圧紙の重ね合せ用紙に限る

第 7 章 日常の点検とお手入れ

装置が汚れていると、印字品質が悪くなったり、紙づまりを起こしたりします。
予防のため、時々手入れをしてください。

7.1 日常の点検

毎日、使い始めと終わりに、次のことをチェックしてください。

(1) 始めの点検

- － プリンタの回りは、ちらかっていませんか？
特に、クリップ、紙くずなどを確かめて、整頓しましょう。

(2) 終わりの点検

- － プリンタの電源は切りましたか？
安全のため、できるだけ電源ケーブルのプラグをコンセントから抜いてください。

7.2 日常の清掃

常に良好な印字品質を保つために1箇月に1回程度の割合で、下表に示す箇所の清掃を行ってください。位置は「2.5 リボンカートリッジの取り付け」および「3.6 用紙のセット」を参照してください。

なお、清掃時は、必ず装置の電源を切断してから実施してください。

表7.1 清掃箇所と方法

清掃箇所	清掃方法
トラクタ部（左右）	・トラクタカバーを開き、掃除器で紙くず、ほこりを吸い取ってください。 ・左トラクタの用紙送りセンサローラの外周を、ガーゼなどのやわらかい布で清掃してください。
トラクタ軸と用紙送りユニットフレーム	・トラクタ軸の汚れは、ガーゼなどのやわらかい布で拭き取ってください。 ・用紙送りユニットのフレームおよびガイド板上の紙くず、ほこりなどを掃除器で吸い取ってください。
リボンユニット周辺	・インクリボン交換時、リボンコンテナにたまっているリボンくずを掃除器で吸い取ってください。
リボン送りローラとその周辺	・リボンリリースレバーを引いてリボン送りローラを開き、ローラなどに付着しているリボンくずを掃除器で吸い取ってください。 （注）アルコールなどで拭かないでください。
リボンガイド	・インクリボンをリボンガイドから外し、ガイド面に付着しているリボンくずやインクも、やわらかい布で拭き取ってください。
リボン送りセンサ	・インクリボンをリボン送りセンサのローラから外し、ローラの軸受部のリボンくずを掃除器で吸い取ってください。 ・ローラの外周に付着しているリボンくずやインクを、やわらかい布で拭き取ってください。（ローラは軽く回ることを確認してください。）
リボン継ぎ目センサ	・インクリボンをリボン継ぎ目センサのすき間から外し、センサ面に付着しているリボンくずや紙くずをやわらかい布で拭き取ってください。
ホッパ部	・フロントドアを開け、ホッパ内部の紙くず、ほこりを掃除器で清掃してください。
フォームブラック	・フォームブラック内部の紙くず、ほこりを掃除器で清掃してください。
カバー類	・水を湿らせたやわらかい布で清掃してください。なお、汚れのひどいときは、中性洗剤を使用してください。 （アルコールで拭かないでください。）
フィルタ	・装置下部の左にあるフィルタを外し、掃除器でほこりを吸い取り、再セットしてください。1ヶ月に一回程度の清掃を推奨いたします。（「7.3 フィルタの清掃」参照） （注） フィルタは装置の左下にあります。サイド扉を開き、フィルタをサイド扉側へ引き抜いてください。

*清掃後は必ずフィルタをセットしてください。



装置動作中は、カバーを開けて手や顔を入れないでください。
けがをするおそれがあります。

7.3 フィルタの清掃

フィルタカウント値が、セットアップモードで設定されているフィルタ清掃ライフ値を超えると、液晶ディスプレイに“フィルタ”と表示されます。

機能モードにてフィルタカウントリセットを行うまで、“フィルタ”は表示され続けます。

00 : オンライン

フィルタ

90 : オフライン

フィルタ

フィルタを清掃したあと（表7.1参照）、下記手順でフィルタカウント値をリセットしてください。

- (1) オフライン状態で【機能】スイッチを押して機能モードに入ります。（「機能」ランプ点灯）
- (2) 【決定】スイッチを押していき、“フィルタカウントリセット：シナイ”を液晶ディスプレイに表示させます。
- (3) 【▲／▼】スイッチを押して、“フィルタカウントリセット：スル”を選択した後、【決定】スイッチを押します。
- (4) 【機能】スイッチを押すと、機能モードを終了します。（「機能」ランプ消灯）

第 8 章 設置諸元

8.1 設置条件

本装置の設置条件を下表に示します。

表8.1 設置条件

項 目		値			備 考
外形寸法 [mm]		幅	奥行	高さ	
		700	755	1055	
質量 [kg]		約163			
入力電源	電圧	AC100V ±10%			
	相数	単相			
	周波数	50/60Hz +2% -4%			
所要電力量 [kVA]	制御中	最大1.3			節電モード時：20W
	非制御中	約0.1			電源OFF時：0W
発熱量 [MJ/H]	制御中	約3.8			
	非制御中	約0.3			
漏洩電流	[mA]	1.0以下			
温湿度 許容範囲	装置状態	稼 動 中	休 止 中	温度勾配 15℃/時間以下 湿度勾配 30%RH/日以下 結露のないこと	
	温 度 [℃]	5～35	0～50		
	湿 度 [%RH]	20～80	8～80		
	最高湿球温度 [℃]	29以下	—		
許容塵あい量 [mg/m³]		0.15以下			ステアリン酸基準
許容振動 [G]		0.2以下			
騒音 [dBA]	制御中	55以下			ISO 7779準拠（音圧レベル） 高品位モード Bystander Position-Front
排気量 [m³/min]		約2.8			
雑音電界強度 雑音端子電圧		VCCIクラスA			
工事側電源コンセント仕様		125V/15A、2極接地型			神保 1136/1132 松下 WF3002 アメリカン 20/120など

8.2 外形寸法

本装置の外形寸法を下図に示します。

質量：163kg

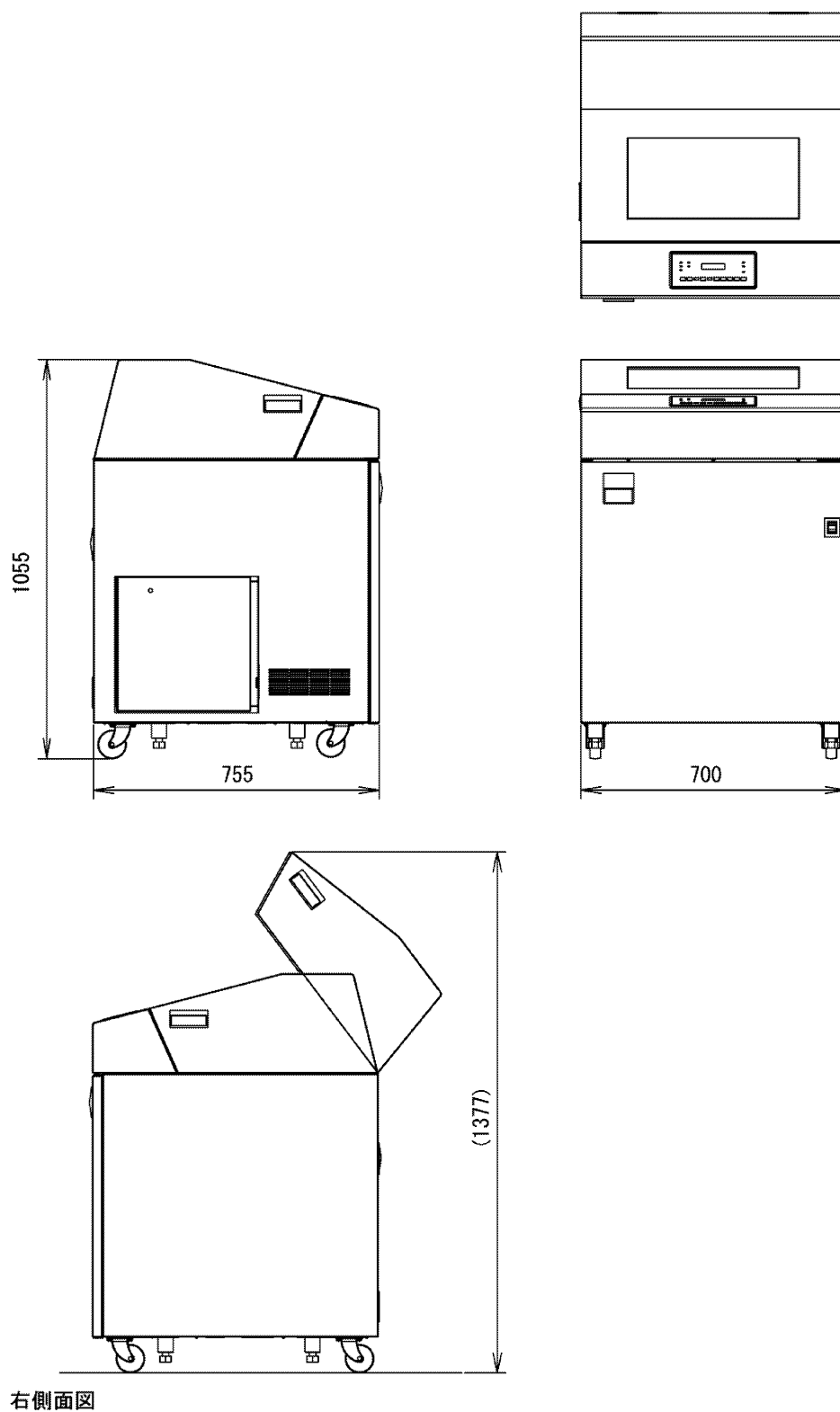
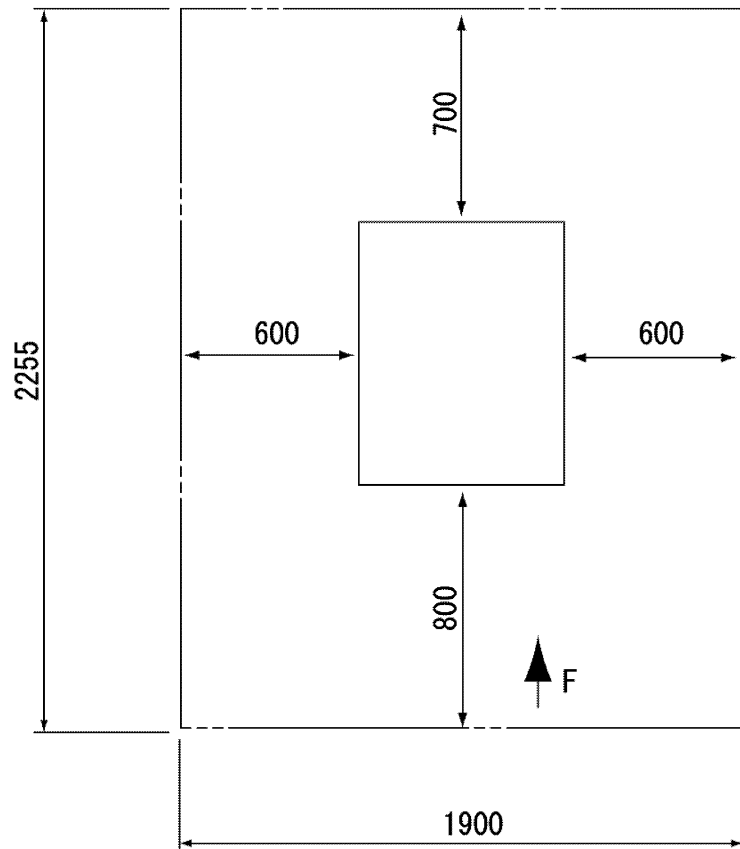


図8.1 外形寸法

8.3 設置スペースと設置上の注意事項

本装置の設置スペースを下図に示します。



単位：mm

F：装置前面

図8.2 設置スペース

本装置の機能を十分に活用するため、設置環境については次のような点に注意してください。

●床構造について

- ・ 床荷重は、一般事務室の耐重性があれば設置できます。
- ・ 床の表面材料は、清掃が簡単で油に強く、塵埃の発生しにくいビニール系タイルが最適です。
また、静電気の発生を防ぐために、静電気防止用タイルを使用してください。
- ・ 床上げしないで、一般事務室の床に設置できます。
- ・ じゅうたんは静電気障害の原因となるので極力避けてください。やむをえず使用するときは、塵埃の発生が少ない帯電防止用のものを敷いてください。この場合、温湿度を制御する空調機が必要です。

●環境について

- ・ 腐食性有毒ガスおよび塩風の影響がない環境
硫化水素、亜硫酸ガス、塩化水素、塩素、二酸化窒素、アンモニア、オゾン、および塩風の影響のない場所に設置してください。
これらの有毒ガス、塩風は、銀、鉄、ニッケル、ゴム類やプラスチック類を腐食させて、装置を誤動作させる原因となります。これらの環境では、外界との遮へいや空気清浄設備が必要です。
- ・ 強い電波の発生がない環境
一般的には、電界強度が120dB $\mu\text{V}/\text{m}$ 以下の環境が必要です。電界強度が高い場合は、室内をシールド工事するなどの対策を講じてください。
- ・ 塵埃の発生が少ない環境
塵埃の多い場所は、磁気媒体を傷つけたり接触不良を起こす恐れがあるので、空調機を装備したエアフィルタで塵埃を捕集する必要があります。
- ・ 振動のおそれのない環境
振動は装置の機能に大きな影響を及ぼします。床表面で0.2G以下の場所を選んでください。
- ・ ネズミの侵入のおそれのない環境
ネズミの侵入によって、ケーブルの断線、装置内部の損傷を招くので、出入口には十分注意してください。
- ・ 直射日光の当たらない環境
直射日光を受けるとランプ表示を見分けることが困難になります。また、日光で装置が部分的に加熱し、故障やトラブルの原因となります。
- ・ 接地について
外来ノイズを防止して安定稼働させるため、また、オペレータの安全上第3種接地工事以上（接地抵抗100 Ω 以下）の専用アースが必要です。

●電源供給設備について

- ・ 本装置は、商用100V電源でできるように設計されています。しかし、電氣的なノイズが生じる負荷および電圧降下となる負荷が同一系統に接続されると、電圧が許容範囲を越えて、誤動作したり異常停止することがあります。
したがって、電圧の変動による業務の中断が許されない場合は、自動電圧調節器(AVR)および定周波数電圧装置(CVCF)を設備してください。
- ・ タコ足配線はおやめください。

●ケーブル布設について

- ・ 信号ケーブルと電源ケーブルが接近、平行していると、電源ノイズが信号ケーブルに誘導して誤動作の原因となります。
また、ケーブルの布設される電磁環境は、電界強度120dB $\mu\text{V}/\text{m}$ (1V/m) 以下です。

●ディスプレイ装置の併設について

- ・ 本装置の側面にディスプレイ装置を設置する場合は、表示画面が歪むことがあるため、設置スペース（図8.2）外に設置する必要があります。

8.4 移設時の注意事項

事務所のレイアウト変更などで同一フロア内で装置を移設するときは、次の点に注意してください。

異なるフロアへの移設に関しては、担当保守員に相談してください。

また、移設によりケーブルの取り外し、接続を行うときは、すべての機器の電源を切断します。

●必ず電源を切断する

装置の電源スイッチを切り、分電盤も切断した後に電源プラグをコンセントから外します。

●必ずLANケーブルを外す

LANケーブルを接続したまま装置を移動すると、LANケーブルの断線や他の物の転倒などを引き起こすことがありますので、注意してください。

●移動は静かに行う

- ・ 移動は、装置に衝撃を与えないように行ってください。
- ・ 装置の前後方向にはキャスタが付いているので、静かに押して移動します。

注) 装置は、台足で固定されているので、移動する際は台足を上げて行ってください。（スパナ等の工具が必要です）

●移動は装置カバーおよび扉を持って動かさない

カバーおよび扉を持って動かすと、カバーおよび扉が破損するおそれがあります。

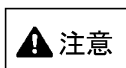
●動作させる前に確認する

- ・ 接続を完了した後は、必ず接続の再確認を行います。
- ・ コンセントは、あらかじめ確認されているものを使用してください。（使用実績のないコンセントに移動するときは、工事担当者に確認した後に動作させてください。）

●動作確認

- ・ 本装置のみのを電源投入して、動作確認を行います。確認結果が正常であれば、他の機器の電源を投入します。
- ・ サーバ等が変更された場合、再度セットアップ作業を行ってください。

 警告	 感電注意	・ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。 ・ 電源コード、LANケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
	 分解禁止	装置を分解したり、改造したりしないでください。感電や火災のおそれがあります。
	 発火注意	万一機器から発熱・発煙・異臭・異常音が発生したら電源スイッチを切断してください。感電や火災のおそれがあります。



発火注意



感電注意

- ・ 直射日光の当たる所や暖房機の近く、湿気、ホコリの多い場所には置かないでください。
感電や火災のおそれがあります。
- ・ 装置内部が高温になるため、通気孔をふさがないでください。
感電や火災のおそれがあります。
- ・ 移動は装置カバーおよび扉を持って動かさないでください。
カバーおよび扉をもって動かすとカバーおよび扉が破損する場合があります。

第9章 付 録

本章では、本装置の液晶ディスプレイに表示されるメッセージの一覧および文字コードについて示します。

9.1 メッセージ一覧

9.1.1 オフライン系

オフライン系のメッセージ一覧を表9.1に示します。

表9.1 オフライン系のメッセージ一覧（続く）

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	点灯	消灯	鳴らない	00 オンライン	オンライン状態 ・動作可能	(不要)
※	消灯	消灯	鳴らない	08 テイシタイムアウト	停止タイムアウト (約10分間)	スタートSW押下 または 機能(停止)SW押下
※	点灯	消灯	鳴らない	PAキー 1/2	機能SW選択	再度機能SW押下
※	点灯	消灯	鳴らない	ナシ	機能SW選択無し	同上
※	点灯	消灯	鳴らない	キャンセル	機能SWキャンセル機能選択	同上
※	点灯	消灯	鳴らない	PA1	機能SW PA1キー機能選択	同上
※	点灯	消灯	鳴らない	PA2	機能SW PA2キー機能選択	同上
※	点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト 2/2	機能SW 用紙調整機能	同上
※	点灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト	機能SW 用紙調整機能	同上
	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン ヨウシイチ	オフライン画面 ・エラーからの戻り画面 ・N-Ready	用紙位置確認後スタートSW押下
	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン	オフライン画面 ・N-Ready	スタートSW押下
	消灯	消灯	鳴らない	90 オフライン データ アリ	オフライン画面 ・N-Ready ・未印刷データ有り	スタートSW押下 PrintWalker設定
	消灯	消灯	鳴らない	98 → → → → → ・	ローディング中 (制御プログラムをRAM上に読込中)	(不要)
	消灯	消灯	鳴らない	99 → → ・ ・ ・ ・	初期診断中 (内部ハードウェアのチェック中)	(不要)
	点灯	消灯	鳴らない	パターンカキコミチュウ	SEND CG実行中	(不要)

※ サポートサーバ設定がPrintWalkerの場合、表示されません。

表9.1 オフライン系のメッセージ一覧（続き）

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	シバラク オマチクダサイ	エラー時および節電モード時にリセットSW押下したリセット動作中画面	（不要）
	消灯	消灯	鳴らない	ヒダリマージン : XX	左端設定	再度機能SW押下
	消灯	消灯	鳴らない	ページチョウ : XX	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジピッチ : XX	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANピッチ : XX	ANピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウピッチ : XLPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウカンカク : XLF	改行間隔	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボン : XXXXXXXX	リボンライフ表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボンカウンタリセット : XXX	リボンカウンタリセット	同上
	消灯	消灯	鳴らない	フィルタ : XXXXXXXX	フィルタ清掃カウント表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	フィルタカウンタリセット : XXX	フィルタ清掃カウンタリセット	同上
	消灯	消灯	鳴らない	テストインジ	テスト印字	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	テスト印字中	（不要）

9.1.2 セットアップ系

セットアップ系のメッセージ一覧を表9.2に示します。

表9.2 セットアップ系のメッセージ一覧

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容
98	消灯	消灯	鳴らない	98 → → → → → ・	電源投入時、6番目の→が表示されるまでに、セットアップ遷移用SWを押下し続けるとセットアップ初期化処理画面に遷移する。
97	消灯	消灯	鳴らない	97 → → → → → ・	セットアップ受付後の初期化処理

1) セットアップメニュー遷移

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップツウシン 1/6	セットアップメニュー (1/6)	リセットSW押下で書き込み確認画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップソウチ 2/6	セットアップメニュー (2/6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップヨウシ 3/6	セットアップメニュー (3/6)	同上

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップジュミョウ 4/6	セットアップメニュー (4/6)	リセットSW押下で書き込み確認画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップインサツ 5/6	セットアップメニュー (5/6)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ペーパーアジャスト 6/6	セットアップメニュー (6/6)	同上

2) IPLカクニン

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップ カキコミ	セットアップ情報書込確認画面	決定SW押下で書込処理へ遷移 リセットSW押下で初期診断確認画面へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	ローディング 1/2	初期診断確認画面 (1/2)	決定SW押下で初期診断へ遷移
	消灯	消灯	鳴らない	セットアップメニュー 2/2	初期診断確認画面 (2/2)	決定SW押下でセットアップメニューへ遷移

3) 通信セットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	サポートサーバ 1/3	通信関連セットアップ (1/3) ▲▼SWで選択	リセットSW押下で通信セットアップ選択画面に戻る
	消灯	消灯	鳴らない	LANインターフェース 2/3	通信関連セットアップ (2/3) ▲▼SWで選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ソウチメイ セッテイ 3/3	通信関連セットアップ (3/3) ▲▼SWで選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	XXXXXXXXXXXXXXXX	装置名設定	リセットSW押下で装置名設定へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	LANインターフェース : XXXX	LANインターフェース設定	リセットSW押下でLANインターフェース画面へ戻る
	消灯	消灯	鳴らない	PrintWalker 1/3	サポートサーバ設定 (1/3)	リセットSW押下でサポートサーバ画面に戻る
	消灯	消灯	鳴らない	6680-NMC 2/3	サポートサーバ設定 (2/3)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	HOST PRINT 3/3	サポートサーバ設定 (3/3)	同上

PrintWalkerおよびHOST PRINT選択時

	消灯	消灯	鳴らない	MAC アドレス 1/8	通信設定 (1/8)	リセットSW押下でサポートサーバ設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	IP アドレス 2/8	通信設定 (2/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ネットマスク 3/8	通信設定 (3/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 1 4/8	通信設定 (4/8)	同上

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 2 5/8	通信設定 (5/8)	リセットSW押下でサポートサーバ設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 3 6/8	通信設定 (6/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイ 4 7/8	通信設定 (7/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	デフォルトルータ 8/8	通信設定 (8/8)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	XXX. XXX. XXX. XXX	アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	MACグローバル	グローバルアドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アテサキアドレス 1/2	ゲートウェイ設定 (1/2)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ゲートウェイアドレス 2/2	ゲートウェイ設定 (2/2)	同上
6680-NMC選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	LAN アドレス 1/5	LANアドレス設定	リセットSW押下でサポートサーバ設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	グローバルアドレス 2/5	LANグローバルアドレス表示	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ローカルアドレス 2/5	LANローカルアドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	アイテサキアドレス 3/5	LAN相手先アドレス設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	タイムアウト : XX. X S 4/5	LANタイムアウト値設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	サイソウスウ : XXカイ 5/5	LAN再送数設定	同上
HOST PRINT設定時						
	消灯	消灯	鳴らない	サーバIPアドレス 9/10	サーバアドレス設定	リセットSW押下でサポートサーバ設定へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ 10/10	セッションリトライ設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セッションリトライ : XX カイ	セッションリトライ回数設定	リセットSW押下でセッションリトライ設定へ戻る。

4) 装置設定セットアップ

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
PrintWalker選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC : XXXXXXX	EBCDICフォント設定	リセットSW押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	インサツドウサ : XXXXXXX	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ	▼▲SWで印刷モード選択	同上

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ	▼▲SWで印刷モード選択	リセットSW押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ+コウフクシャ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ+コウフクシャ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク+コウフクシャ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ+コウフクシャ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ+コウフクシャ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク+コウフクシャ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ファインモード : XX	ファインモード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	シャトルモード : XXXX XXXXXXX	シャトルモード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ブンカツスキップ :	分割スキップ設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANコード : XXXXXX	ANコード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジケタスウ : XXX ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘッドドウサ : XXXXXX	印字ヘッド動作方向設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ブザーオンリョウ : XXXX	ブザー音量設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セツデンモード : XXXX	節電モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カミナシケンシュツイチ : XXXX	紙無し検出位置設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイページ : XXXX	改ページ動作	同上
6680-NMC・HOST PRINT選択時						
	消灯	消灯	鳴らない	EBCDIC : XXXXXXX	EBCDICフォント設定	リセットSW押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	インサツドウサ : XXXXXXX	印刷動作設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インサツモード	印刷モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ	▼▲SWで印刷モード選択	同上

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ	▼▲SWで印刷モード選択	リセットSW押下で装置設定セットアップ選択画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ+コウフクシャ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ+コウフクシャ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク+コウフクシャ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウヒンイ+コウフクシャ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ツウジョウ+コウフクシャ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	コウソク+コウフクシャ+ダンサ	▼▲SWで印刷モード選択	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ファインモード : XX	ファインモード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	シャトルモード : XXXX XXXXXXX	シャトルモード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ブンカツスキップ : XXXXXX	分割スキップ設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	FFユウコウイチ : XXXX	FF (Form Feed) 有効位置設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミギハシ+NL : X LF	右端+NL設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ミギハシ+CR : X LF	右端+CR設定	同上
※	消灯	消灯	鳴らない	ミテイギモジ : XXXX	未定義文字設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANコード : XXXX	ANコード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	インジケタスウ : XXX ケタ	印字桁数設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヨウシシュウリョウ : XXXXX	用紙終了時設定 (中断/継続)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ヘッドドウサ : XXXXX	印字ヘッド動作方向設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ブザーオンリョウ : XXXX	ブザー音量設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	セツデンモード : XXXX	節電モード設定	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カミナシケンシュツイチ : XXXX	紙無し検出位置設定	同上

※ サポートサーバ設定がHOST PRINT時は未定義文字は無効で表示されません。

5) 用紙設定セットアップメニュー

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ヒダリマージン : XX	左端設定	リセットSW押下で 用紙設定セットアップ 選択画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	ページチョウ : XX	ページ長	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カンジピッチ : XX	漢字ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	ANピッチ : XX	ANピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウピッチ : XLPI	改行ピッチ	同上
	消灯	消灯	鳴らない	カイギョウカンカク : XLF	改行間隔	同上

6) 書き込み処理

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	シテイチ カキコミ 1/2	書き込み処理選択 (指定値書き込み)	リセットSW押下で 書き込み処理画面 へ戻る。
	消灯	消灯	消灯	デフォルト カキコミ 2/2	書き込み処理選択 (デフォルト書き込み)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	スタートSW ラ オス	書き込み処理開始 ・実行前 ・スタートSW押下で実行	リセットSW押下で 書き込み処理選択画 面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	ジッコウチュウ	書き込み処理実行 ・実行中	正常終了で書き込み 処理選択画面へ遷 移。

7) 寿命設定セットアップメニュー

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	リボンライフ 1/2	リボンライフメニュー (1/2)	リセットSW押下で 寿命設定セットア ップ選択画面に戻 る。
	消灯	消灯	鳴らない	リボンカウント 2/2	リボンライフメニュー (2/2)	同上
	消灯	消灯	鳴らない	リボンライフ : XX マン	リボンライフ設定	リセットSW押下で リボンライフメニ ュー画面に戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	XXXXXXXXX ギョウ	リボンカウント表示	同上

8) セットアップ印刷

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	スタートSW フォース	・セットアップ印刷実行前 ・スタートSW押下で実行	リセットSW押下でセットアップ印刷選択画面へ戻る。
	消灯	消灯	鳴らない	ジコウチュウ	・セットアップ印刷実行中	正常終了でセットアップ印刷選択画面へ遷移

9) 用紙微調整

状態	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
	消灯	消灯	鳴らない	ペーパー アジャスト	用紙微調整開始画面	リセットSW押下でペーパーアジャスト選択画面へ戻る。

9.1.3 コントローラ系エラー

コントローラ系のエラーメッセージ一覧を表9.3に示します。

表9.3 コントローラ系のエラーメッセージ一覧

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
40-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER40-01：メモリエラー	ROM SUMチェックエラー	電源OFF →再投入
40-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER40-02：メモリエラー	LANグローバルアドレス 用 ROM SUMチェックエラー	同上
41-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER41-01：メモリエラー	SDRAM W/Rチェックエラ ー（ROM部）	同上
41-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER41-02：メモリエラー	ブート部のコンペアチェ ックエラー	同上
41-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER41-03：メモリエラー	SDRAM W/Rチェックエラ ー（RAM部）	同上
41-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER41-04：メモリエラー	イメージバッファ比較エ ラー	同上
42-09	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER42-09：PCB XXXX	LANCEオープンエラーま たはシステムエラー	同上
43-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-01：LAN XXXX	LAN二重アドレス（設定ミ ス）エラー	同上
43-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-02：LAN XXXX	相手ノードウィンド長エ ラー	同上
43-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-03：LAN XXXX	相手受信情報部長エラー	同上
43-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-04：LAN XXXX	LAN用 DP-RAMエラー	同上
43-05	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-05：LAN XXXX	アンダーフローエラー	同上
43-06	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-06：LAN XXXX	LAN用S-RAMにおいてファ ームの設定ミスORアンダ ーフローエラー	同上
43-07	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-07：LAN XXXX	伝送路異常 （エラー未検出） （LANコネクタ抜け）	同上
43-08	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-08：LAN XXXX	伝送路異常 （エラー検出） （LANコネクタ抜け）	同上
43-09	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-09：LAN XXXX	LANCE OPEN不可 （ローカルアドレス 未設定）	同上
43-10	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER43-10：LAN XXXX	LANCE OPEN不可 （他ノードアドレス 未設定）	同上
44-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER44-01：EEPROM	EEPROM異常 （ACKタイムアウト）	同上
44-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER44-02：EEPROM	EEPROM異常 （装置名異常）	同上
44-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER44-03：EEPROM	EEPROM異常 （サムチェック異常）	同上
45-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER45-01：FLASHエラー	FLASHアクセスエラー （コントローラ部）	同上

第9章 付 録

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
45-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER45-02 : FLASHエラー	FLASHアクセスエラー (メカコン部)	電源OFF →再投入
47-0X	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER47-0X : ソケットエラー	ファーム (ソケット) 内 部矛盾 ※ Xは1～9	同上
48-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER48-01 : システムエラー	整合性チェックエラー (LANファーム)	オフテス モードに入っ て、工場出 荷版にシス テムを戻 す。(CE作 業)
48-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER48-02 : システムエラー	整合性チェックエラー (メカコンファーム)	
48-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER48-03 : システムエラー	ExxVxxLxxの形式エラー	
48-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER48-04 : システムエラー	メカコンシステム異常	
49-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-01 : PCF XXXX	ファーム処理内部矛盾	電源OFF →再投入
49-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-02 : PCF XXXX	TLB変更例外	同上
49-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-03 : PCF XXXX	TLB不一致例外 (ロード命令又は命令フ ェッチ)	同上
49-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-04 : PCF XXXX	TLB不一致例外 (ストア命令)	同上
49-05	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-05 : PCF XXXX	アドレスエラー (ロード命令又は命令フ ェッチ)	同上
49-06	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-06 : PCF XXXX	アドレスエラー (ストア命令)	同上
49-07	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-07 : PCF XXXX	バスエラー (命令フェッチ)	同上
49-08	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-08 : PCF XXXX	バスエラー (データロード命令又は ストア命令)	同上
49-09	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-09 : PCF XXXX	システムコール例外	同上
49-10	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-10 : PCF XXXX	ブレイクポイント例外	同上
49-11	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-11 : PCF XXXX	予約命令例外	同上
49-12	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-12 : PCF XXXX	コプロセッサ使用不可例 外	同上
49-13	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-13 : PCF XXXX	算術オーバーフロー例外	同上
49-14	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-14 : PCF	NMI例外Writeバスエラー	同上
49-15	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-15 : PCF	ULTB不一致	同上
49-16	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-16 : PCF	ベクタアドレス (0xBFC00180) への割り 込み	同上
49-17	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-17 : PCF	デバック例外	同上
49-18	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER49-18 : PCF XXXX	DMAエラー (MPU)	同上
89-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER89-01 : パターン	上位装置に要求した非常 駐文字に対する応答がな い。	同上

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
32-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER32-01 : POCイジョウ	POCエラー	リセットSW 押下により オフライン 状態 用紙サイズ 確認後、再 実行
07-01	点灯	点滅	鳴ら ない	ER07-01 : プログラム	プログラムエラー (OP-CHK) コマンド／オーダの異常	リセットSW 押下。 プログラム エラー要因 除去後、再 実行
27-01	消灯	消灯	鳴ら ない	ER27-01 : ジョウイソウチ	上位装置との接続が切断 された	通信再開で 復旧

9.1.4 メカ系エラー

メカ系のエラーメッセージ一覧を表9.4に示します。

表9.4 メカ系のエラーメッセージ一覧

1) オペレータコール

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
01-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER01-01 : ヨウシギレ	用紙切れ ・BUSY (停止) ・発生後、1分時間監視でタイムアウト時はER31-01に遷移。 ・サポートサーバがPrintWalkerの場合ER31-01となる。	機能SW押下後、用紙セットし、機能SW押下で停止解除し、継続印刷。
09-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER09-01 : インターロック	インターロックが開けられた。	インターロック (スロートレバー／ヘッドカバー) を閉じ、リセットSW押下
09-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER09-02 : インターロック	インターロックが開けられた。(メカ動作中)	
10-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER10-01 : ヨウシヅマリ	改行用紙ジャム	用紙交換後リセットSW押下
11-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER11-01 : リボンエラー	リボンジャム	リボン調整後、リセットSW押下
31-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER31-01 : ヨウシギレ	用紙切れ	用紙セット後、スロートレバーを開閉する。

2) サービスマンコール

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
81-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER81-01：シンダンエラー	初期診断 MCDONEタイムアウト	リセットSW押下
81-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER81-02：シンダンエラー	初期診断 MDREQタイムアウト	同上
81-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER81-03：シーケンスエラー	印刷異常 MDREQタイムアウト	同上
81-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER81-04：シーケンスエラー	印刷異常 MDREQ異常	同上
83-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER83-01：ファンエラー	ファンアラーム 排気引き抜きファン	同上
83-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER83-02：ファンエラー	ファンアラーム 電源冷却ファン	同上
83-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER83-03：ファンエラー	ファンアラーム シロッコファン	同上
84-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER84-01：ヒューズエラー	紙送りモータヒューズ断	同上
84-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER84-02：ヒューズエラー	リボンモータヒューズ断	同上
84-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER84-03：ヒューズエラー	シャトル定速コイル ヒューズ断	同上
84-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER84-04：ヒューズエラー	シャトル押し付けコイル ヒューズ断	同上
84-05	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER84-05：パワーオフ	パワーオフエラー	電源OFF →再投入
85-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER85-01：シャトルエラー	シャトル動作異常	リセットSW押下
85-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER85-02：シャトルエラー	左エッジ信号異常	同上
85-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER85-03：シャトルエラー	右エッジ信号異常	同上
85-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER85-04：シャトルエラー	プリントパルス数異常	同上
85-05	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER85-05：シャトルエラー	シャトルサーマル異常	同上
88-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER88-01：ヘッドmmpp	ヘッドコイルオープン mm=ヘッドモジュール 番号：01～13 pp=ピン番号：01～12 初期診断時 mm=エラーコード1 ：40～41 pp=エラーコード2 ：01～12	同上
88-02	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER88-02：ヘッドエラー	ヘッドピンブロック ショート	同上
88-03	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER88-03：ヘッドmm	ヘッドピン駆動トランジスタ ショート (mmは初期診断時のみ表示) 初期診断時 mm=エラーコード3 ：30～34	同上

エラーコード	スタート	チェック	ブザー	LCDメッセージ	内 容	復旧方法
88-04	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER88-04：ヘッドエラー	サーマル分割異常	同上
8D-01	消灯	点滅	間欠 鳴動	ER8D-01：リボンアラーム	リボン継ぎ目センサ 異常	同上

9.2 文字コード

本装置で扱う文字コードは、表9.5、表9.6、表9.7、表9.8、および表9.9に示す1バイトのEBCDIC系コード（いずれか1つ）と、2バイトの JEF漢字コードです。

表9.5 国内一般カナ付コード表 (Japanese KANA)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—			ソ					\$	0
1		SBA			.	エ	/		ア	タ	—		A	J		1
2		EUA			「	オ			イ	チ	へ		B	K	S	2
3		IC			」	ヤ			ウ	ツ	ホ		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP		,	ユ			エ	テ	マ		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN	・	ヨ			オ	ト	ミ		E	N	V	5
6		BS			ヲ	ッ			カ	ナ	ム		F	O	W	6
7					ア				キ	ニ	メ		G	P	X	7
8			Ks	Kl	イ	—			ク	ヌ	モ		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL	ウ				ケ	ネ	ヤ		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:	コ	ノ	ユ	レ				
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#				ロ				
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@	サ		ヨ	ワ				
D	CR	SF			()	—	'		シ	ハ	ラ	ン				
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=	ス	ヒ	リ	ゝ				
F	SFE		BEL			⌵	?	”	セ	フ	ル	°				

(注1) 未定義コードは「—」ハイフンで印刷し、プログラムに対しては「X '60'」で通知します。

(注2) DUP、FMは各々「*」、「;」で印刷します。

プログラムに対しては、各々「X '1C'」、「X '1E'」で通知します。

表9.6 国内一般カナ無コード表 (Japanese English)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{ }	\$		0
1		SBA					/		a	j	—		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	£	!		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	¥	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			()	—	'									
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL			┐	?	"								

(注1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注2) DUP、FMは各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

表9.7 海外コード表I (US English)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\	0
1		SBA					/		a	j	~		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	¢	!		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	\$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	—	'								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=								
F	SFE		BEL			¬	?	"								

(注1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注2) DUP、FMは各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

表9.8 海外コード表II (EBCDIC-ASCII)

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—						{	}	\	0
1		SBA					/		a	j	~		A	J		1
2		EUA							b	k	s		B	K	S	2
3		IC							c	l	t		C	L	T	3
4	VCS	ENP	INP						d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN					e	n	v		E	N	V	5
6		BS							f	o	w		F	O	W	6
7									g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl					h	q	y		H	Q	Y	8
9		EM	As	LDEL				`	i	r	z		I	R	Z	9
A				LINS	[	]		:								
B	VT	SFE /F	FMT		.	\$	,	#								
C	FF	DUP	MF	RA	<	*	%	@								
D	CR	SF			(	)	—	'								
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=				~				
F	SFE		BEL		!	^	?	"				°				

(注1) 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

(注2) DUP、FMは各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

表9.9 ASCIIコード（サポートサーバがPrintWalkerの場合のみ）

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0	NUL				SP	&	—	—					{	}	\	0
1						¥	/	ヤ	a	j	～		A	J		1
2						。	ア	ユ	b	k	s		B	K	S	2
3						「	イ	ヨ	c	l	t		C	L	T	3
4	VCS					」	ウ	ワ	d	m	u		D	M	U	4
5	PT/ HT	NL	LF	TRN		、	エ	ン	e	n	v		E	N	V	5
6		BS				・	オ	ゝ	f	o	w		F	O	W	6
7						ヲ	ヤ	。	g	p	x		G	P	X	7
8			Ks	Kl		ツ	ユ		h	q	y		H	Q	Y	8
9			As				ヨ	ゝ	i	r	z		I	R	Z	9
A					[	]		:								
B	VT	SFE /F			.	\$	,	#	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ラ
C	FF	DUP			<	*	%	@	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	リ
D	CR				(	)	—	'	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ル
E	SA	FM/ IRS			+	;	>	=	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	レ
F			BEL		!	^	?	"	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ロ

（注1） 未定義コードは [—] ハイフンで印刷し、プログラムに対しては [X '60'] で通知します。

（注2） DUP、FMは各々 [*]、[;] で印刷します。

プログラムに対しては、各々 [X '1C']、[X '1E'] で通知します。

（注3） 実際の出力との対応は、PC等のコード表を参照してください。

9.3 PrintWalker/RSのご紹介

PrintWalker/RS (Remote Service) は、VSP/VSシリーズネットワークプリンタの運用管理をリモートで行うソフトウェアです。

本ソフトウェアには次の特長があります。

- (1) Windows 2000/NT4.0上で動作するWWWベースのクライアント／サーバシステム
- (2) クライアント側はWWWブラウザ以外に特別なソフトウェアは不要
- (3) ブラウザで自席のPCから遠くのプリンタの状態を参照、遠隔操作
- (4) プリンタ状態をメールで管理者に通知

詳しくは、添付のPrintWalker CD-ROMの導入マニュアル、READMEをご覧ください。

導入マニュアルの格納場所→CD-ROMドライブ：¥RemoteSV¥manual.htm

Readmeの格納場所→CD-ROMドライブ：¥RemoteSV¥Readme.txt

《PrintWalker/RSをご利用のお客様へ》

PrintWalker/RSプロパティ画面表示について

PrintWalker/RSプロパティ画面表示のMACアドレス、機種名、メカコン／システムファームウェア総合版数は変更できません。

なお、プリンタの液晶ディスプレイ表示とPrintWalker/RSプロパティ画面表示の現在状態表示は下記対応表のとおりになっております。

[VSP3710Bオペパネ-PrintWalker/RS状態表示 対応表]

エラーコード	液晶ディスプレイ表示	PrintWalker/RS状態表示
01-01	ヨウシギレ	用紙無し
07-01	プログラム	プリンタ稼動中
09-01	インターロック	インターロック異常
09-02	インターロック	インターロック異常（プリンタ動作中）
10-01	ヨウシヅマリ	用紙詰まり
11-01	リボンエラー	リボン異常
27-01	ジョウイソウチ	プリンタ稼動中
31-01	ヨウシギレ	用紙無し
32-01	POCイジョウ	POC異常
40-0X	メモリエラー	なし
41-0X	メモリエラー	なし
42-09	PCB XXXX	なし
43-0X	LAN XXXX	なし
44-0X	EEPROM	なし
45-0X	FLASHエラー	なし
47-0X	ソケットエラー	なし
48-0X	システムエラー	なし
49-XX	PCF XXXX	なし
81-01	シンダンエラー	CE-CALL (81-01/初期診断エラー MCDONEタイムアウト)
81-02	シンダンエラー	CE-CALL (81-02/初期診断エラー MDREQタイムアウト)
81-03	シーケンスエラー	CE-CALL (81-03/ シーケンスエラー 印刷異常MDREQタイムアウト)
81-04	シーケンスエラー	CE-CALL (81-04/シーケンスエラー 印刷異常MDREQ異常)
83-01	ファンエラー	CE-CALL (83-01/排気引き抜きファン停止エラー)
83-02	ファンエラー	CE-CALL (83-02/電源冷却ファン停止エラー)
83-03	ファンエラー	CE-CALL (83-03/シロッコファン停止エラー)
84-01	ヒューズ エラー	CE-CALL (84-01/ヒューズエラー 紙送りヒューズ断)
84-02	ヒューズ エラー	CE-CALL (84-02/ヒューズエラー リボンモータヒューズ断)
84-03	ヒューズ エラー	CE-CALL (84-03/ ヒューズエラー シャトル定速コイルヒューズ断)
84-04	ヒューズ エラー	CE-CALL (84-04/ ヒューズエラー シャトル押しつけコイルヒューズ断)
84-05	パワーオフ	CE-CALL (84-05/パワーオフエラー)
85-01	シャトルエラー	CE-CALL (85-01/シャトルエラー シャトル動作異常)
85-02	シャトルエラー	CE-CALL (85-02/シャトルエラー 左エッジ信号異常)
85-03	シャトルエラー	CE-CALL (85-03/シャトルエラー 右エッジ信号異常)
85-04	シャトルエラー	CE-CALL (85-04/シャトルエラー プリントパルス数異常)
85-05	シャトルエラー	CE-CALL (85-05/シャトルエラー シャトルサーマル異常)
88-01	ヘッドmm p p	CE-CALL (88-01/印字ヘッド異常 ヘッドコイルオープン mmp)
88-02	ヘッドエラー	CE-CALL (88-02/印字ヘッド異常 ヘッドピンブロックショート)
88-03	ヘッドmm	CE-CALL (88-03/ 印字ヘッド異常 ヘッドピン駆動トランジスタショート mm)
88-04	ヘッドエラー	CE-CALL (88-04/印字ヘッド異常 サーマル分割異常)
89-01	パターン	なし
8D-01	リボンアラーム	CE-CALL (8D-01/リボンアラーム)

※PrintWalker/RS状態表示で「なし」となっているものは、PrintWalker/RS側では表示されません。

9.4 PrintWalker/LXEのご紹介

9.4.1 PrintWalker/LXEの概要

(1) 概要

PrintWalker/LXEは、LinuxシステムからLAN(Ethernet TCP/IP)接続されたVSPシリーズの印刷制御を行うソフトウェア製品です。

本ソフトウェアは、装置添付のCD-ROM(PrintWalker)に格納されています。

(2) 機能

①操作性

- 用紙詰まりや用紙無しなどが発生した場合、PrintWalker/LXEはWebアラート機能により、詳細なメッセージをWindowsパソコンのWebブラウザ上に表示し、プリンタ装置側の処置だけで、異常が発生したページから再印刷を行います。(ページリカバリ)
- PrintWalker/LXEのWebアラート機能では、印刷中に異常が発生したジョブの削除を指定することが可能です。
- バナーページの排紙口指定が可能です。バナーページに色紙などを使用することで、仕分けが簡単になります。
- VSPシリーズは、他の弊社サーバ(GS/PRIMEFORCE、PRIMEPOWER、S series、PRIMERGY/GRANPOWER6000、PRIMERGY/GRANPOWER 5000)、またはパソコン(FMVシリーズ)プリンタとして共用が可能です。

②NetCOBOL、PowerCOBOL97シリーズとMeftとの連携

- 本ソフトウェアは、NetCOBOL、PowerCOBOL97シリーズとMeftとの連携印刷が可能です。フォームオーバーレイ印刷、バーコード(カスタマコードを含む)印刷、用紙コードの指定、給紙口指定、用紙サイズ指定等、きめ細やかな印刷制御が可能です。

③サポートデータ形式

PrintWalker/LXEからVSP3710B装置などのインパクトラインプリンタや多目的プリンタへの印刷で利用できるデータ形式は、以下のとおりです。

- simple出力
- cobol(UVPI)

9.4.2 動作環境

PrintWalker/LXEは、以下の動作環境で動作するソフトウェアです。詳細は添付のCD-ROMを参照してください。

(1) サポートOS

＜PRIMEGY＞

- － Red Hat Enterprise Linux AS v.3 for x86
- － Red Hat Enterprise Linux ES v.3 for x86

＜PRIMEQUEST＞

- － Red Hat Enterprise Linux AS v.4 for Itanium

(2) 対応印刷システム

- － CUPS 1.1.17以降を対象

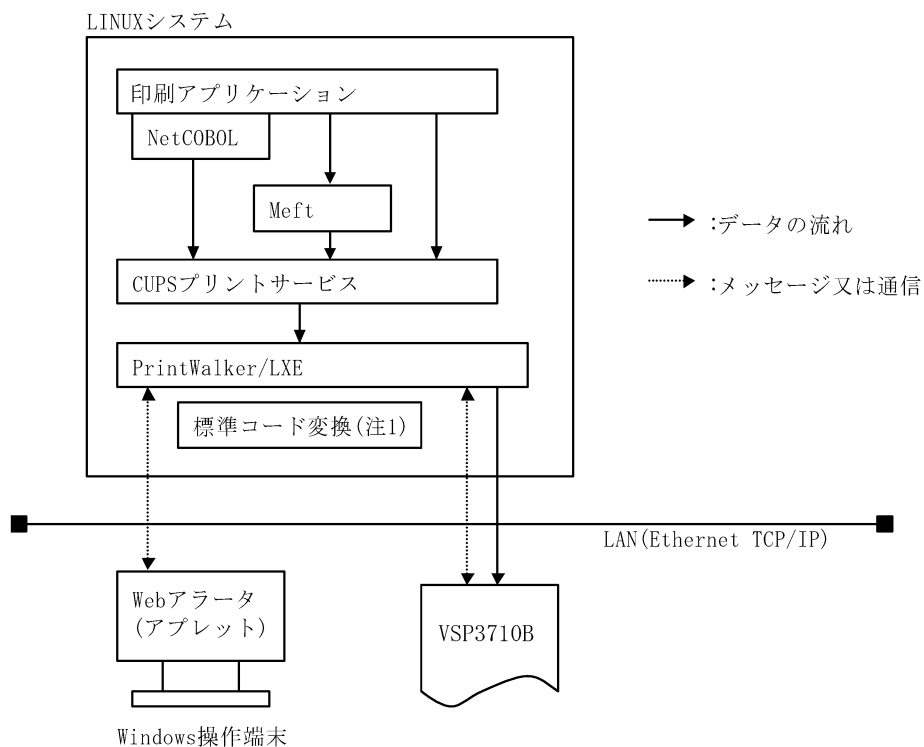
(3) Webアラータの動作環境

- － OS : Windows 98, Windows Me, Windows 2000, Windows XP,
WindowsServer 2003, Windows NT4.0 (ServicePack 6以降)
- － ブラウザ : Microsoft Internet Explore 5以降
- － JAVA VM : 1.5以降

(4) 必須ソフトウェア

- － Interstage CharasetMGR-A SE V10.0以上

9.4.3 システム構成



注1) 標準コード変換は、Interstage/CharasetMGRに含まれており、別途購入して頂く必要があります。

9.4.4 留意事項

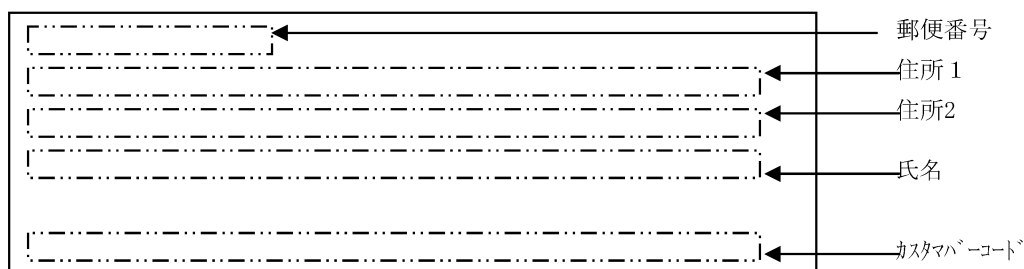
- (1) PrintWalker/LXEのWebアラート機能では、印刷中に異常が発生したジョブの保留、ページ指定の印刷再開および出力先の変更ができません。
- (2) PrintWalker/LXEでは、Interstage Charaset Manager Standard Edition Agentは必須製品ですので、必ず購入してください。
- (3) 本製品には環境ファイルが1個ありますが、環境ファイルを変更している時のみメジャーアップ時にその退避/復元が必要です。
- (4) 直打ち印刷(イミデート印刷)は、未サポートです。
- (5) PrintWalker/LXEは、1サーバ(プリントサーバ)におけるプリンタ接続台数の制限を設けておりません。ただし、印刷性能など十分考慮し、接続するプリンタ台数など運用システムの構築を行ってください。
- (6) PrintWalker/LXEでの印刷時、プリンタ装置側の設定は、“サポートサーバ”をPrintWalkerに設定してください。
- (7) 印刷中にサーバ側のプリンタ定義の変更を行わないでください。印字完了後に設定変更を行ってください。
- (8) 本ソフトウェアをご使用になる場合は、「Support Desk Product」の契約をお願いします。

9.5 カスタマバーコードの印刷条件

新品インクリボンを使用した場合の、読み取り可能なカスタマバーコード印刷量の目安は、以下のとおりです。

(1) 印刷条件

・印刷レイアウト



・印刷サンプル

〒273-0102
 千葉県 鎌ヶ谷市 右京塚 東3丁目-20-5
 郵便A&b コーポB604号
 郵政 太郎 様

・15×11インチ用紙のレイアウト

1シート当り
 縦6個×横4個＝24個の
 住所、カスタマバーコード印刷

(2) インクリボン1本当りの印刷量（目安）

(1) 項の印刷条件で印刷した場合、インクリボン1本当りの印刷シート数および住所とカスタマバーコードの印刷量の目安は、以下のとおりです。

用紙	印刷シート数	住所／コード印刷数
1 P用紙	1,500	36,000
ラベル紙	1,500	36,000
複写用紙	500	12,000

(注) 1P用紙は、連量55kgの上質紙です。

(3) 注意事項

- ・カスタマバーコード印刷には、オプションの拡張出力機構が必須です。
- ・カスタマバーコードの印刷物は、事前に郵便局での読み取りテストを受けてください。
また、事前に十分な印字品質確認を実施してください。特に複写用紙や厚紙の場合は印字品質が悪くなりやすいので注意してください。印字品質については、「5.2 印刷不良の対応について」を参照ください。
- ・インクリボンは新しいものを使用してください。
- ・複写用紙の場合、読み取りは印刷用紙の最上部の 1 枚目のみ可能です。
2 枚目以降の読み取りは保証できません。
- ・紙ホチキスとじ用紙は、用紙がずれやすく、印字品質が低下します。
カスタマバーコードを印刷する場合は読み取り不良となる場合がありますので、紙ホチキスとじ用紙は使用しないでください。
- ・印刷可能なモードは、高品位モードのみです。
(通常モード、高速モードでは読み取り保証できません。)

索引

A

ANコード設定.....	42
ANピッチ.....	43, 47

C

CD-ROM.....	21
-------------	----

E

EBCDICフォント.....	42
-----------------	----

F

F66XXエミュレーション機能.....	10
F69XXエミュレーション機能.....	11
FF有効位置.....	42

I

IPアドレス設定.....	41
---------------	----

J

JEFコード.....	42
-------------	----

L

LANインターフェース.....	41
LANケーブル.....	23
-の接続.....	23
LANケーブル挿入口.....	23
LANプロトコル.....	9

M

MACアドレス.....	41
MS-DOS.....	15

O

OCR用紙.....	102
------------	-----

P

PAキー.....	35, 47
POCエラー.....	87
PrintWalker/BPC.....	14
PrintWalker/LXE.....	135
PrintWalker/PM.....	13
PrintWalker/RS.....	13, 133

V

VSPBEX1.....	12
VSPプリンタドライバ.....	13
VSPリクエスト.....	13

あ

相手先アドレス設定.....	41
アドレス選択.....	41
孔つき用紙.....	101
移設時の注意事項.....	113

い

インクリボン	
-の交換.....	69
-の寿命.....	72
-の注意事項.....	72
-の取り外し.....	67
-の廃棄.....	72
印刷不良の対応.....	78
印刷保証領域.....	93
印刷モード.....	42
印刷モードスイッチ、ランプ.....	35
印刷用紙.....	91
印刷領域.....	93
印字桁数.....	9
印字桁数設定.....	42
印字速度.....	9, 18
印字ヘッド動作方向設定.....	19, 42
インターロックオープン.....	86
インタフェース.....	9
インタフェース制御回路.....	8

う	
右端+CR.....	42
右端+NL.....	42

え	
エミュレーション.....	9

お	
送り孔.....	95
送り孔加工.....	94
オプション.....	12

か	
改行間隔.....	43, 47
改行ピッチ.....	43, 47
外形寸法.....	110
解像度.....	9
ガイド.....	21, 64
改ページスイッチ.....	35
改ページスイッチの紙送り量設定.....	42
回路部.....	8
拡張出力機構.....	10
カスタマバーコード.....	10, 11, 138
紙送りスキップ.....	9
紙なし検出位置.....	42
紙ホチキス.....	97
漢字ピッチ.....	43, 47

き	
機構部.....	6
機能スイッチ、ランプ.....	35
機能モード.....	47
行スケール.....	61

く	
駆動回路部.....	8
グローバルアドレス.....	41

け	
ゲートウェイ.....	41, 56
決定スイッチ.....	35

こ	
高速モード.....	36
高複写モード.....	36

さ	
サーバIPアドレス設定.....	41
再生紙.....	102
再送数設定.....	41
サイドドア.....	66

サブカセット.....	69
サブカセットの交換.....	69
サポートサーバ設定.....	41, 48

し	
質量.....	110
シフトフォームズノブ.....	7
シャトルモード.....	42
寿命	
インクリボンの寿命.....	72
上位装置電源断.....	87
所要電力.....	109

す	
スイッチングハブ.....	43
スタート/ストップスイッチ、ランプ.....	34
スライダブロック.....	69
スロートオープン機構.....	6
スロートレバー.....	7
寸法	
外形寸法.....	110

せ	
制御部.....	8
清掃.....	106
セッションリトライ設定.....	41
設置.....	22
設置条件.....	109
設置スペース.....	111
節電モード.....	19, 42
セットアップ印刷.....	40, 45
セットアップモード.....	39

そ	
操作パネル.....	8
装置寿命.....	9, 34
装置名設定.....	41
ソフトウェア.....	13

た	
台足.....	22
タイムアウト値設定.....	41
タック紙.....	100
段差媒体.....	101
段差媒体モード.....	36, 101

ち	
チェックランプ.....	36

つ	
通常モード.....	36

て

定期交換部品寿命.....	9
停止スイッチ.....	35
テスト印字.....	47
デフォルトルータ設定.....	41
電源	
ーの切断.....	33
ーの投入.....	33
電源ケーブルの接続.....	25
電源コンセント.....	109
電源スイッチ.....	33
電源ユニット.....	8

と

特殊紙.....	99
トラクタリリースレバー.....	7

に

入力電源.....	109
-----------	-----

ね

ネットマスク設定.....	41
---------------	----

は

バーコード印刷.....	10
バーコード印刷時の注意事項.....	102
廃棄	
インクリボンの廃棄.....	72
パターンタイムアウト.....	87
発熱量.....	109

ひ

左マージン.....	43, 47
------------	--------

ふ

ファインモード.....	42
フィルタ.....	106
フィルタカウント.....	47, 107
フォームズブラック.....	63
複写枚数.....	9
複写用紙のとり方.....	96
ブザー音量.....	42
プリントユニット.....	6
ブレーキシュー.....	71
プログラムエラー.....	86
分割印字条件.....	9
分割スキップ.....	42

へ

ページ長.....	43, 47
ベースユニット.....	6
ペーパーアジャスト.....	40
ヘッドカバー.....	26
ヘッドドライバ.....	8

ほ

保護機能.....	17
ホッパ部.....	59

み

ミシン目.....	94
ミシン目加工.....	94
ミシン目の名称.....	94
未定義JEFコード.....	42

め

メカ制御回路.....	8
メッセージ一覧.....	115

も

モータドライバ.....	8
文字コード.....	128

よ

用紙厚設定レバー.....	7, 62
用紙厚調整機構.....	6
用紙厚の調整.....	62
用紙送りノブ.....	7
用紙送りユニット.....	6
用紙加工仕様.....	94
用紙ざれ.....	84
用紙切れ検出部 (EOF).....	59
用紙サイズ.....	9, 91
用紙終了時の中断／継続.....	42
用紙づまり.....	85
用紙ドーム.....	21, 63
用紙の基本仕様.....	91
用紙の交換.....	66
用紙の左右移動量.....	93
用紙のセット.....	58
用紙箱.....	92
用紙微調送りスイッチ.....	35
用紙の連量.....	92

ら

ラベル紙.....	100
-----------	-----

り

リアドア.....	66
リセットスイッチ.....	36
リボン.....	9
リボンエラー.....	86
リボン送りセンサ.....	27
リボンカートリッジ.....	21
ーの交換.....	67
ーの取り付け.....	26
リボンガイド.....	27
リボンカウント.....	43, 47
リボンセパレータ.....	27, 73

リボンセパレータの交換.....	73
リボン継ぎ目センサ.....	27
リボンユニット.....	6
リボンライフ.....	43, 72
リボンリリースレバー.....	7

れ

連量.....	91, 92
---------	--------

ろ

ローカルアドレス設定.....	41
-----------------	----

VSP3710B プリンタ装置
取扱説明書

2007年 2月初版
2009年 3月 2版
2015年 6月 3版

All Rights Reserved, Copyright© 富士通株式会社 2007-2015

- 本書を無断で転載しないよう、お願いいたします。
- 本書は、改善のため予告なし変更することがあります。
- 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、損害については、当社はその責を負いません。
- 落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

